

2019 年度
淑徳大学
授業アンケート全学報告書

淑徳大学 高等教育研究開発センター
IR 推進室

目次

2019 年度淑徳大学授業アンケートの概要・集計結果

I 2019 年度授業アンケートの概要・目的

1 淑徳大学授業アンケートの目的	3
2 授業アンケート全学報告書の目的	3
3 2019 度淑徳大学授業アンケートの概要	3

II 授業アンケート集計結果

大学・学部別集計結果	6
------------------	---

III 今までの各設問の経年変化(大学・学部別)

23

IV 授業アンケート様式

2019 年度 学生用 授業アンケート調査票[前学期・後学期]	52
---------------------------------------	----

2019 年度 教員用 授業アンケート調査票[前学期・後学期]	53
---------------------------------------	----

別紙

V 集計表

VI 教員個人表

2019 年度淑徳大学授業アンケートの概要・集計結果

I 2019 年度授業アンケート及び報告書の概要・目的

1. 淑徳大学授業アンケートの目的

淑徳大学の授業アンケートの目的は、社会から負託された大学の教育・研究の使命を遂行するため、大学として組織的に教育責任の遂行と教育成果の確認を行うとともに、教育活動において大きな比重を占める授業の改革や改善を推進することで、教育の質を高めることです。

そのために、授業アンケートで得た学生の意見や要望をくみ取り、教員一人ひとりが毎年度、担当授業の自己点検・評価を行い、翌年度の授業の改革や改善に反映させていきます。

また、大学及び学部として組織的な授業の改革と改善に向けた取り組みとして授業アンケートを活用した FD (Faculty Development) も併せて行い、学生の学修意欲を引出し、学修効果を高めるための教育改革を組織的に推進しています。

2. 授業アンケート全学報告書の目的

本報告書は、組織的な授業の改革と改善に資することを目的として大学全体及び各学部の「調査概要、調査目的、該当者の属性、質問ごとの分析、一部設問の経年分析」を大学教育向上委員会、高等教育研究開発センター及び IR 推進室が集計・分析し、作成したものです。

本報告書は大学及び学部ごとの集計値と経年変化を掲載しています。また、本報告書の基本となるデータは学生向けアンケートです。学部別の集計の場合、総合福祉学部と記載してある図は、総合福祉学部 に在籍する学生が回答した授業アンケートの集計結果となります。

3. 2019 年度淑徳大学授業アンケートの概要

(1) 授業アンケート対象科目

2019 年度に開講している全授業科目(学外の実習科目を除く)を対象に実施しています。実習科目は、それぞれの学部の実習目的や内容といった特性に応じた様式を用いてアンケートを実施しています。

(2) 授業アンケートの種類

授業アンケートは、全学部統一様式にて、次の 2 種類について実施しています。

- 学生による授業評価 : 学生向けアンケート
- 教員による授業の自己点検 : 教員向けアンケート

(3) 学生向けアンケートの実施時期

実施時期は、前学期・後学期各 1 回ずつ(年 2 回)とし、原則として、半期 15 回授業の場合は 13 回目以降に学生向けアンケートを実施しています(半期 8 回の授業の場合は 6 回目以降、半期 30 回の授業の場合は 25 回目以降に実施しています。)。また、通年の授業については、後学期に実施しています。

オムニバス科目についても半期 1 回の実施となり、例えば 2 人で 15 回の授業を実施する授業でも 13 回目以降に学生向けアンケートを実施しています。

(4) 学生向けアンケートの実施方法

2019 年度はアンケート実施授業回の授業終了前 10 分間を使用して、無記名のマークシートで実施しています。

(5)授業アンケート対象科目及び回収枚数

2019 年度淑徳大学授業アンケート(学生向けアンケート)は、表1の通りに年間 2,080 科目(大学全体)を対象としています。実施科目総計履修人数を母数とした回答率は、80.08%です。なお、学部共同で開講している科目もある為、学部別の対象科目数や学生アンケート実施科目数の集計は行っておりません。

表1 2019 年度淑徳大学授業アンケート(学生向けアンケート)実施概要

	対象科目	学生アンケート 実施科目	実施科目総計 履修者数①	回答枚数 ②	回答率 (②/①)
前期	1,031	979	40,945	33,516	81.86%
後期	1,049	1,021	37,807	29,551	78.16%
年間	2,080	2,000	78,752	63,067	80.08%

大学全体及び学部別の学生アンケート回答数は表2の通りです。在籍学生数、CAP 制(単位の過剰登録を防ぐため、1 年間あるいは1 学期間に履修登録出来る単位の上限を設ける制度)による履修登録数の違いから、回答数は学部によって大きく異なります。また無回答やその他の回答もあります。なお授業アンケートの回答には、一部リカレント生や公開講座での受講生の回答も含まれていると考えられます。

表2 2019 年度淑徳大学学生用アンケート学部別回答数

	学生アンケート回答数(枚)		
	前期	後期	合計
大学全体	33,516	29,551	63,067
総合福祉学部	10,735	10,542	21,277
看護栄養学部	7,322	4,619	11,941
コミュニティ政策学部	2,400	2,187	4,587
経営学部	5,330	4,919	10,249
教育学部	2,996	2,916	5,912
人文学部	4,103	3,727	7,830
その他	35	37	72
無回答	595	604	1,199

(6)アンケートの質問項目について

淑徳大学授業アンケート、学生向けアンケートは、「Ⅰ. 授業の構成について」「Ⅱ. 授業方法について」「Ⅲ. 授業に対する評価について」「Ⅳ. 授業環境について」「Ⅴ. 自由記述欄」について、計 19 の質問を行いました。質問紙については巻末「授業アンケート様式」をご参照下さい。

(7)本調査結果の分母について

本報告書の集計は、学生一人一人の回答ベースで集計したものであり、分母は学生アンケート回答数(枚)表2です。

なお、QⅠ-2 及びQⅠ-3 は、Q-1 のサブクエッション(枝質問)であるため、次の論理矛盾回答処理を実施

し、母数は表3(Q I -2)及び表4(Q I -3)となります。

- Q I -1「授業説明の有無」で「あまりそう思わない、全くそう思わない」と回答
→Q I -2「授業説明の理解度」及びQ I -3「授業説明の取組み度」を非該当として処理
- Q I -2「授業説明の理解度」で「あまりそう思わない、全くそう思わない」と回答
→Q I -3「授業説明の取組み度」を非該当として処理

表 3 2019 年度淑徳大学学生用アンケート学部別 Q I -2「授業説明の理解度」回答数

	該当回答数		
	前期	後期	合計
大学全体	32,048	28,412	60,460
総合福祉学部	10,344	10,229	20,573
看護栄養学部	7,080	4,452	11,532
コミュニティ政策学部	2,259	2,073	4,332
経営学部	4,995	4,698	9,693
教育学部	2,895	2,788	5,683
人文学部	3,881	3,573	7,454
その他	35	36	71
無回答	559	563	1,122

表 4 2019 年度淑徳大学学生用アンケート学部別Q I -3「授業説明の取組み度」回答数

	該当回答数		
	前期	後期	合計
大学全体	31,130	27,784	58,914
総合福祉学部	10,093	10,022	20,115
看護栄養学部	6,915	4,375	11,290
コミュニティ政策学部	2,192	2,008	4,200
経営学部	4,831	4,583	9,414
教育学部	2,822	2,735	5,557
人文学部	3,703	3,473	7,176
その他	34	36	70
無回答	540	552	1,092

(8)集計・分析について

- * 大学・学部別集計結果において、「大学」にはアンケートの「学部・学科」欄における無回答や「その他」の回答を含みます。
- * 各集計結果においては、設問に対する無回答を含んでいます。
- * 回収したアンケート調査票の一部には、複数の番号にマークしているものやマークしている箇所が不明なもの少数存在しました。これらの回答(選択肢が不明)は無回答として集計しています。

Ⅱ. 授業アンケート集計結果 大学・学部別集計結果

(Ⅰ) 授業の構成について

① I-1「初回の授業において、授業目的、授業内容、到達目標、評価方法等の説明がありましたか」

授業の初回において、担当教員から授業目的や到達目標等の説明があったと答えた学生は、「大いにそう思う」及び「ややそう思う」を合わせると、大学全体では前期・後期とも 95%を超えており、授業担当教員と学生との間に授業の概要の共有化が行われています(図1)。また学部別の結果についても、どの学部も「大いにそう思う」及び「ややそう思う」を合わせて 90%を超えておりますが、「大いにそう思う」を回答した割合は学部間で差が見られます。

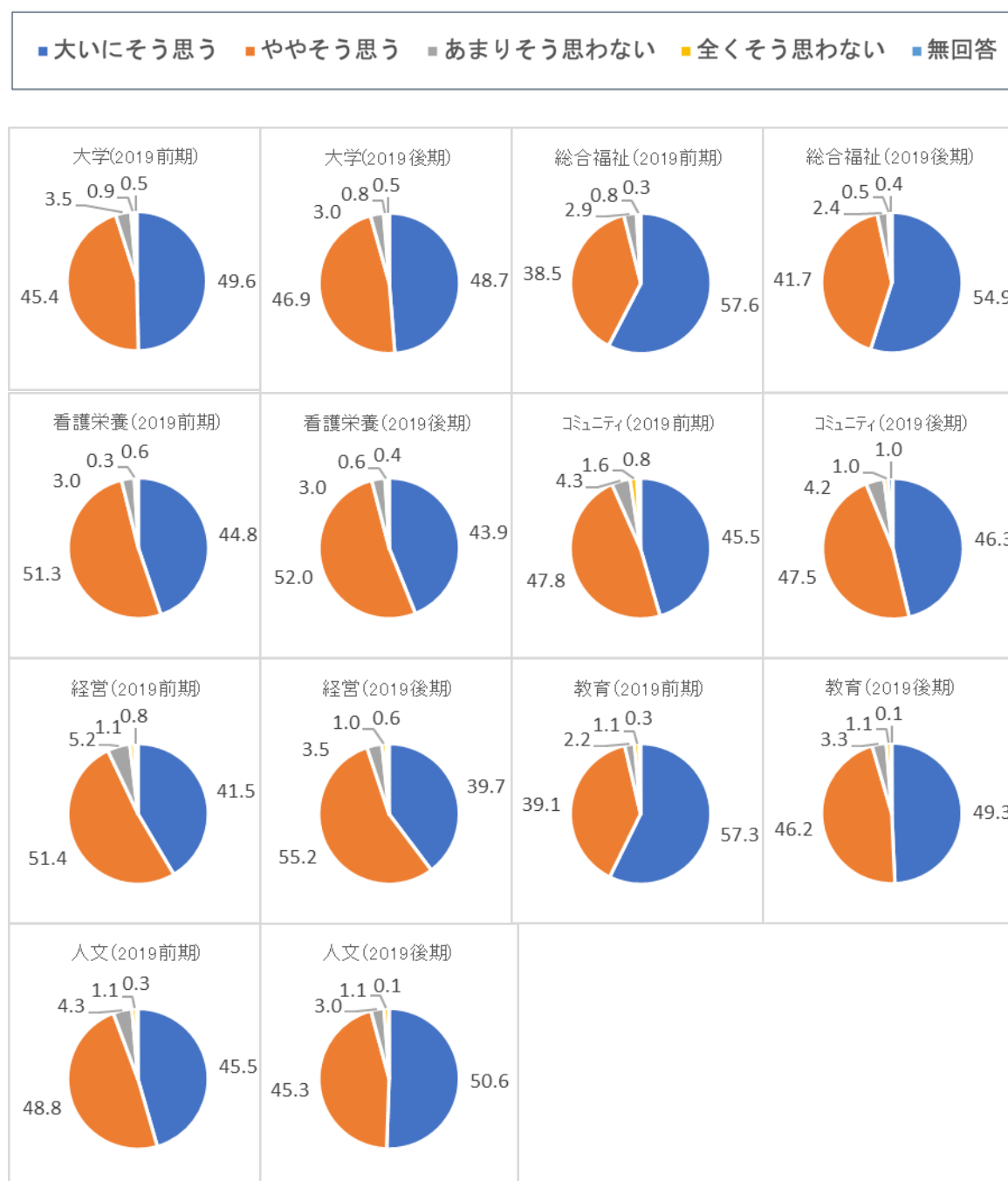


図1 I-1 授業初回の授業概要の説明

② I-2「あなたは、その説明に対して理解ができましたか」

この質問は、I-1授業の初回に行った授業の概要の理解度についての内容です。図2によれば、大学全体では、「大いにそう思う」及び「ややそう思う」を合わせると96%を超えており、説明を受けたほとんどの学生は授業の目的、授業内容、到達目標、評価方法等を理解して授業を受けていると捉えられます。学部別もほぼ大学全体と同様の結果であり、受講している学生のほとんどは授業の到達目標や評価方法を理解していると考えられます。



図2 I-2 学生の授業概要説明の理解

③ I-3「あなたは、理解した内容を達成するため、意欲的に取り組みましたか」

図3によると、大学全体では「大いにそう思う」と答えた学生は40%以上であり、授業の初回で説明された内容を達成するために意欲的に取り組んでいます。しかし、学部間では「大いにそう思う」の回答の割合に差が認められます。どのようにしたら学生がより意欲的に取り組むようになるかは課題であると言えます。



図3 I-3 意欲的に取り組んだか

④ I-4「授業はシラバスにそって行われましたか」

本学のシラバスは授業担当教員以外の第三者による組織的なシラバスチェックを経て、授業内容や到達目標、評価方法などの授業の全体像を示しています。このシラバスは、教員と学生との間の契約事項であり、「授業はシラバスにそって行われているか」は重要です。

本設問の結果を見ると大学全体及び各学部においても「大いにそう思う」「ややそう思う」を併せて 90%以上がシラバスに沿って授業が行われていると回答しています。



図4 I-4 授業はシラバスにそって行われたか

⑤ I-5「あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか」

大学、学部及び学科で定めている「どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するか」を定めた卒業認定・学位授与の方針を達成するために、各科目ではカリキュラムの体系的性、順次性に沿って到達目標を定めています。今までの授業アンケートの分析によると、シラバス目標達成度に影響する大きな要因は授業がシラバスに沿って行われている事でした。これはI-4「授業はシラバスにそって行われましたか」で示されるように、あらかじめ学生に提示したシラバスに沿って授業を行う事が重要であることを示します。本設問の結果を見ると大学全体及び各学部において「大いにそう思う」と「ややそう思う」を併せて85%以上がシラバスに記載された到達目標を達成できたと回答しています。

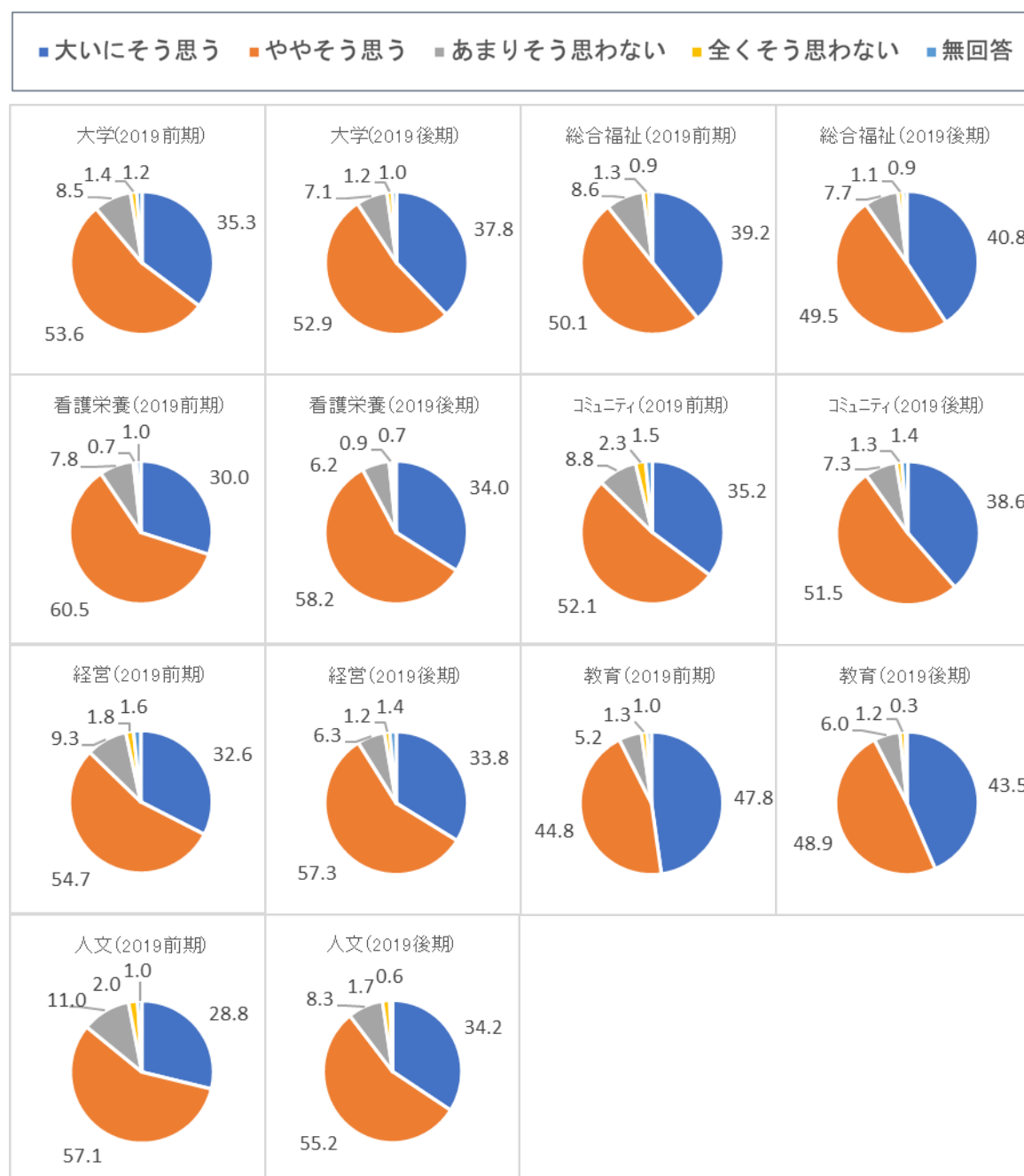


図5 I-5 シラバスに記載された到達目標を達成できたか

⑥ I-6 「授業のなかで「事前学習」および「事後学習」等、「授業時間以外の学習内容・方法(資料・課題等)」について、具体的に指示がありましたか」

授業内で事前・事後学習の内容の指示をしているかについて、大学全体では、前期・後期とも90%以上は「大いにそう思う」「ややそう思う」と回答しています。学部別の結果も大学全体の結果とほぼ同様の傾向が認められました。過去の授業アンケート結果による分析では、予習・復習時間の長さについて事前事後学習の指示が影響していると結果が出ており、今後も一回一回の授業ごとにシラバスを活用しながら具体的な指示を行っていく必要があります。



図6 I-6 事前事後学習の指示

⑦ I-7 「質疑応答の時間の設定」や「課題レポート・小テストの返却」等、疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫はありましたか」

本質問は、学生の理解を促進するため、質疑応答の時間を設ける等の工夫がされているかと問うものです。図7によると、大学全体及び各学部においても前年度と同様に前期・後期とも「大いにそう思う」と「ややそう思う」を合わせて85%以上の回答となっており、学生の理解を促進する工夫が浸透しているといえます。

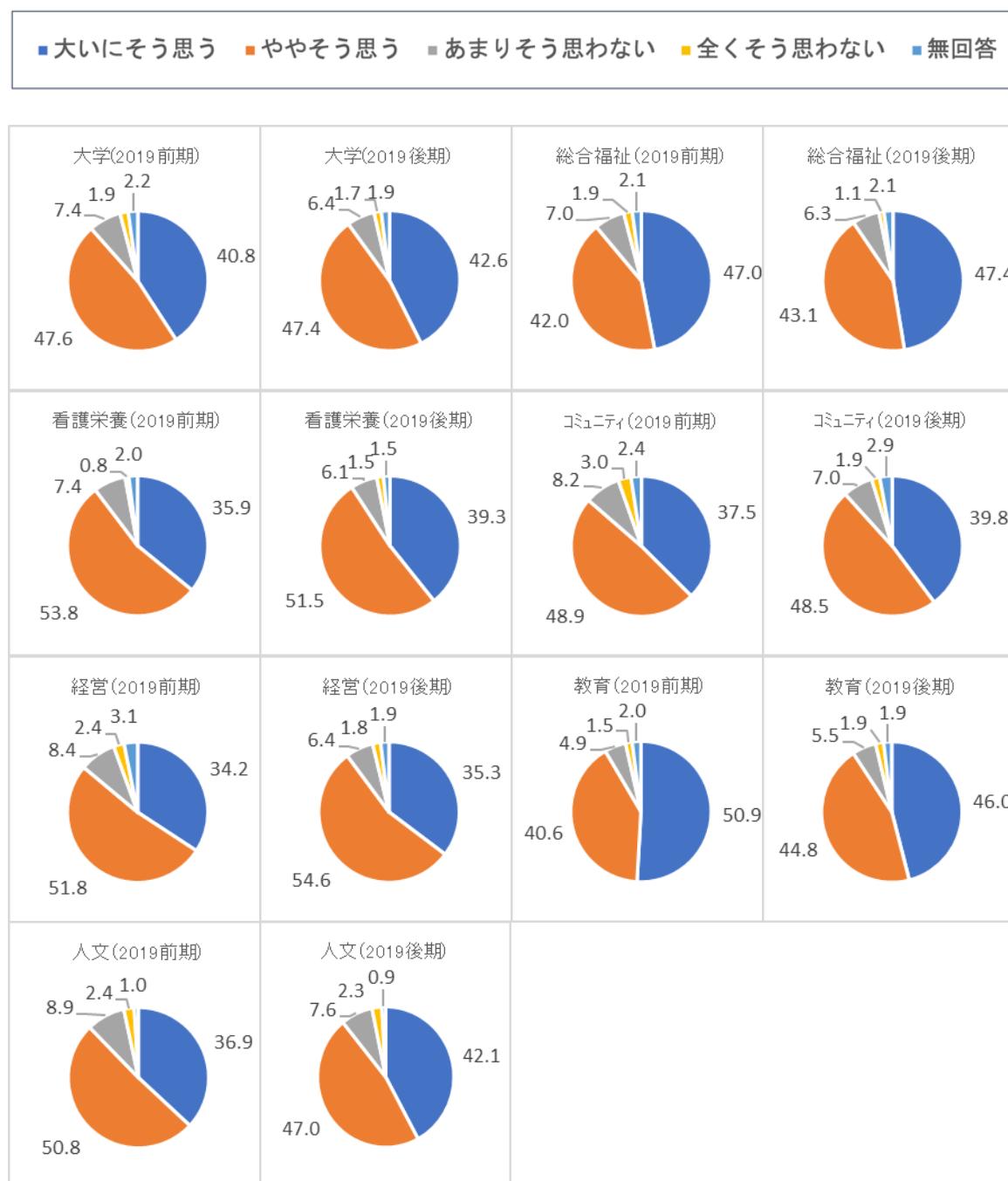


図7 I-7 疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫

⑧ I－8「あなたがこの授業1回(90分)のために予習・復習に費やした時間は平均()であった」

本質問では、各科目の授業1回における事前・事後学習の時間を聞いています。大学全体では1時間未満と1時間以上2時間未満が前期・後期ともそれぞれ約35%程度となっています。これは昨年とほぼ同様の結果です。予習・復習時間が長くなることに対して、2018年度の授業アンケートでは事前事後の学習等の具体的な指示があったことや内容が難しいと事前事後学習時間が長くなると分析結果として示されています。

■ 4時間以上 ■ 3時間以上4時間未満 ■ 2時間以上3時間未満 ■ 1時間以上2時間未満 ■ 1時間未満 ■ 無回答

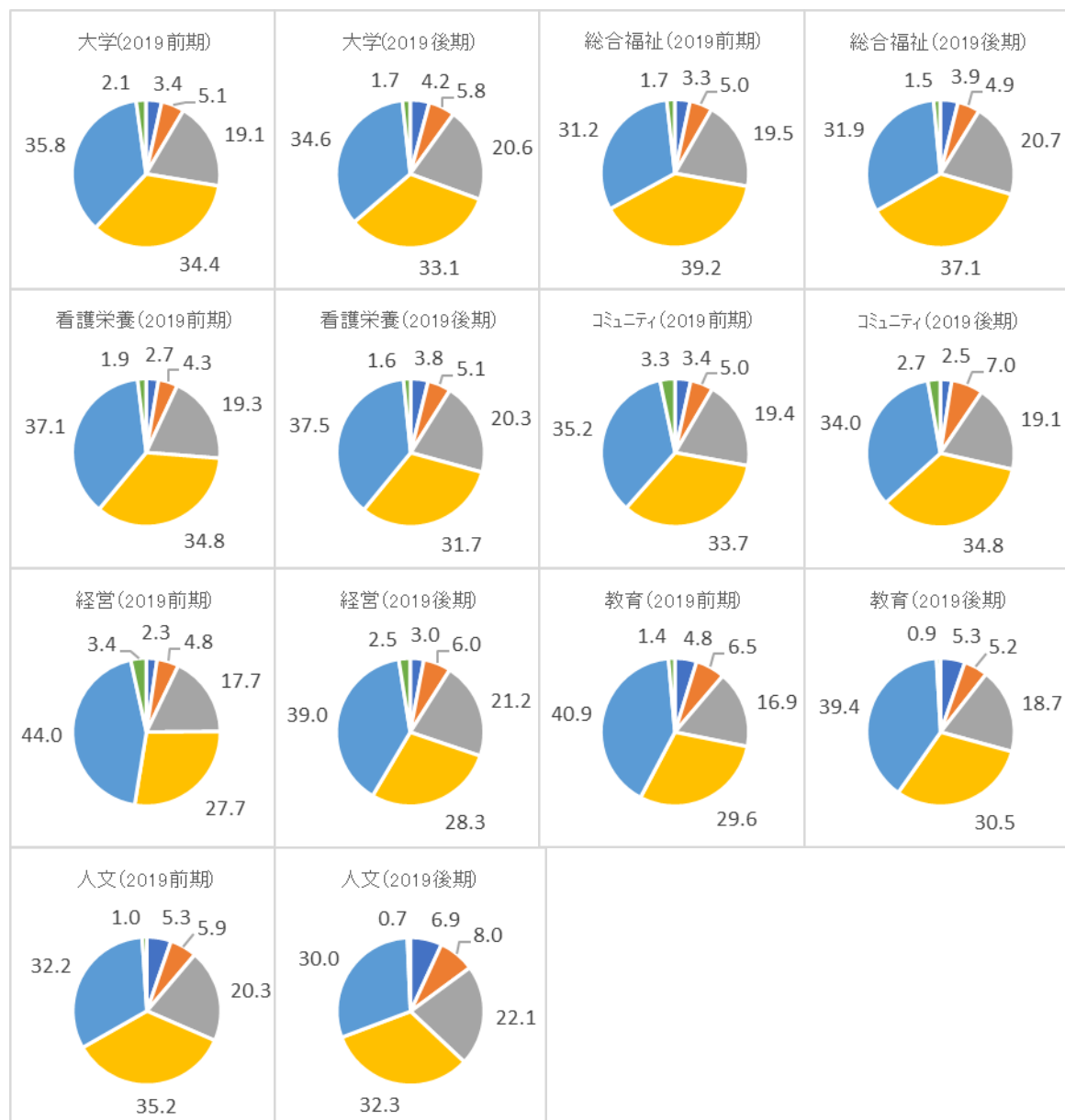


図8 I－8 授業1回に費やした予習・復習時間の平均

(Ⅱ)授業方法について

① Ⅱ－1「双方向型の授業(発表、討論、協同学習、調べ学習等)は、効果的に行われましたか」

今までの授業アンケートの分析では双方向型の授業、いわゆるアクティブ・ラーニングは授業満足度に影響を与えています。

学生の理解を深めるために双方向型の授業が効果的に行われているとの回答は、「大いにそう思う」「そう思う」を合わせて大学全体及び各学部において前期・後期とも 80%を超えています。この結果から双方向型の授業は効果的に行われていると言えます。

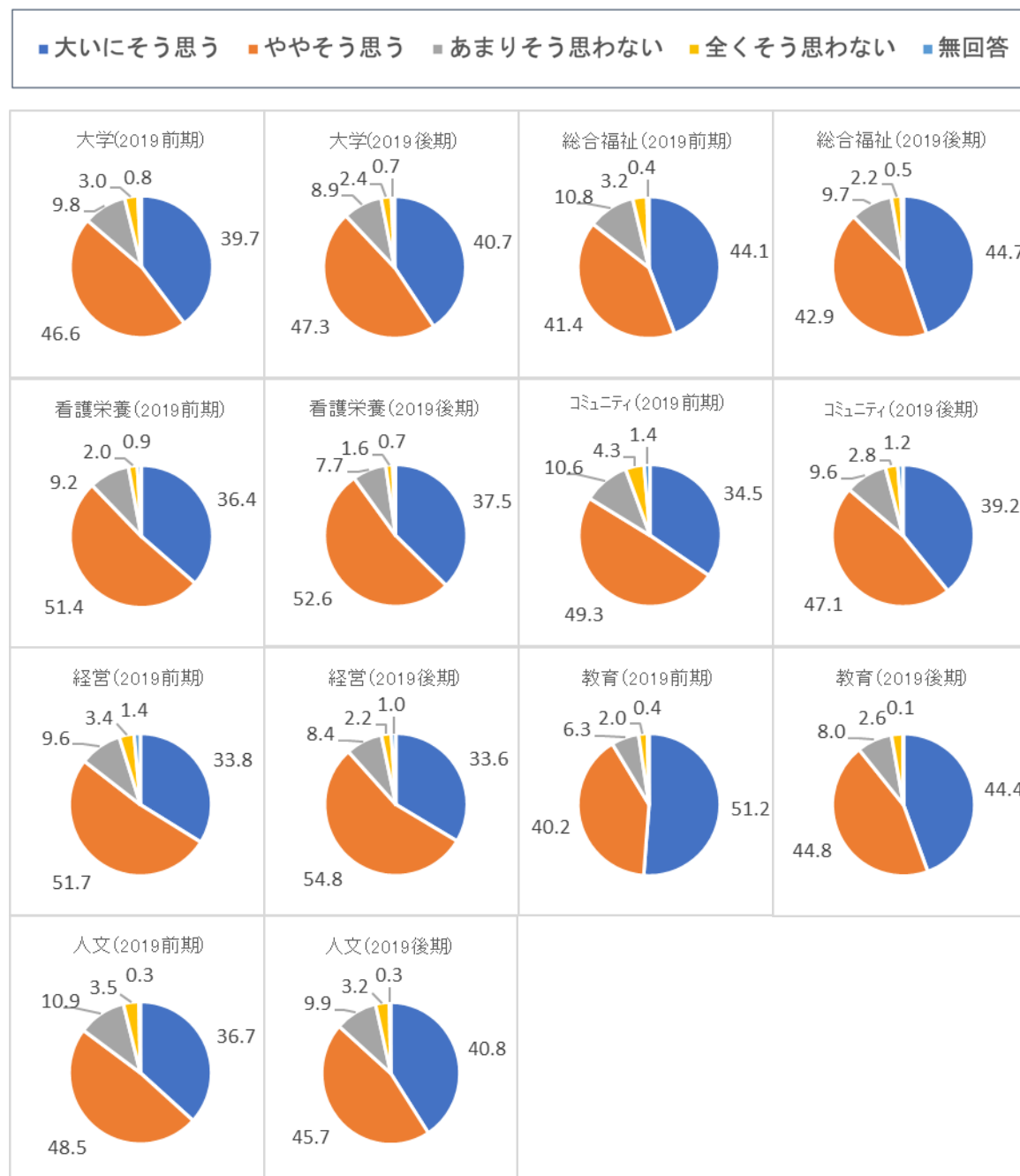


図9 Ⅱ－1 双方向型の授業は効果的に行われたか

② II-2「教材(教科書、板書、プリント、スライド、ビデオ等)は、授業の理解に役立ちましたか」

大学全体では「大いにそう思う」は前期・後期とも 45%を超えており、学生は教材が授業の理解に役立っていると感じていることが見て取れます。また、学部別でも「大いにそう思う」の割合は 37～54%となっています。教材は、知的好奇心の刺激と関係しており、教材は効果的に活用され理解が進んだと学生が思う事は学生の教育を行う上で重要です。

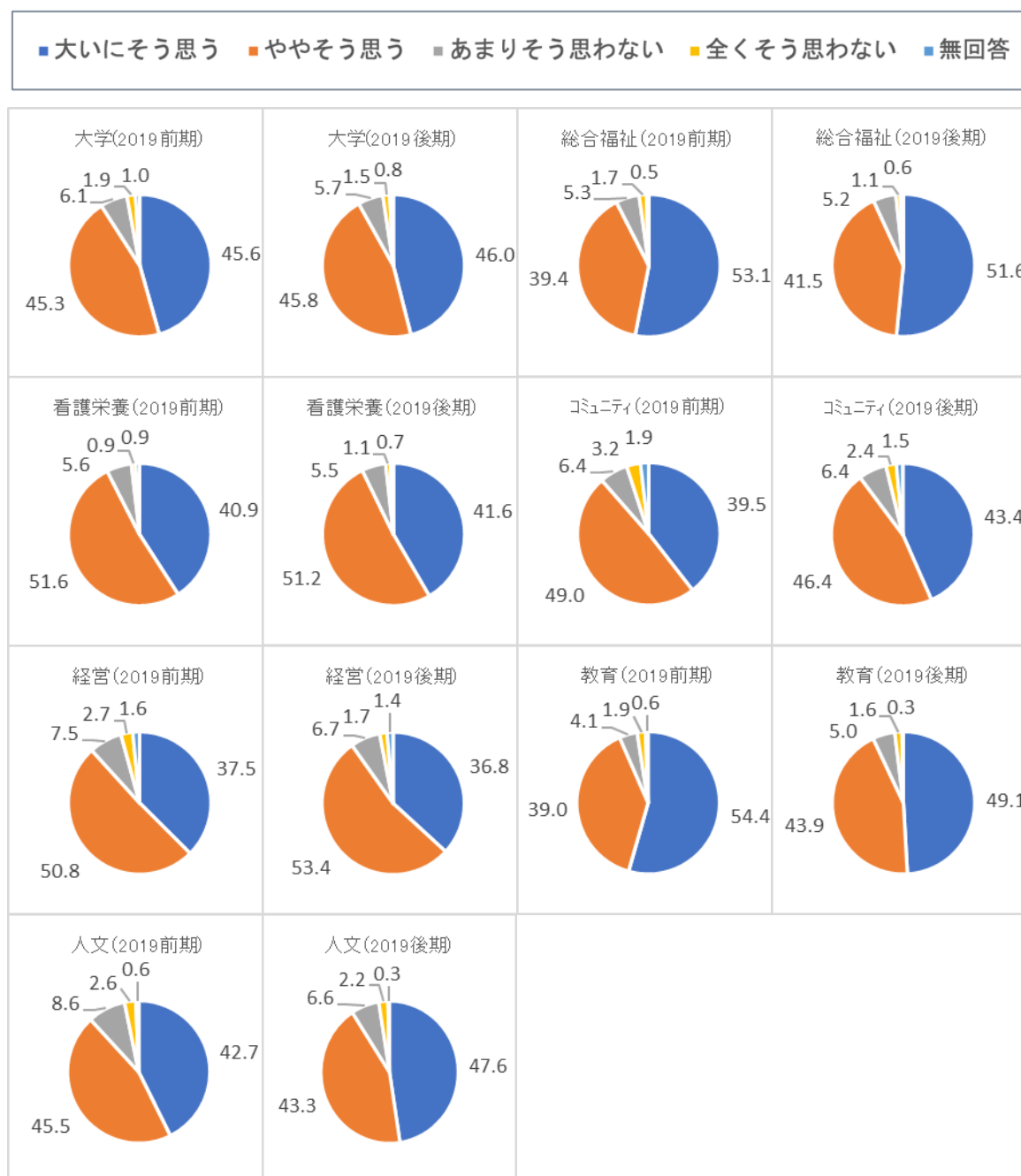


図10 II-2 教材は授業の理解に役立ったか

③ II-3「この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか」

教員の話し方や説明の仕方は、学生の授業満足度や授業を通じた知的好奇心の刺激に大きな影響を与えることが今までのいくつかの授業アンケートの分析から分かっており、話し方は教育方法を検討する上で重要なファクターとなっています。

大学全体や各学部において、話し方や説明の分かりやすさについて「大いにそう思う」「ややそう思う」の回答は80%から90%になります。一方、「あまりそう思わない」などの回答も10%前後あることから、今後、FDのテーマとするなど、一層話し方のわかりやすい授業の推進を行う必要があります。

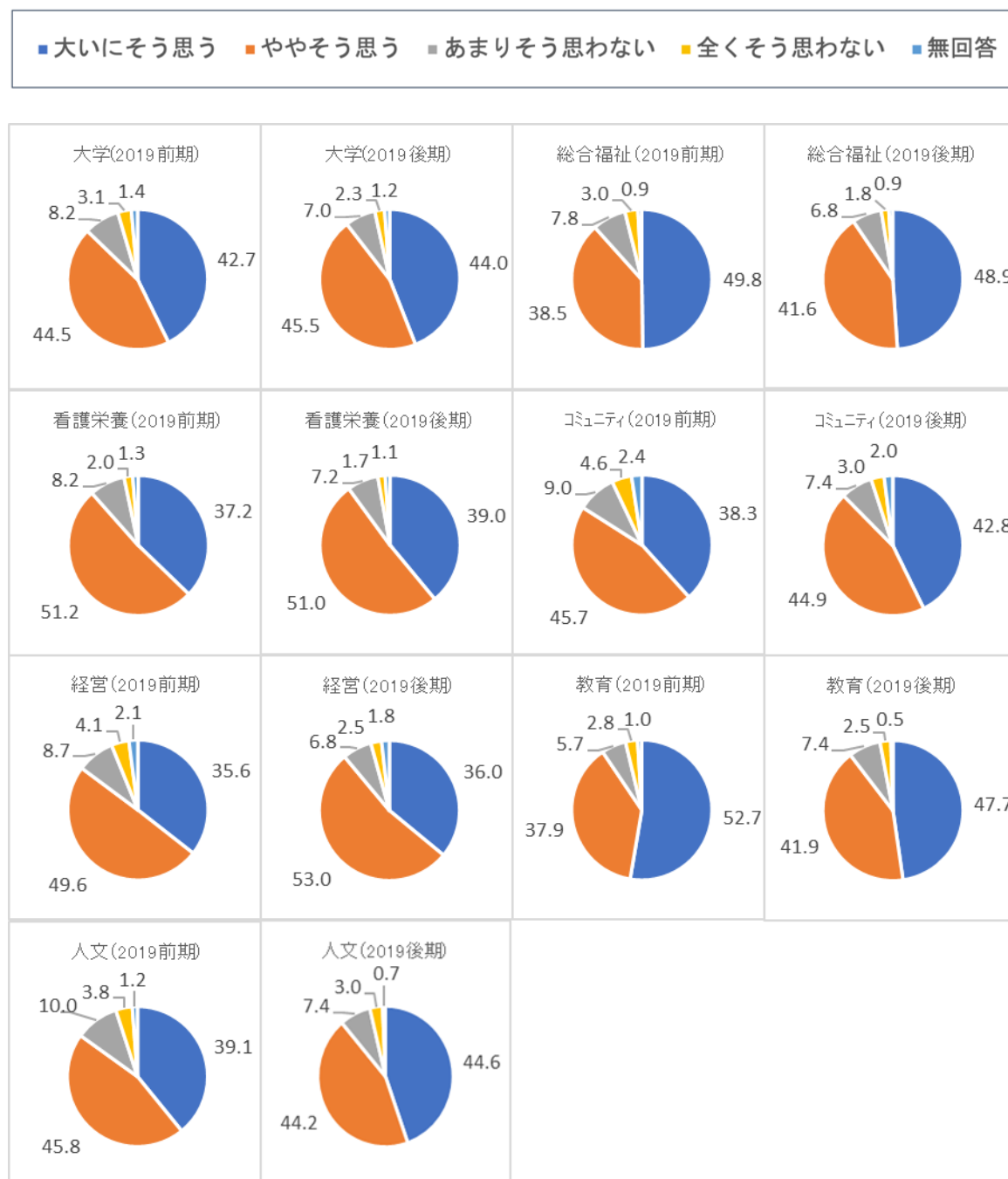


図11 II-3 話し方や説明のわかりやすさ

(Ⅲ)授業に対する評価について

① Ⅲ－1「この授業をととして知的好奇心が刺激されましたか」

大学全体及び各学部において「大いにそう思う」「ややそう思う」を合わせた数値は 80%を超えており、授業により知的好奇心への刺激を受けているように認められます。2018 年度授業アンケートの分析では、「教員の話し方や説明の仕方が分かりやすい」などの条件があると知的刺激が高まるようです。

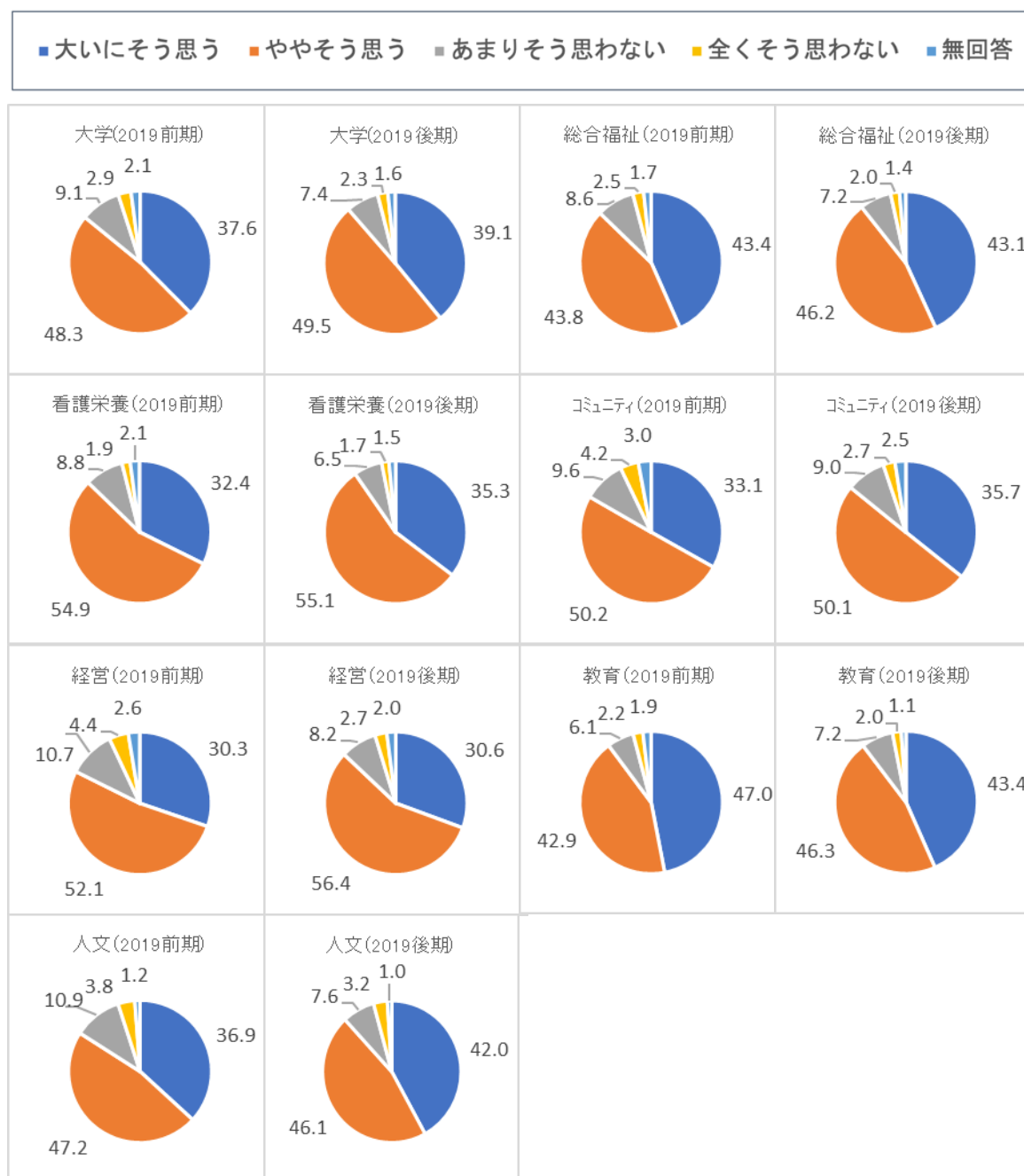


図 12 Ⅲ－1 知的好奇心の刺激

② Ⅲ－２「あなたの授業内容の理解において、難易度は適切でしたか」

授業の難易度について 60%以上は難易度が適切であると回答しています。また適切以外で回答したほとんどは「難しい」もしくは「やや難しい」であり、難易度が「やややさしい」「やさしい」といった回答が少ない傾向にあることがわかります。

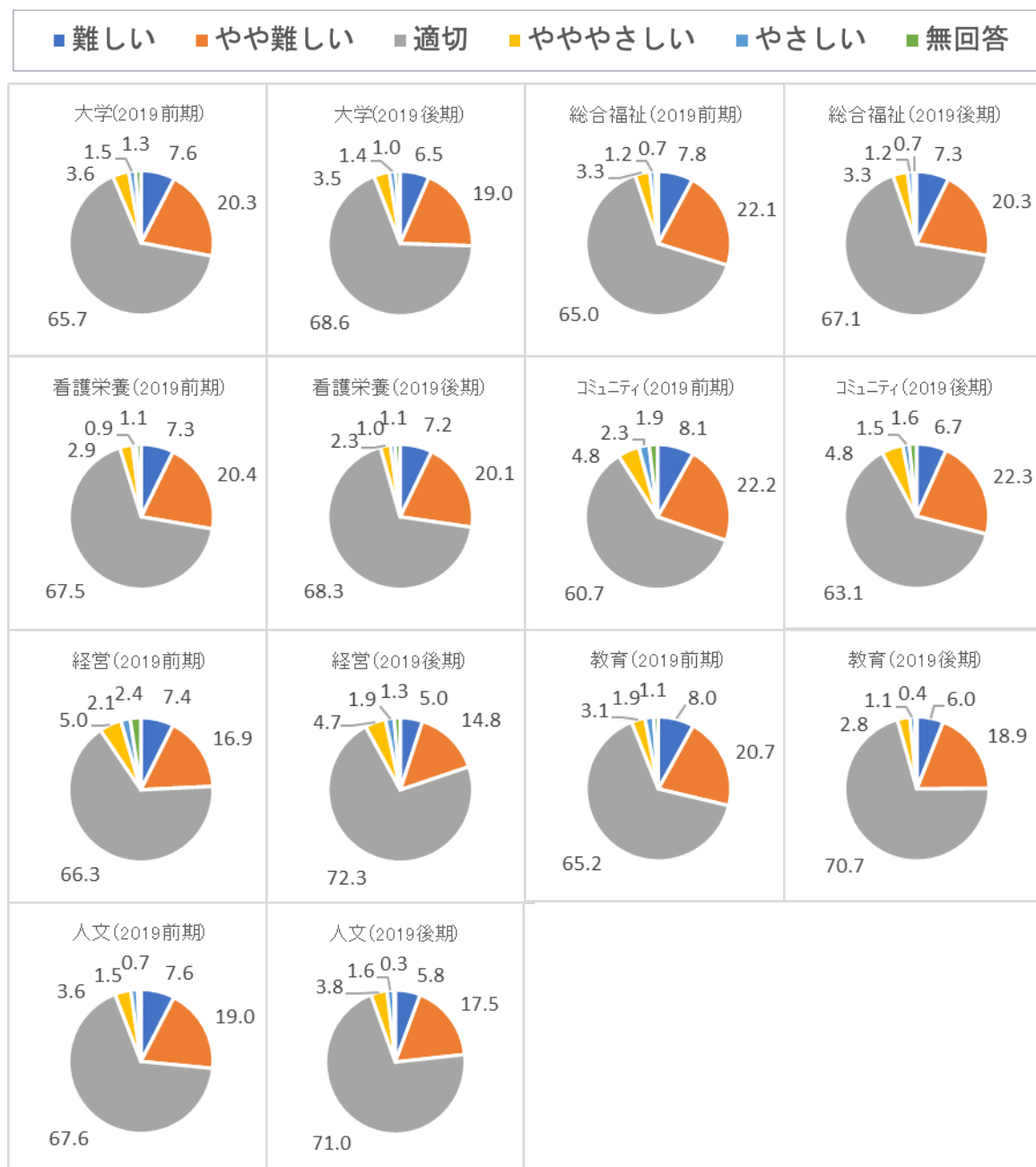


図 13 Ⅲ－２ 難易度の適切さ

③ Ⅲ－3「この授業を受講して、満足していますか」

授業の満足度は、大学全体では「大いにそう思う」と「ややそう思う」を合わせて、前期・後期とも90%前後となっており高いようです。学部別でも「大いにそう思う」「ややそう思う」を合わせて84～92%になりますが、「大いにそう思う」と答えている割合は学部により異なります。また授業の満足度の要因は、過去の授業アンケートでも分析を行い、教員の話し方や説明の仕方が大きく影響し、機器備品の充実や双方向型授業が効果的に行われていることも影響しています。

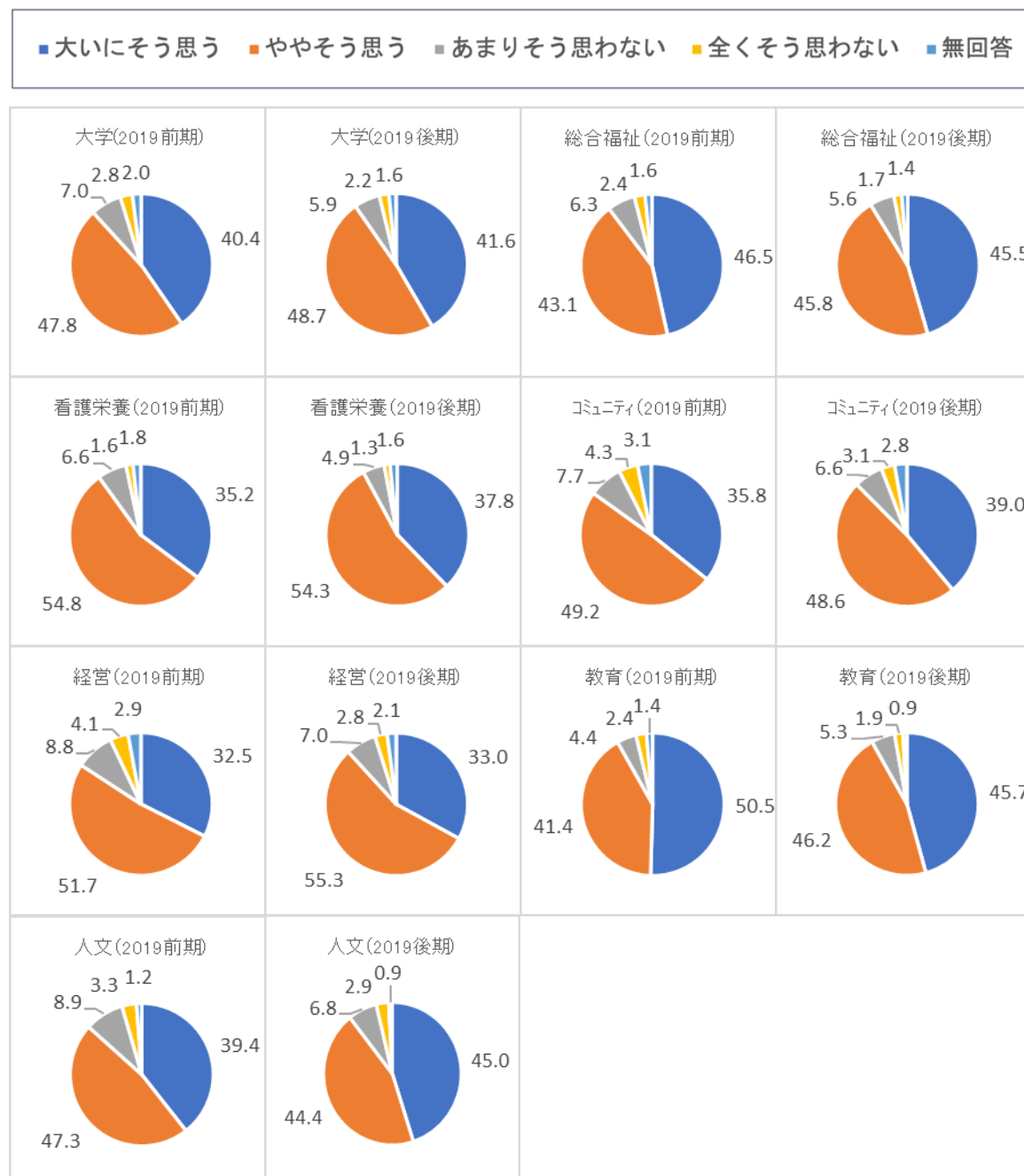


図 14 Ⅲ－3 授業の満足度

(Ⅳ)授業環境について

① Ⅳ－１「受講態度(私語、携帯電話の使用等への注意等)に適切な対応がなされ、学習するのにふさわしい環境が保たれていましたか」

授業内での私語や携帯電話の注意等の対応は、大学全体及び各学部において「大いにそう思う」「ややそう思う」を合わせて前後期ともに 90%程度になっており、学習にふさわしい環境はほぼ保たれているようです。特に総合福祉学部及び教育学部は「大いにそう思う」の割合が他の学部と比べて高くなっています。

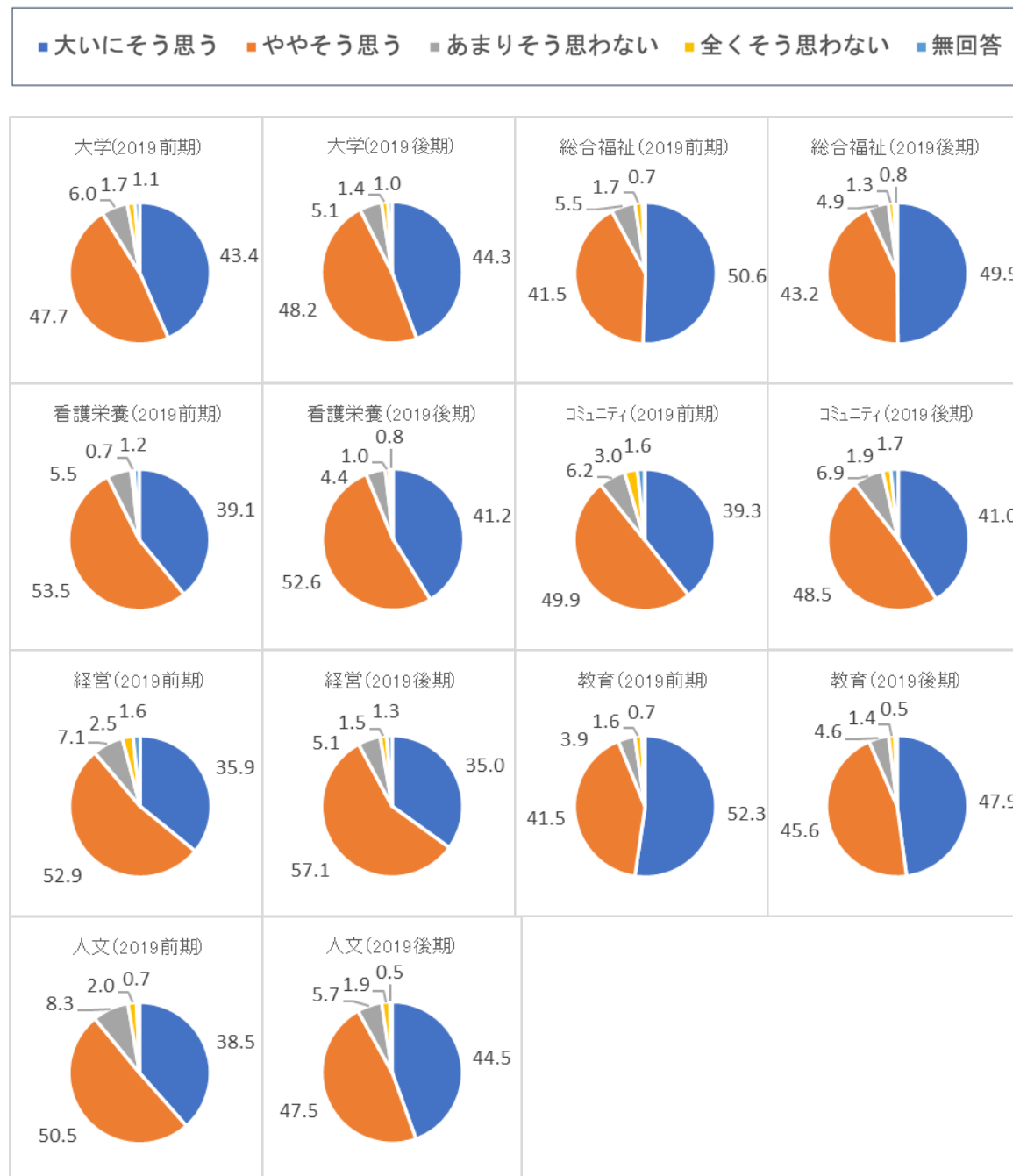


図 15 Ⅳ－１ 学習するのにふさわしい環境が保たれていたか

② IV-2「授業に関する機器・備品等は充実していましたか」

授業に関する機器・備品は、大学全体で 90%以上が「大いにそう思う」及び「ややそう思う」と回答しています。しかし、「大いにそう思う」の数値は各キャンパス・学部によって異なるため、各授業の使用教室等の調査を今後も行っていく必要があります。

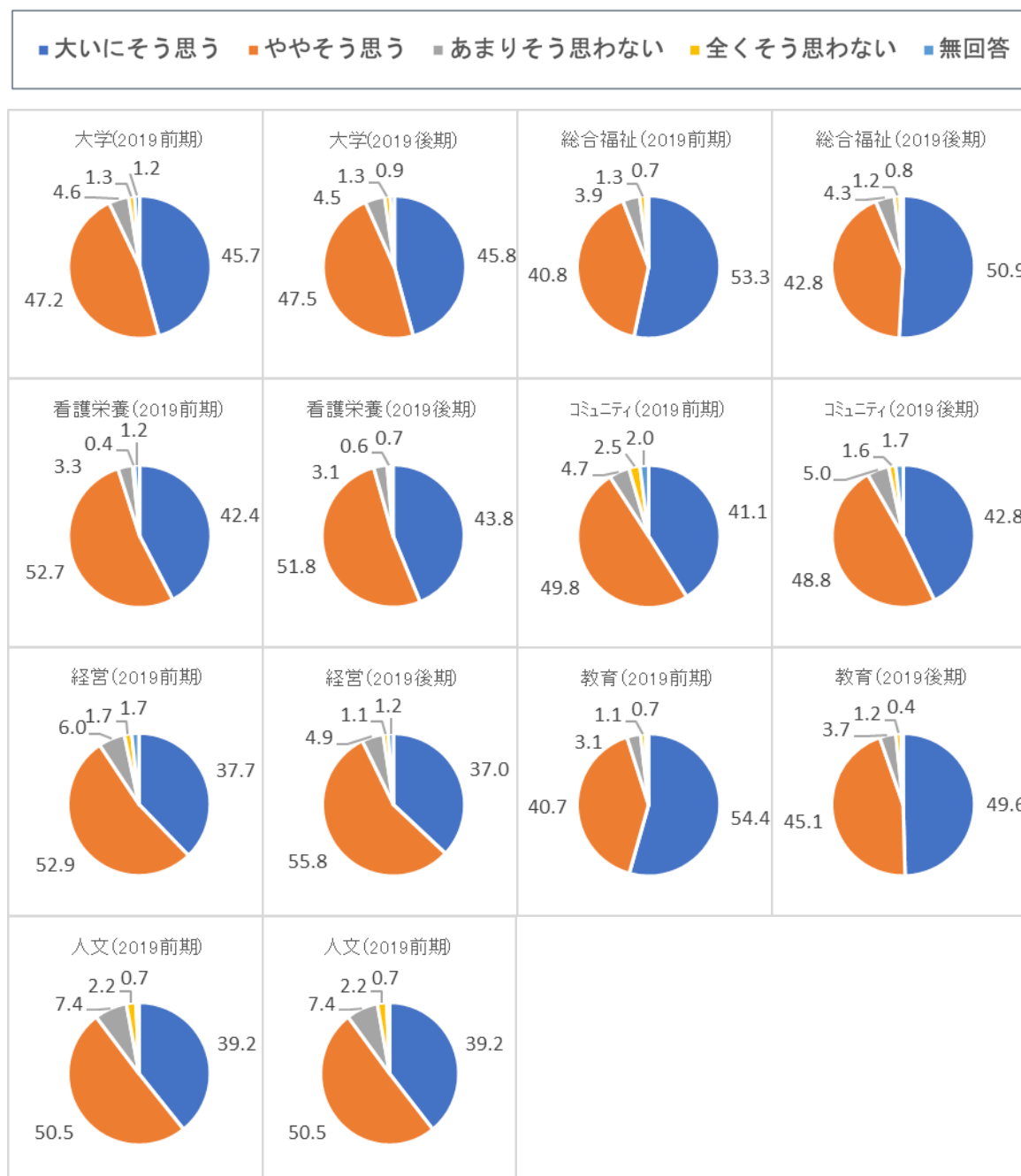


図 16 IV-2 授業に関する機器・備品の充実

④ IV-3 「この授業を受けるにあたり、履修人数は適切でしたか」

履修人数の適切さについて、大学全体や各学部の前学期・後学期とも「大いにそう思う」と「ややそう思う」を合わせた数値は 90%前後であり、授業の履修人数は適切であると感じている学生は多くいるようです。しかし、「大いにそう思う」の割合は学部によって大きく異なるため、クラス規模や履修人数については注視していく必要はあります。

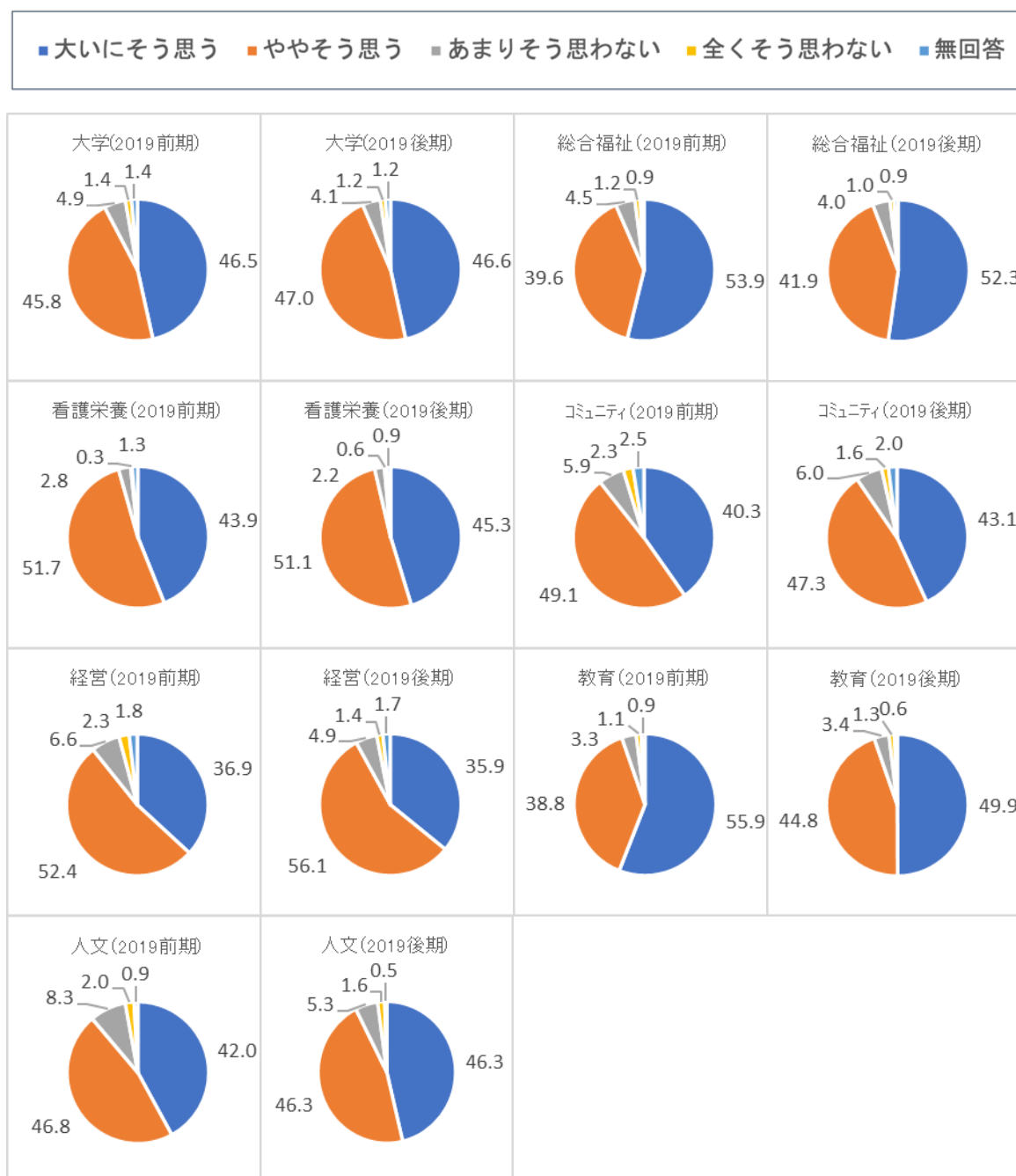


図 17 IV-3 履修人数は適切か

Ⅲ 今までの各設問の経年変化

1. 授業アンケートの経年変化について

2015 年度から 2019 年度の 5 年間ににおける学生向けアンケートの回答の経年変化を示します。

ここでは下記設問項目について、それぞれ大学及び学部別、前学期・後学期別に回答割合を掲載しています。

(Ⅰ) 授業の構成について

I-4 「授業はシラバスにそって行われましたか」

I-5 「あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか」

I-7 「質疑応答の時間の設定」や「課題レポート・小テストの返却」等、疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫はありましたか」

I-8 「あなたがこの授業1回(90 分)のために予習・復習に費やした時間は平均()であった」

(Ⅱ) 授業方法について

II-1 「双方向型の授業(発表、討論、協同学習、調べ学習等)は、効果的に行われましたか」

II-3 「この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか」

(Ⅲ) 授業に対する評価について

III-3 「この授業を受講して、満足していますか」

※集計・分析について(追記・一部再録)

* 各グラフにおいて年度はアンケートの実施年度を示し、かつこ内の n は全回答枚数を示します。

* 大学・学部別集計結果と同様に、「大学」にはアンケートの「学部・学科」欄における無回答や「その他」の回答を含みます。また、2015 年度から 2017 年度の調査の「大学」においては、国際コミュニケーション学部の回答も含みます

* 大学及び学部別の各集計結果においては、設問に対する無回答を含んでいます。

* 回収したアンケート調査票の一部には、複数の番号にマークしているものやマークしている箇所が不明なものが少数存在しました。これらの回答(選択肢が不明)は無回答として集計しています。

2. 2015 年度～2019 年度の各設問の経年グラフ

(I) 授業の構成について

I-4「授業はシラバスにそって行われましたか」

本学ではシラバス項目やシラバス作成要領を今の高等教育の実状に合わせた形で見直してきました。またシラバスは第三者によるチェックを行い、質の担保を行っています。本設問では 2019 年度は大学及び各学部において「大いにそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、90%前後となっています。これは 2015 年度を比較すると「大いにそう思う」の割合が実施年度が新しい調査において増加しているようです。なお、「大いにそう思う」の増加は学部によって異なります。例えば千葉キャンパスでは「大いにそう思う」の割合が増えています。経営学部は 2015 年度と 2019 年度を比較するとさほど変わりはありません。

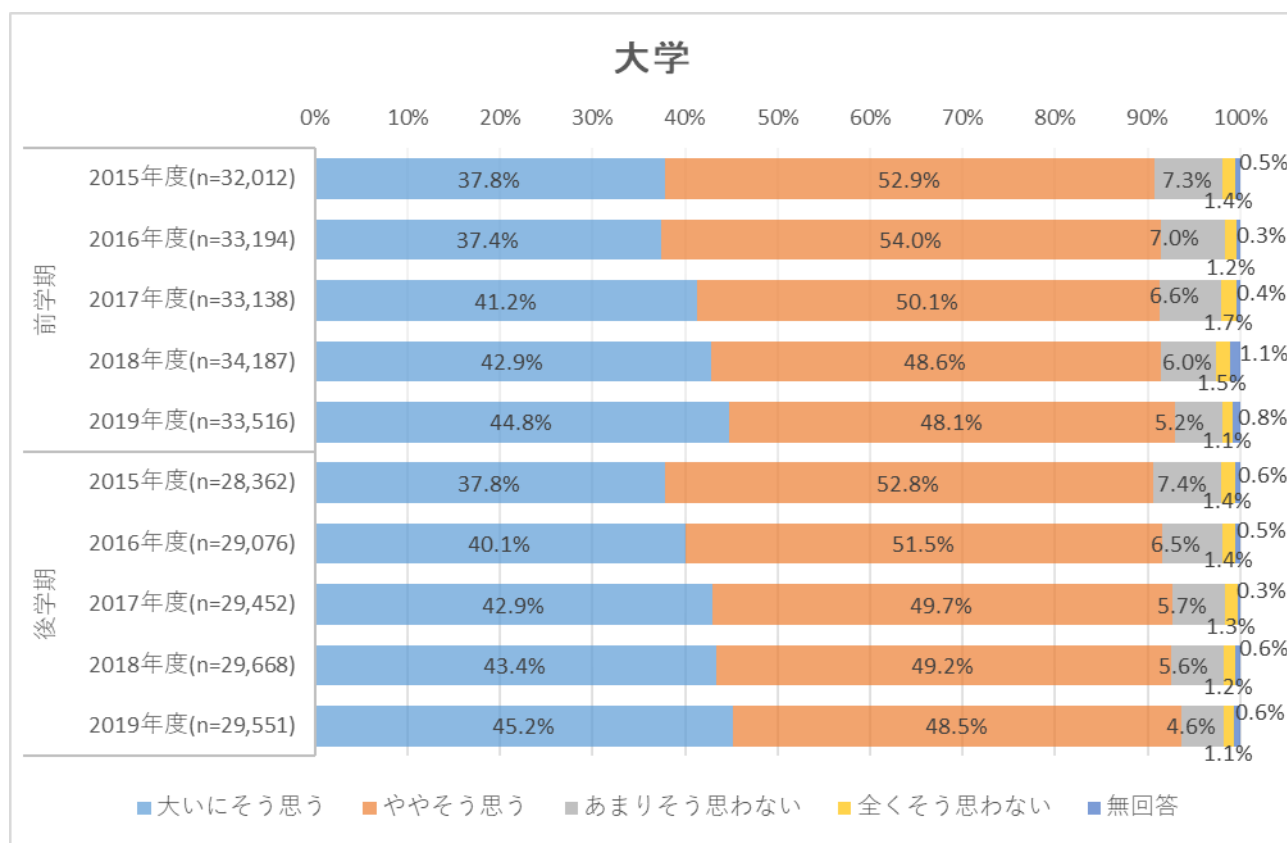


図18 I-4 授業はシラバスにそって行われたか(大学)

I-4「授業はシラバスにそって行われましたか」

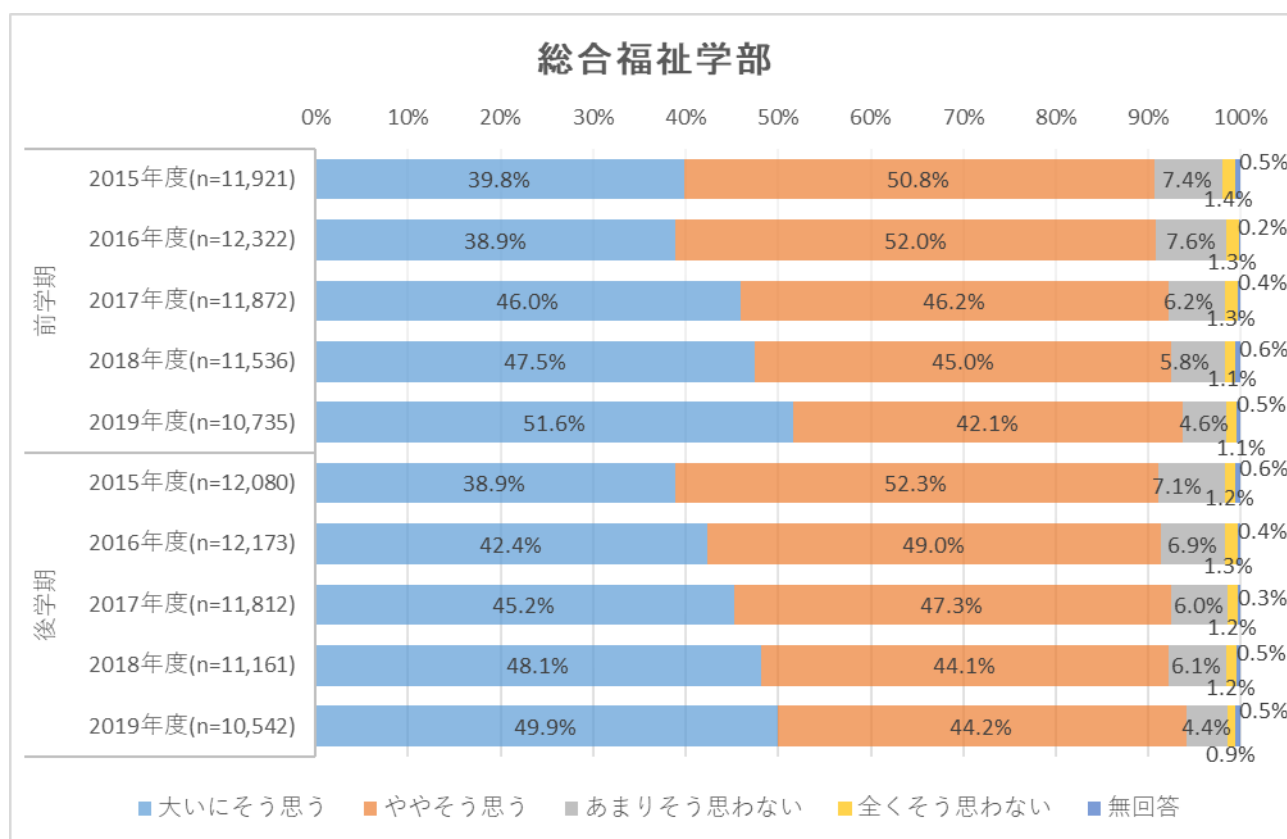


図19 I-4 授業はシラバスにそって行われたか(総合福祉学部)

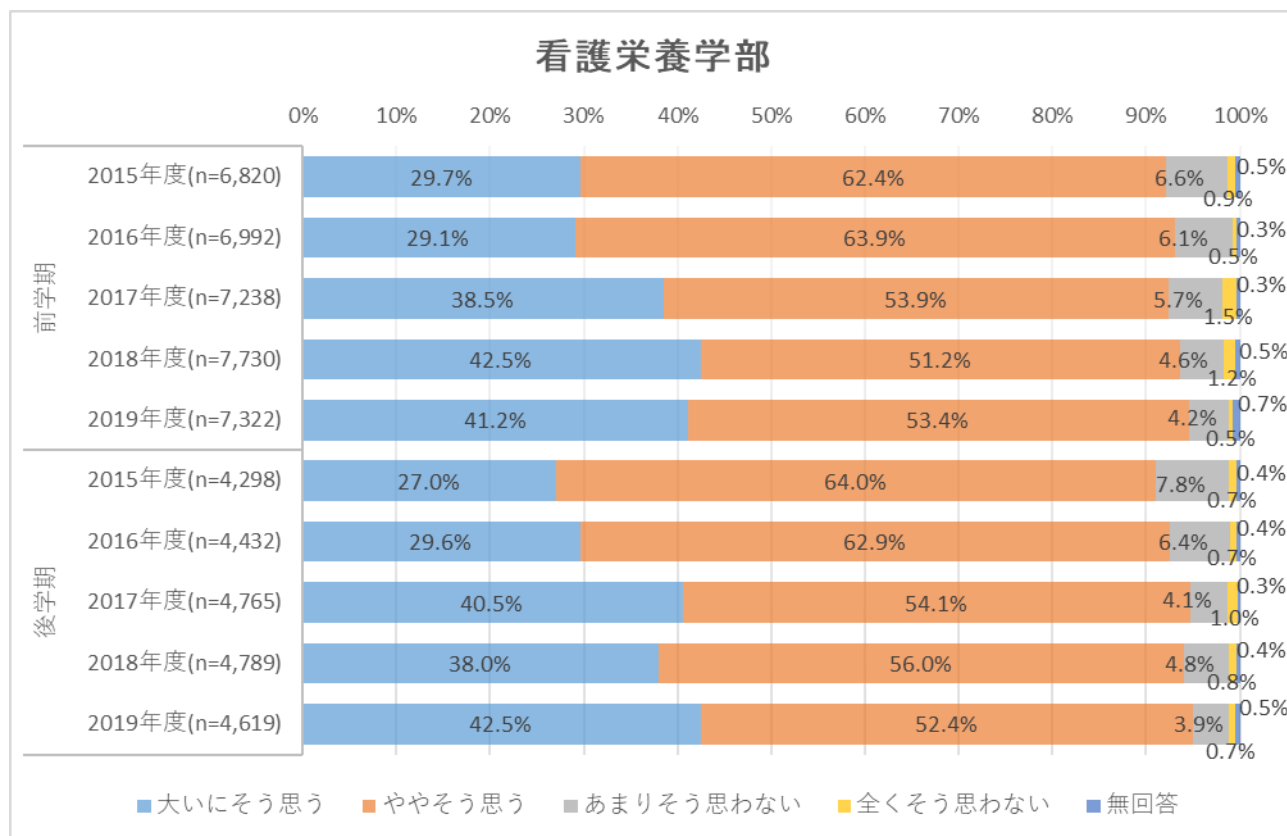


図20 I-4 授業はシラバスにそって行われたか(看護栄養学部)

I-4「授業はシラバスにそって行われましたか」

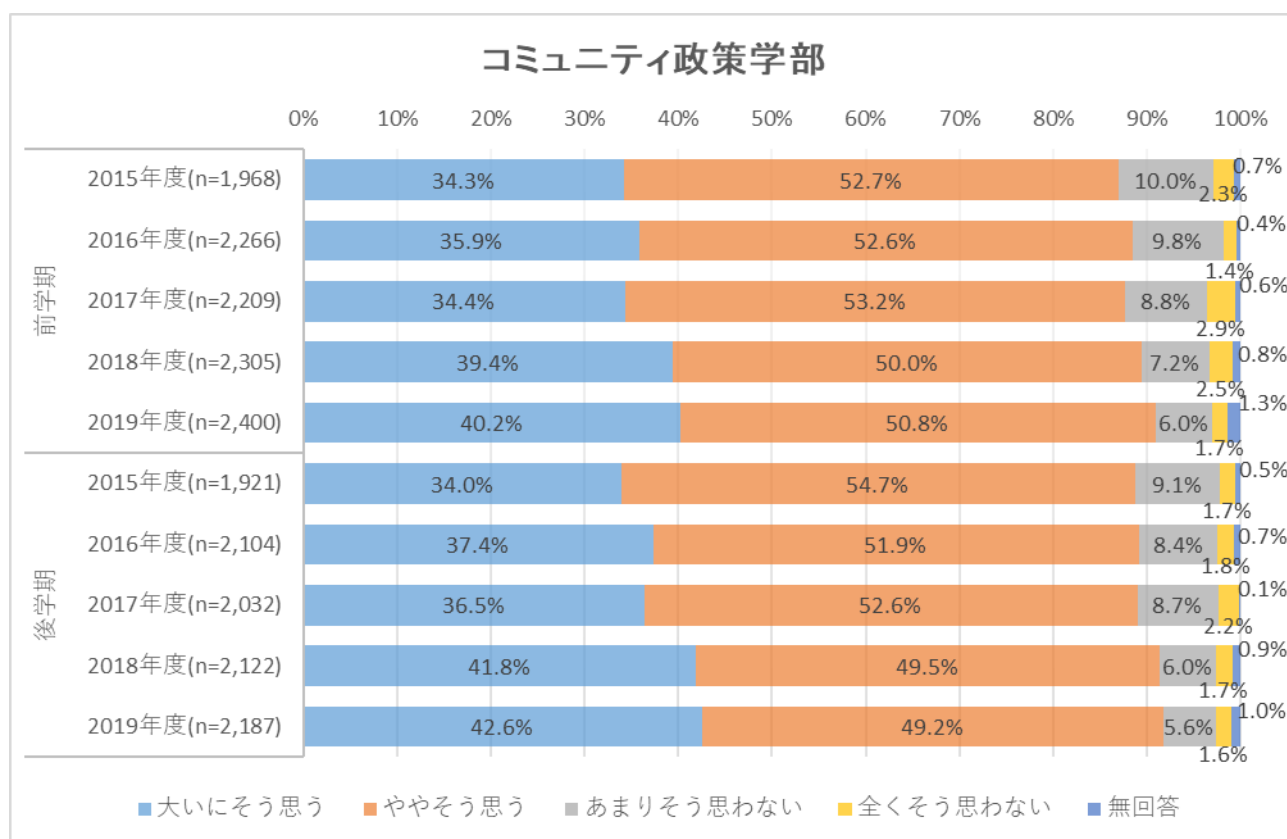


図21 I-4 授業はシラバスにそって行われたか(コミュニティ政策学部)

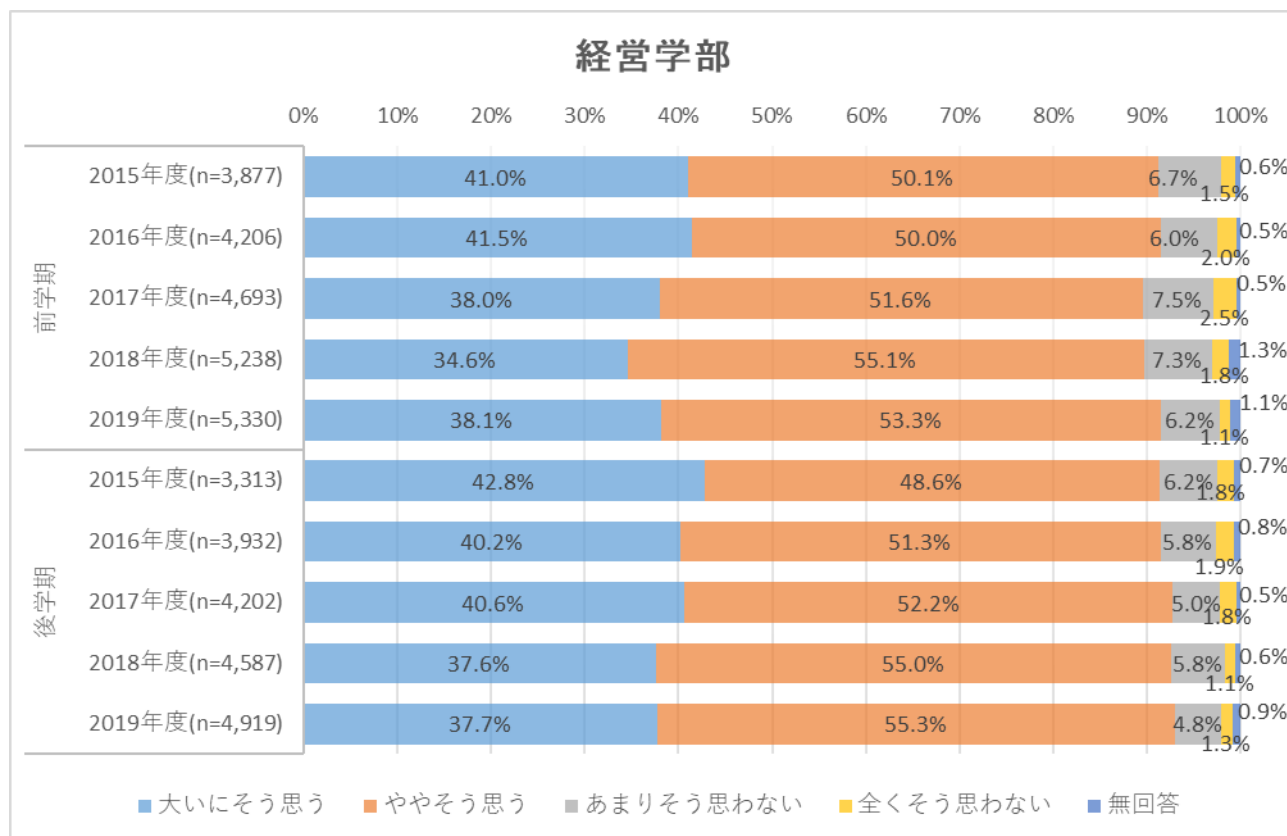


図22 I-4 授業はシラバスにそって行われたか(経営学部)

I-4「授業はシラバスにそって行われましたか」

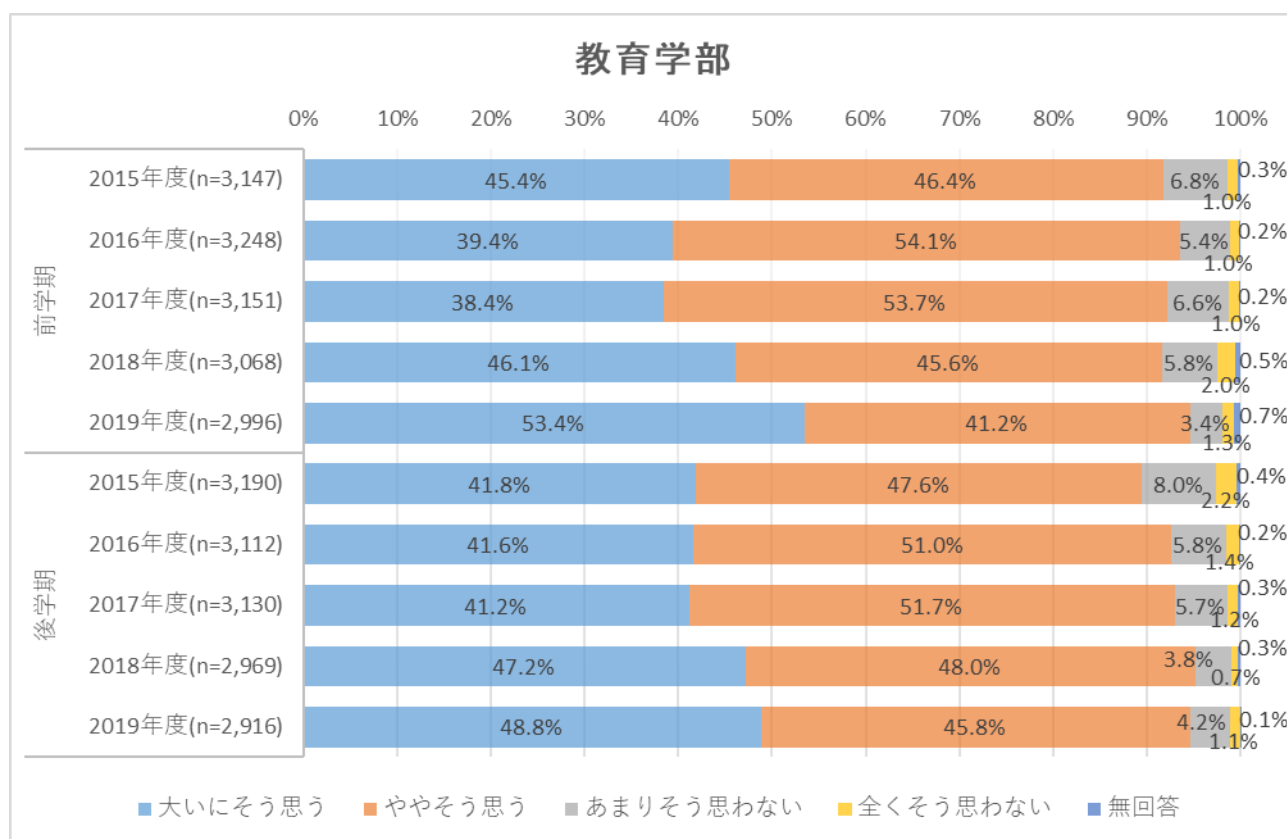


図23 I-4 授業はシラバスにそって行われたか(教育学部)

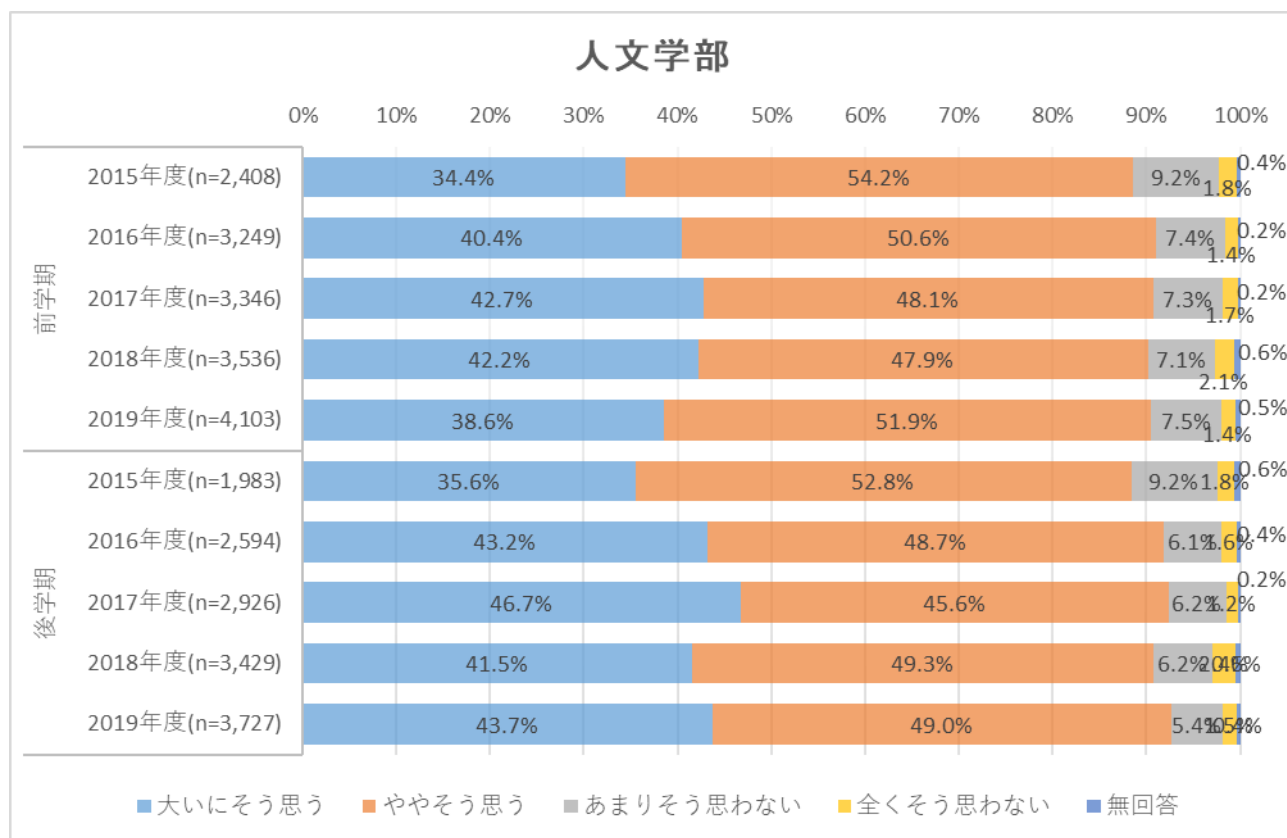


図24 I-4 授業はシラバスにそって行われたか(人文学部)

(I) 授業の構成について

I-5 「あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか」

カリキュラムは体系性及び順次的に構成されており、これに沿って各科目は到達目標が定められています。つまり到達目標を達成し、積み重ねていくことが本学及び各学位プログラムのディプロマ・ポリシーで定める知識や能力を修得することにつながります。

本学では授業アンケートで間接評価として授業アンケートにおいて到達目標の達成について学生に確認をしています。大学及び各学部において「大いにそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、80%から 90%程度となっており、近年増加傾向にあります。特にあまりそう思わないの割合が徐々にですが「あまりそう思わない」が減っています。

なお、この達成について「大いにそう思う」に着目すると、教育学部はこの回答をした割合が高いですが、一方看護栄養学部は「ややそう思う」の割合が非常に高いため、国家資格の取得を目指す学部が高いわけではないようです。

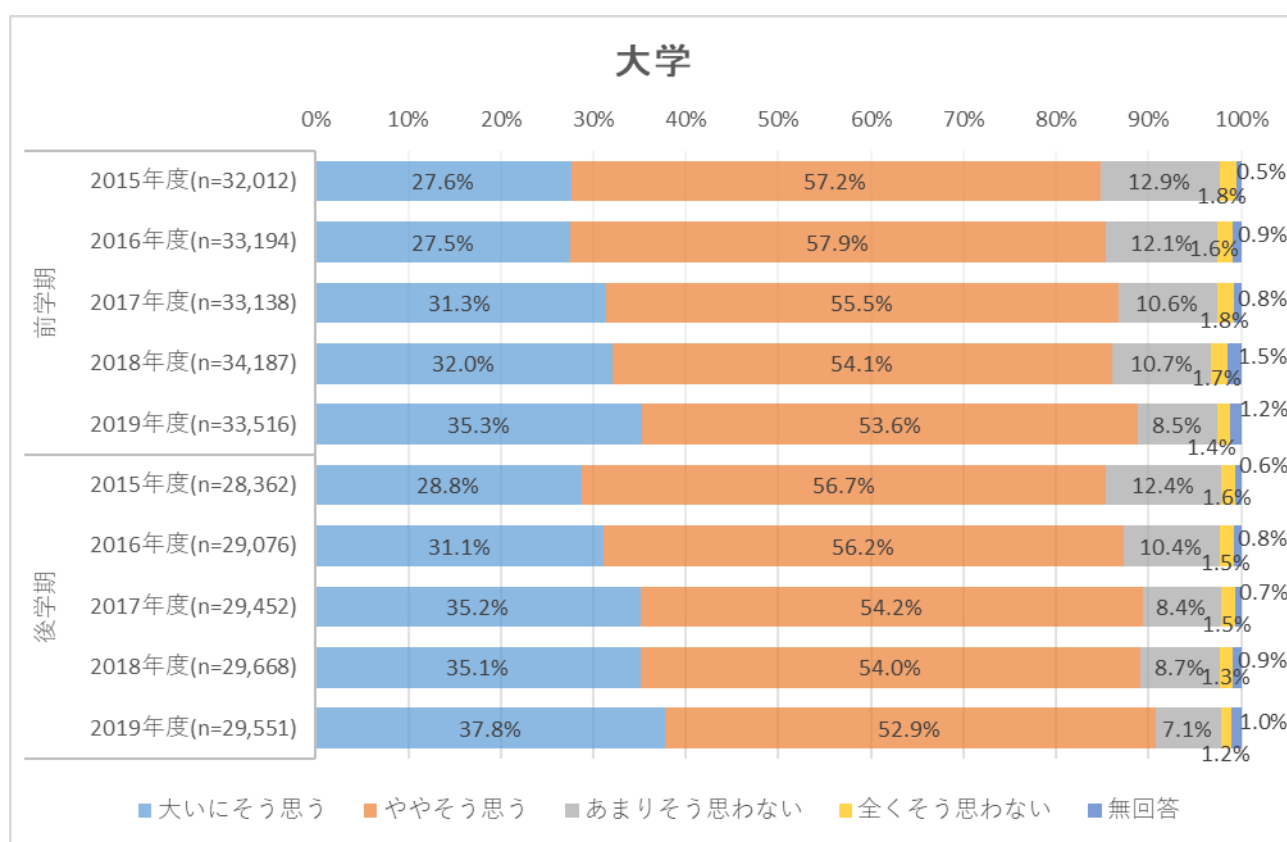


図25 I-5 シラバスに記載された到達目標を達成できたか(大学)

I-5 「あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか」

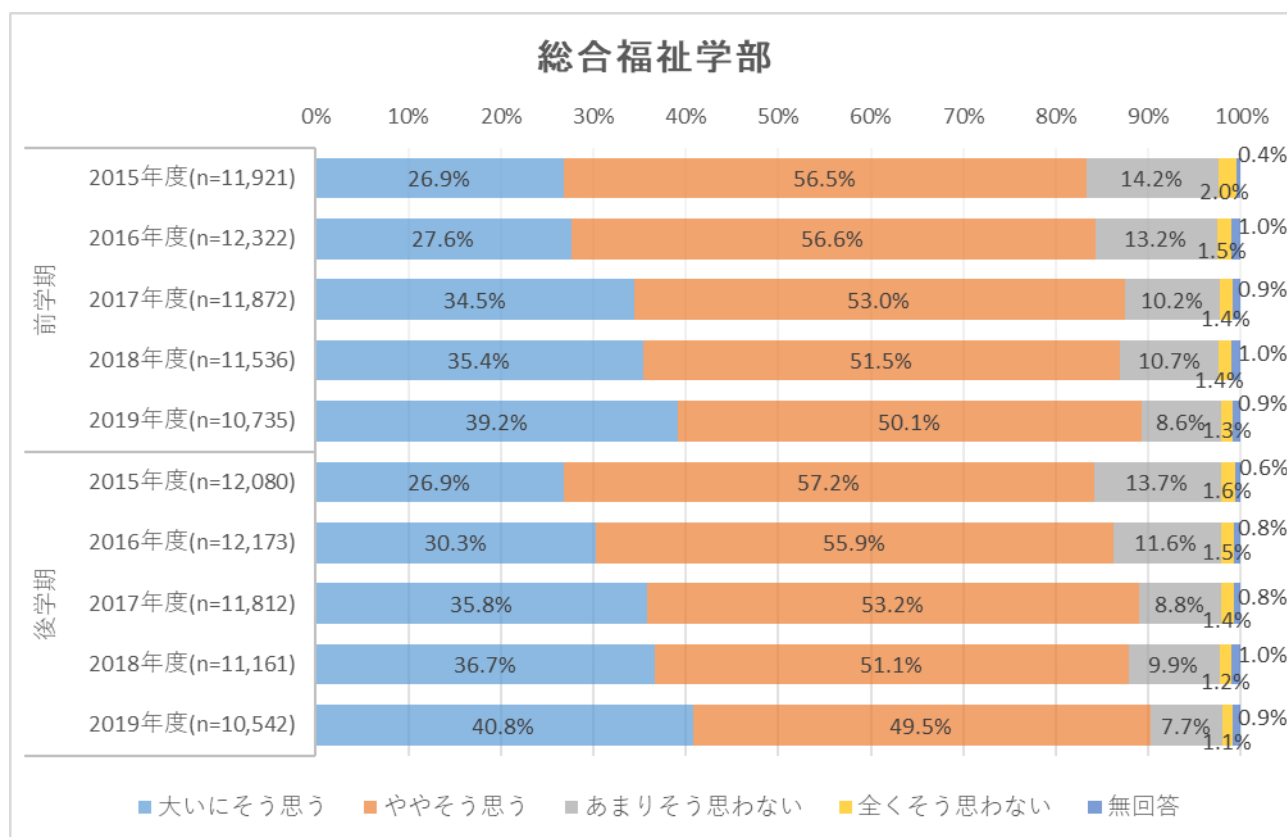


図26 I-5 シラバスに記載された到達目標を達成できたか(総合福祉学部)

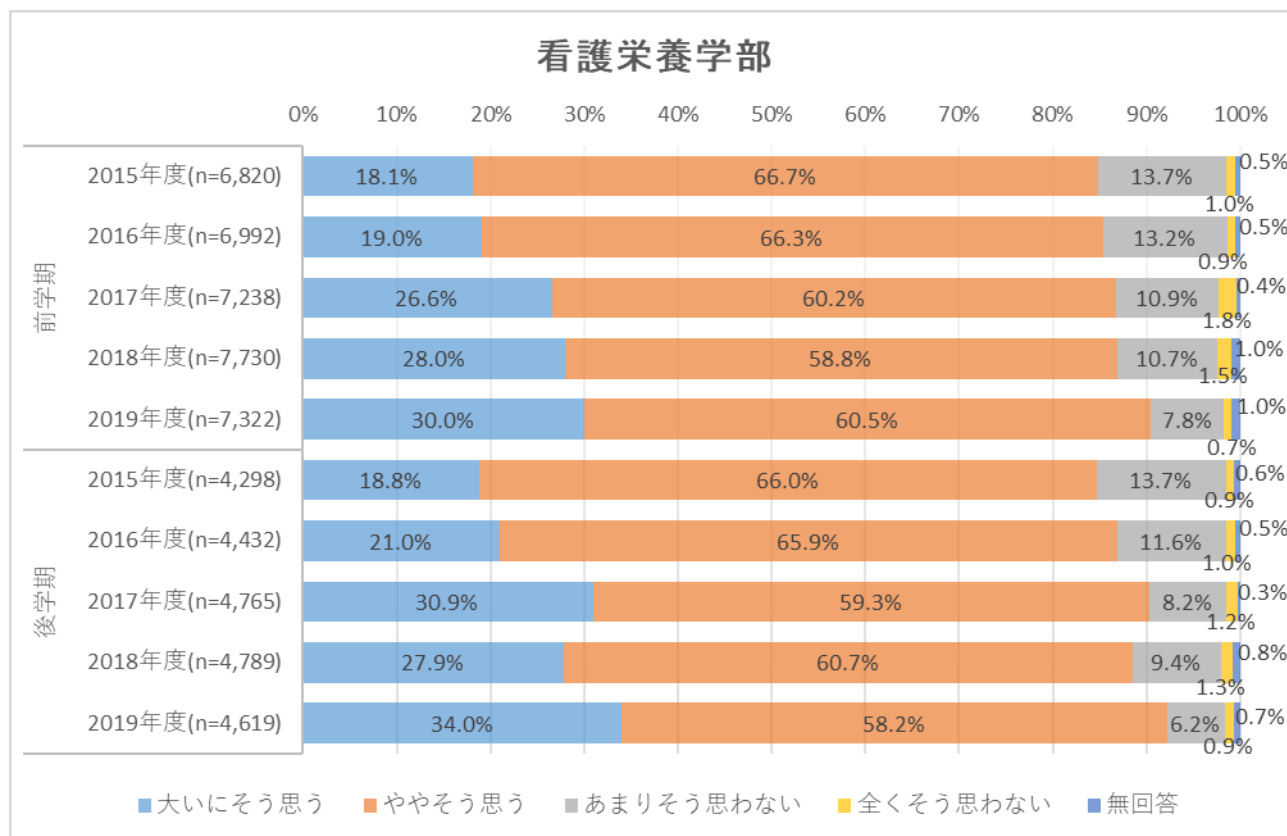


図27 I-5 シラバスに記載された到達目標を達成できたか(看護栄養学部)

I-5 「あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか」

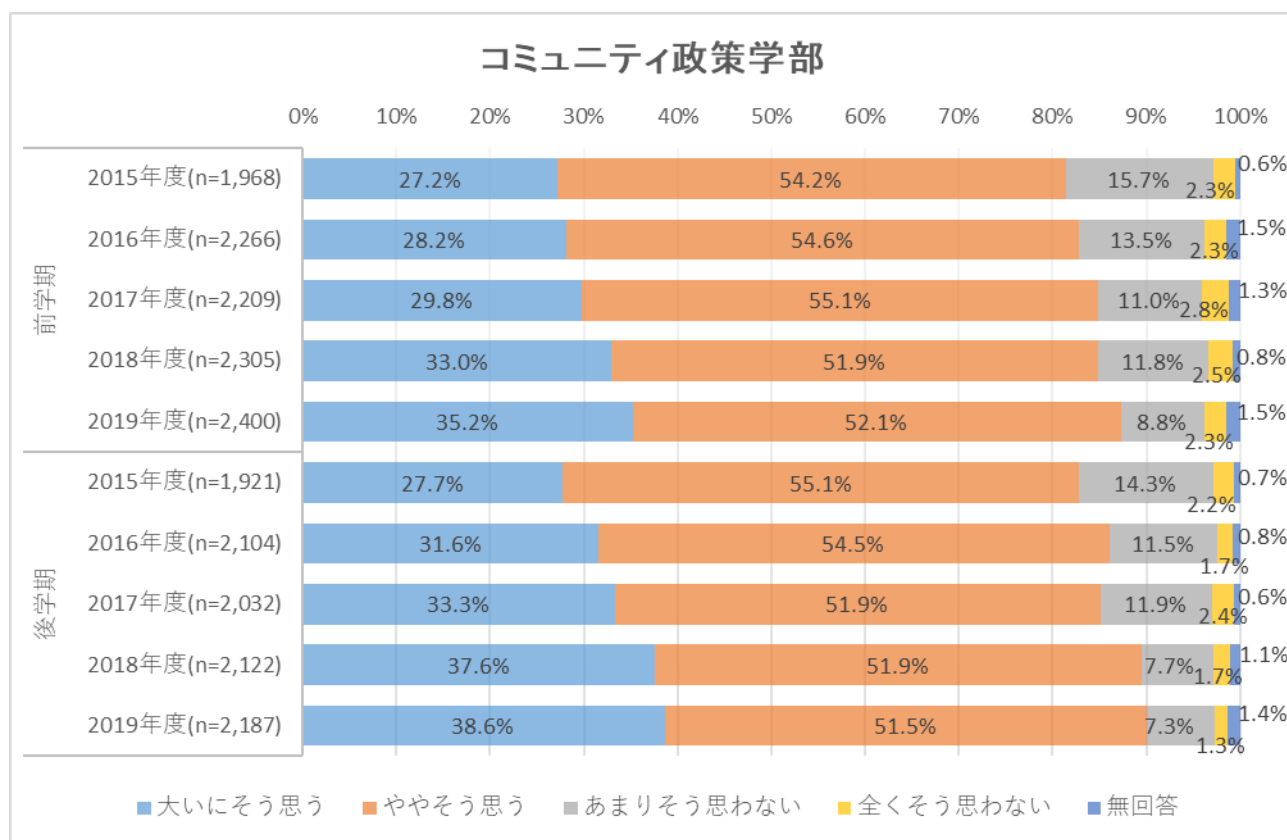


図28 I-5 シラバスに記載された到達目標を達成できたか(コミュニティ政策学部)

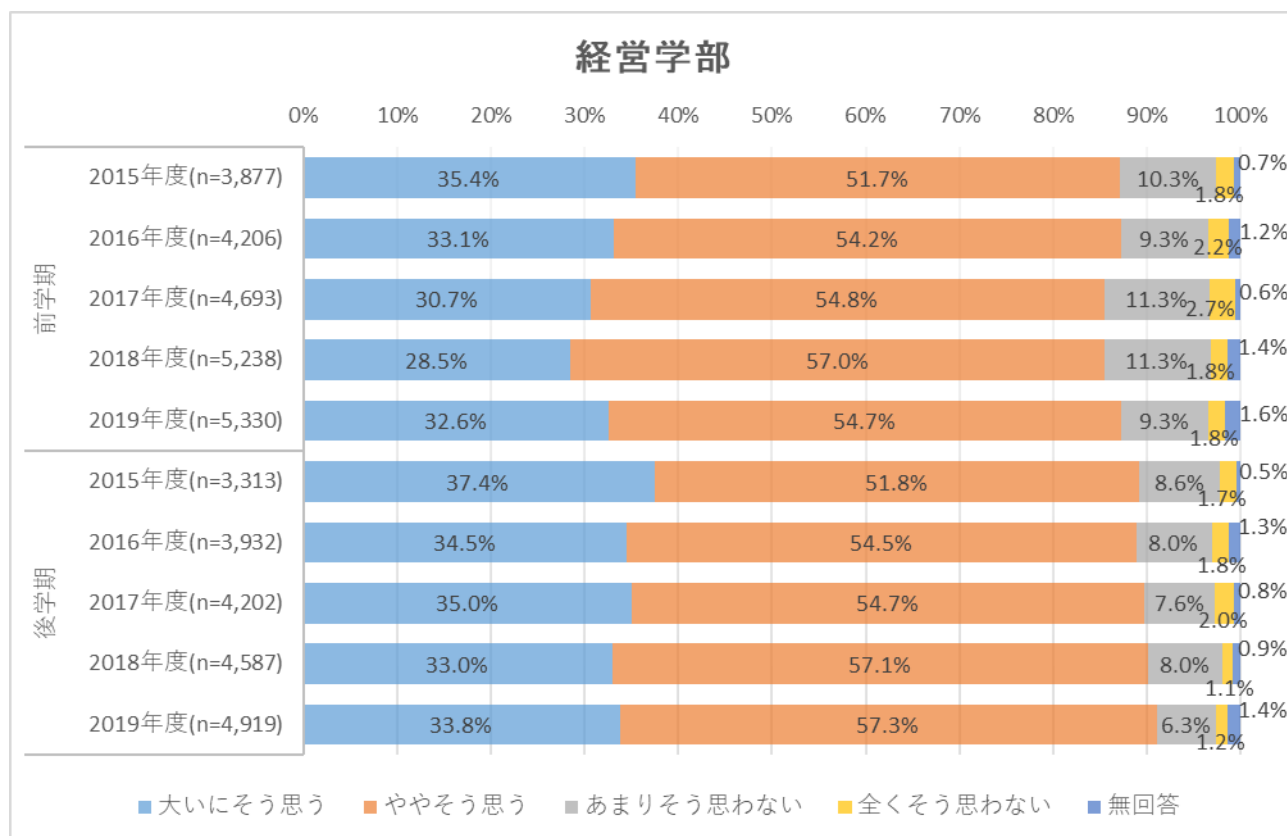


図29 I-5 シラバスに記載された到達目標を達成できたか(経営学部)

I-5「あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか」

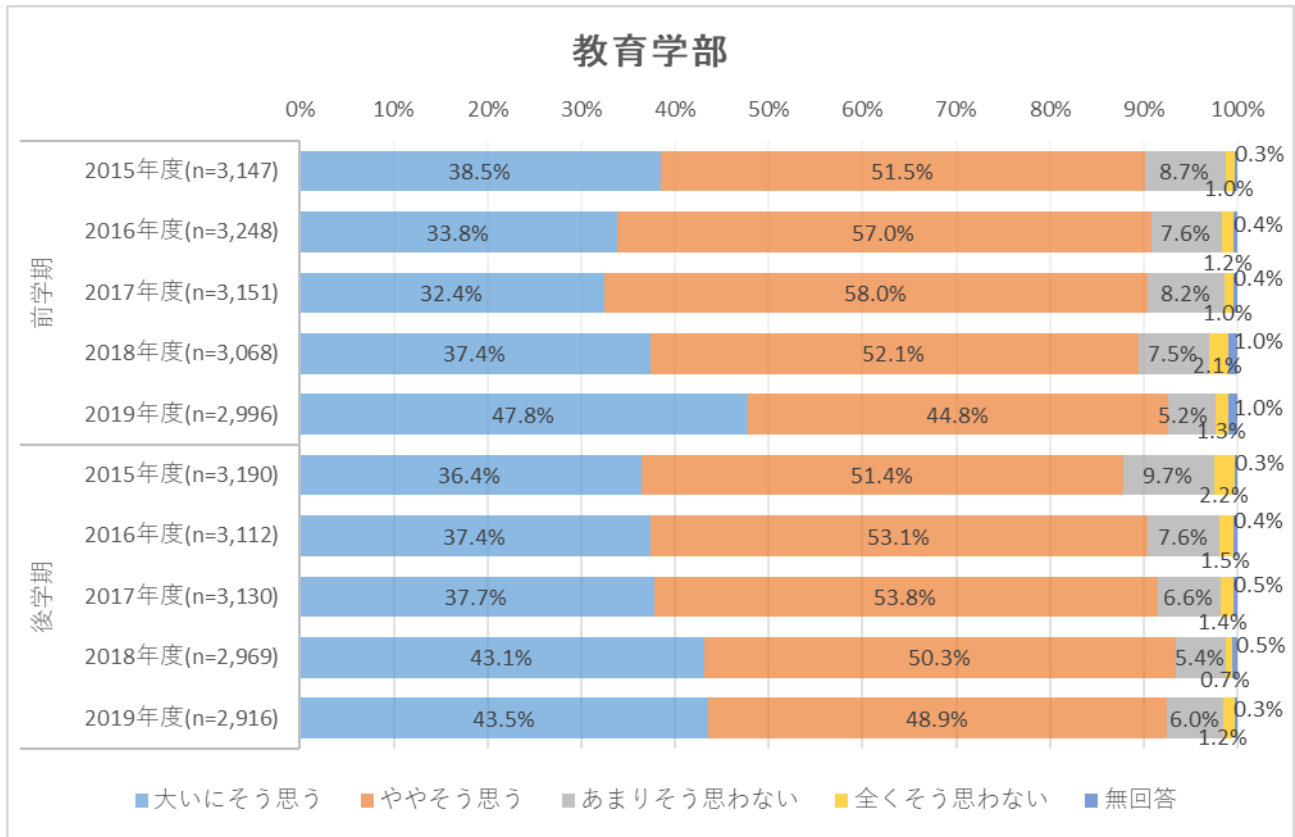


図30 I-5 シラバスに記載された到達目標を達成できたか(教育学部)

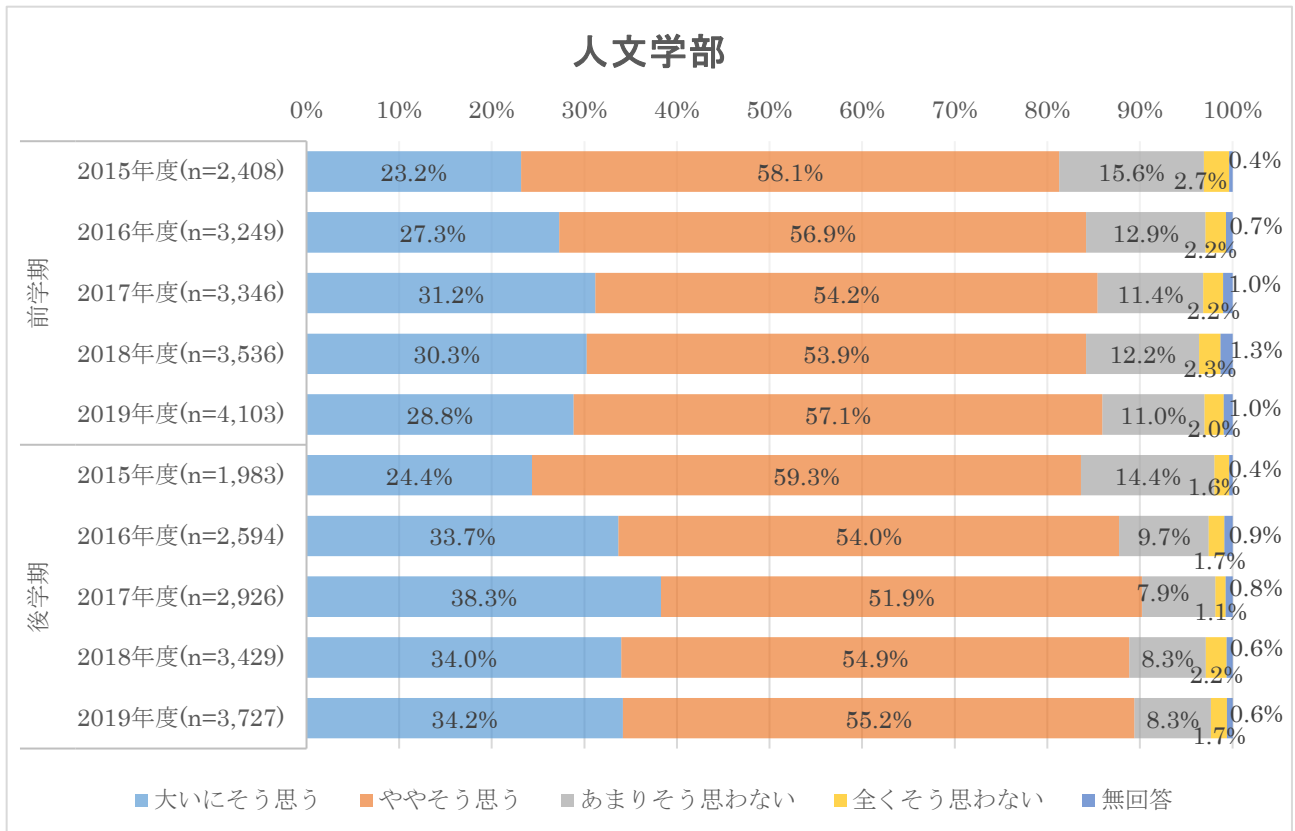


図31 I-5 シラバスに記載された到達目標を達成できたか(人文学部)

I)授業の構成について

I-7「質疑応答の時間の設定」や「課題レポート・小テストの返却」等、疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫はありましたか」

学生が理解を深めるための工夫について、大学全体では「大いにそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、80%から 90%程度となっています。また大学全体では「あまりそう思わない」が 5 年間で少し減少しています。「大いにそう思う」については教育学部や総合福祉学部などの割合が他学部と比較して高く、2015 年度と 2019 年度を比較すると割合が増えてもいます。また学部別の経年変化をみると「大いにそう思う」は変わらない、もしくは減っている学部があり、全ての学部が増えているわけではありません。

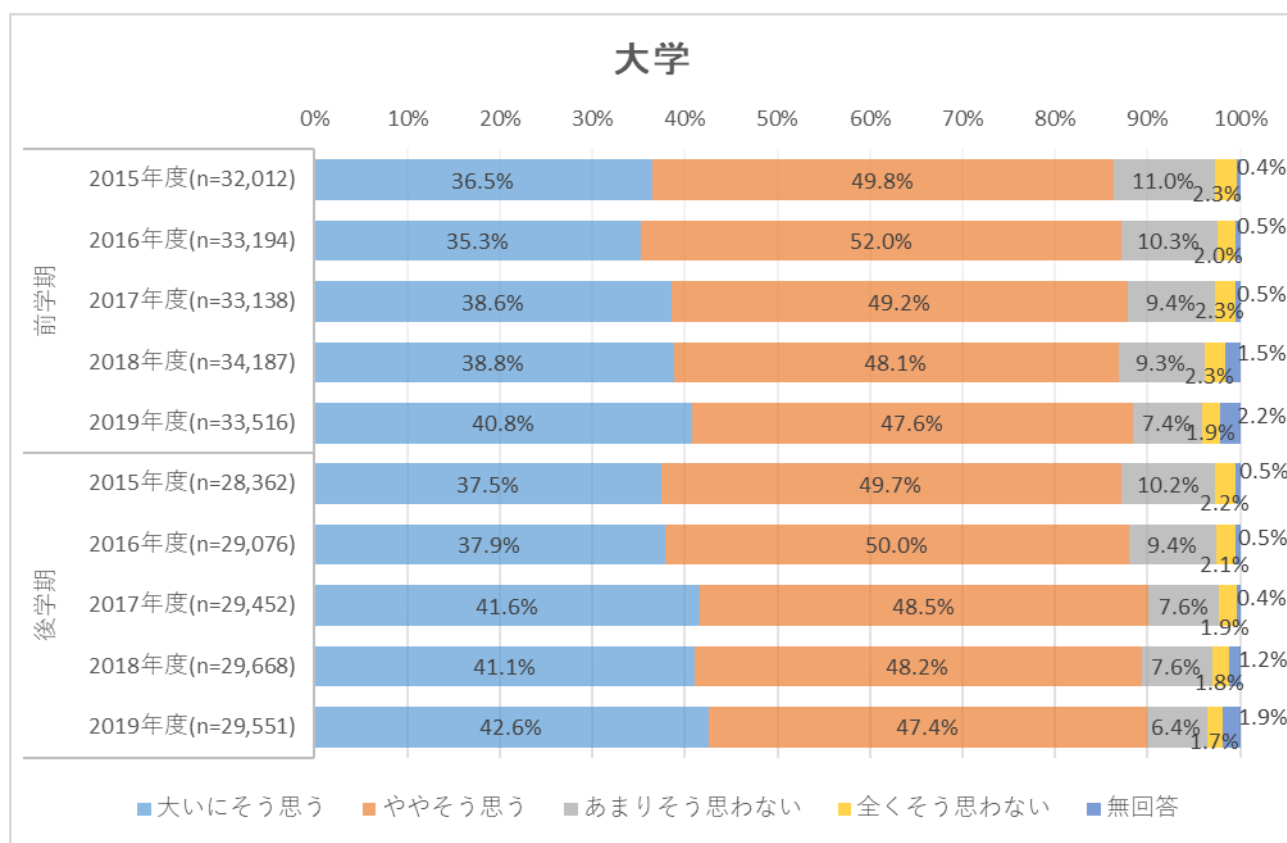


図32 I-7 疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫(大学)

I－7「質疑応答の時間の設定」や「課題レポート・小テストの返却」等、疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫はありましたか」

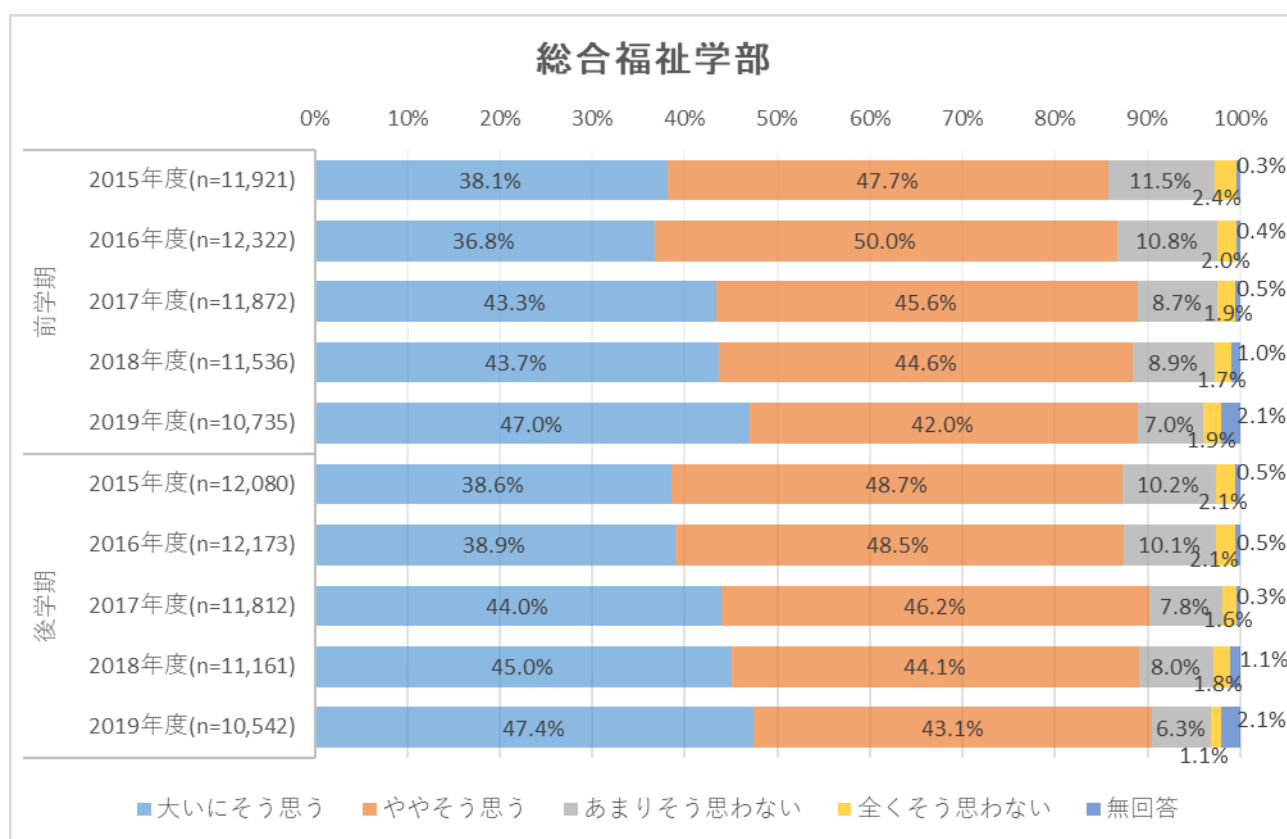


図33 I－7 疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫(総合福祉学部)

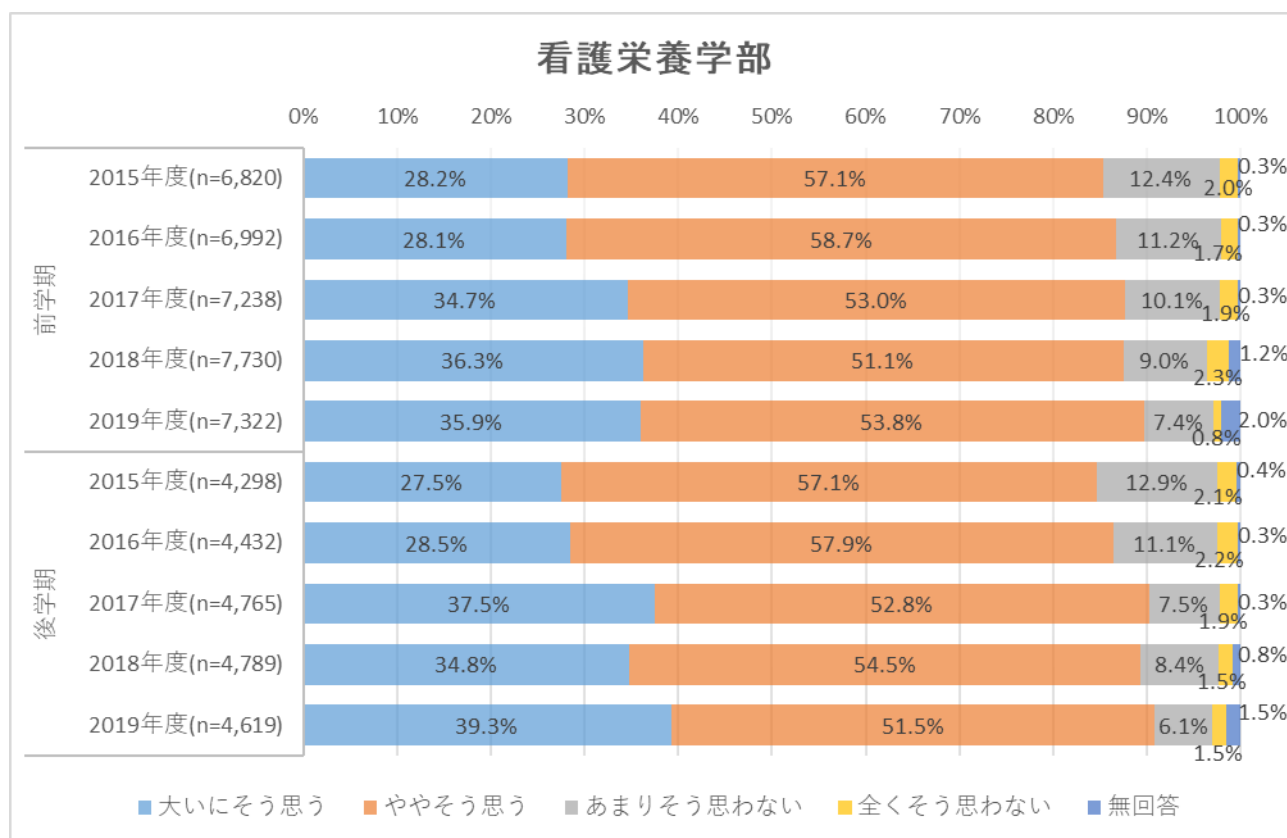


図34 I－7 疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫(看護栄養学部)

I-7 「質疑応答の時間の設定」や「課題レポート・小テストの返却」等、疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫はありましたか」

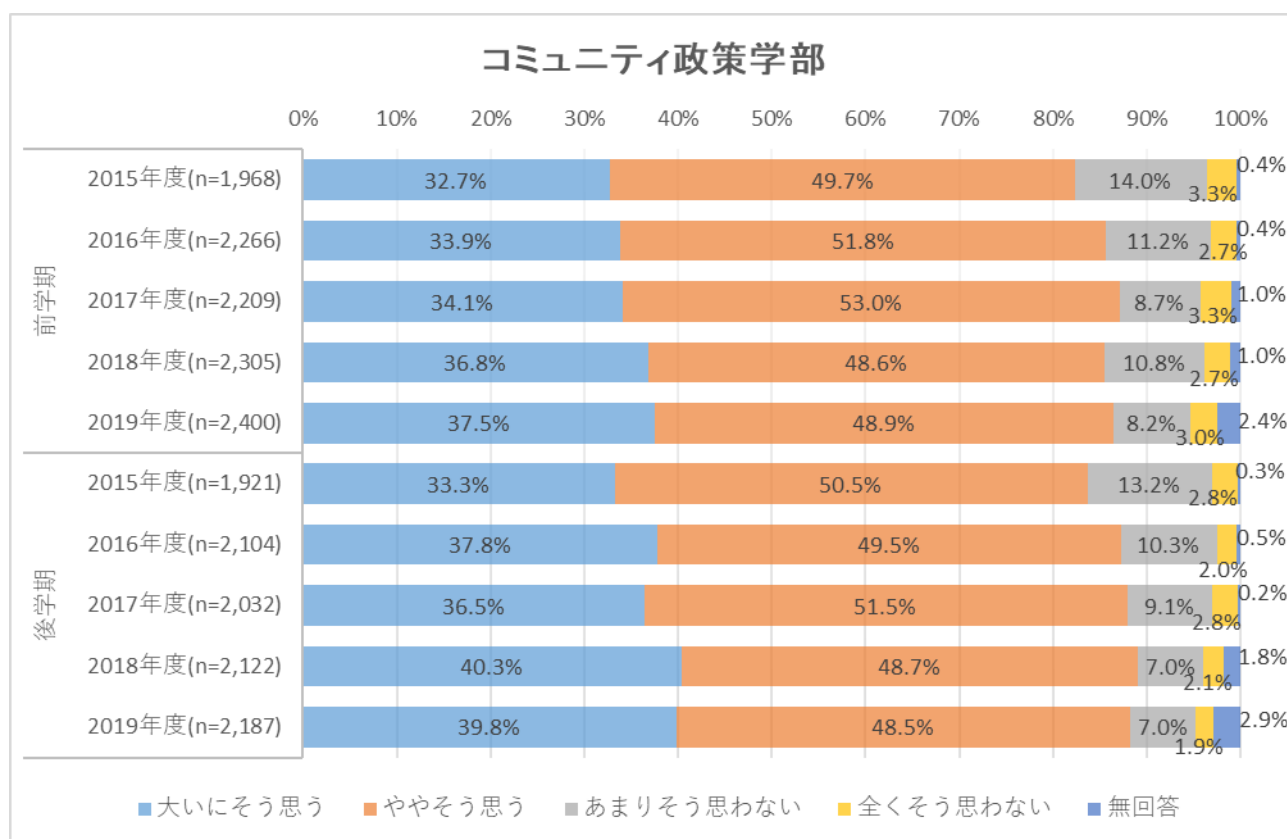


図35 I-7 疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫(コミュニティ政策学部)

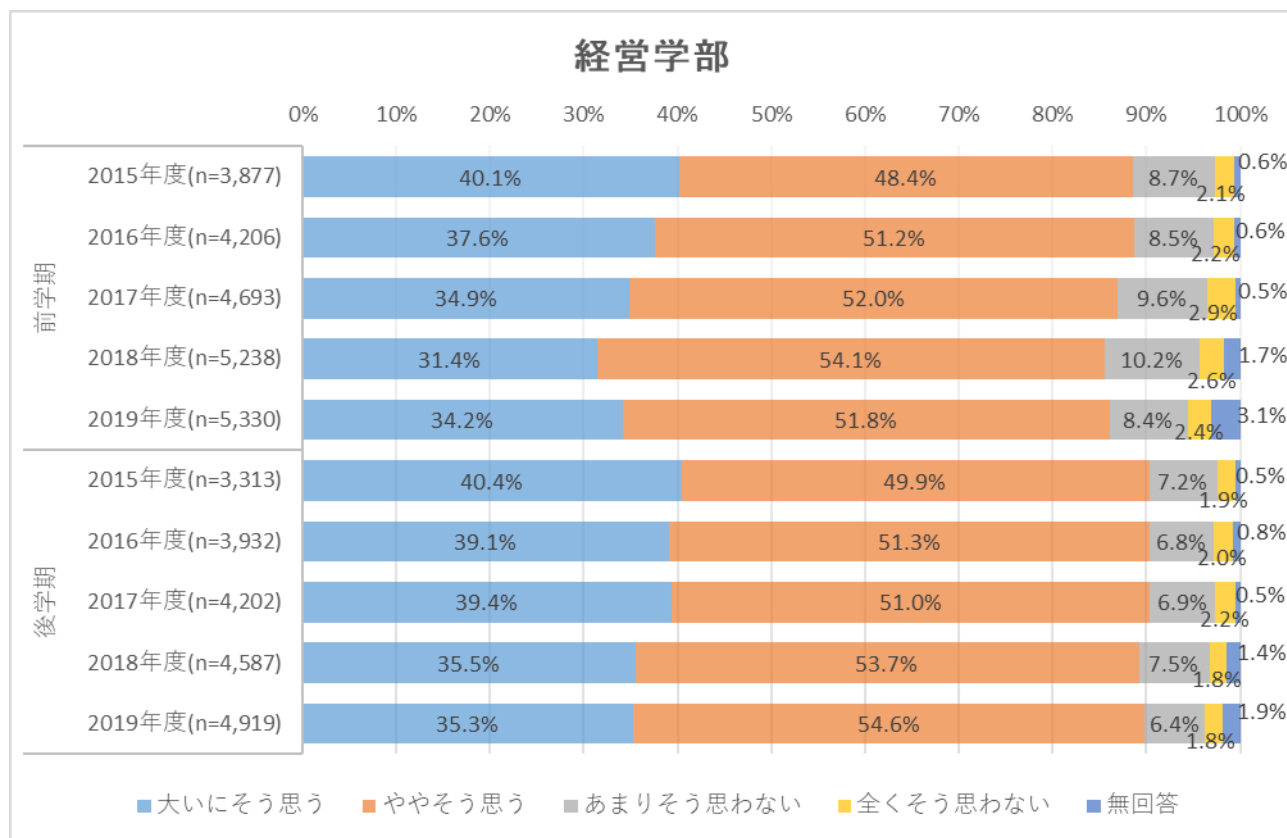


図36 I-7 疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫(経営学部)

Ⅰ－７「質疑応答の時間の設定」や「課題レポート・小テストの返却」等、疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫はありましたか」

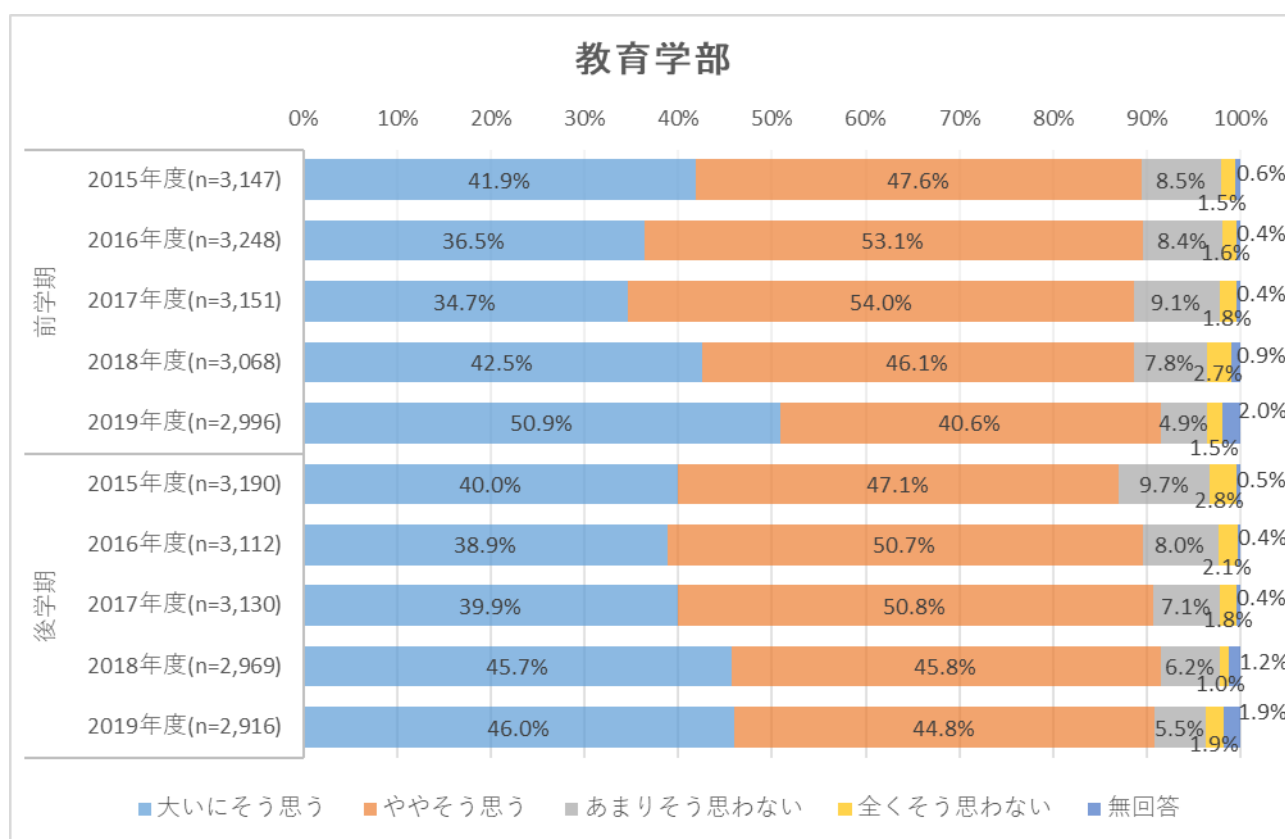


図37 Ⅰ－７ 疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫(教育学部)

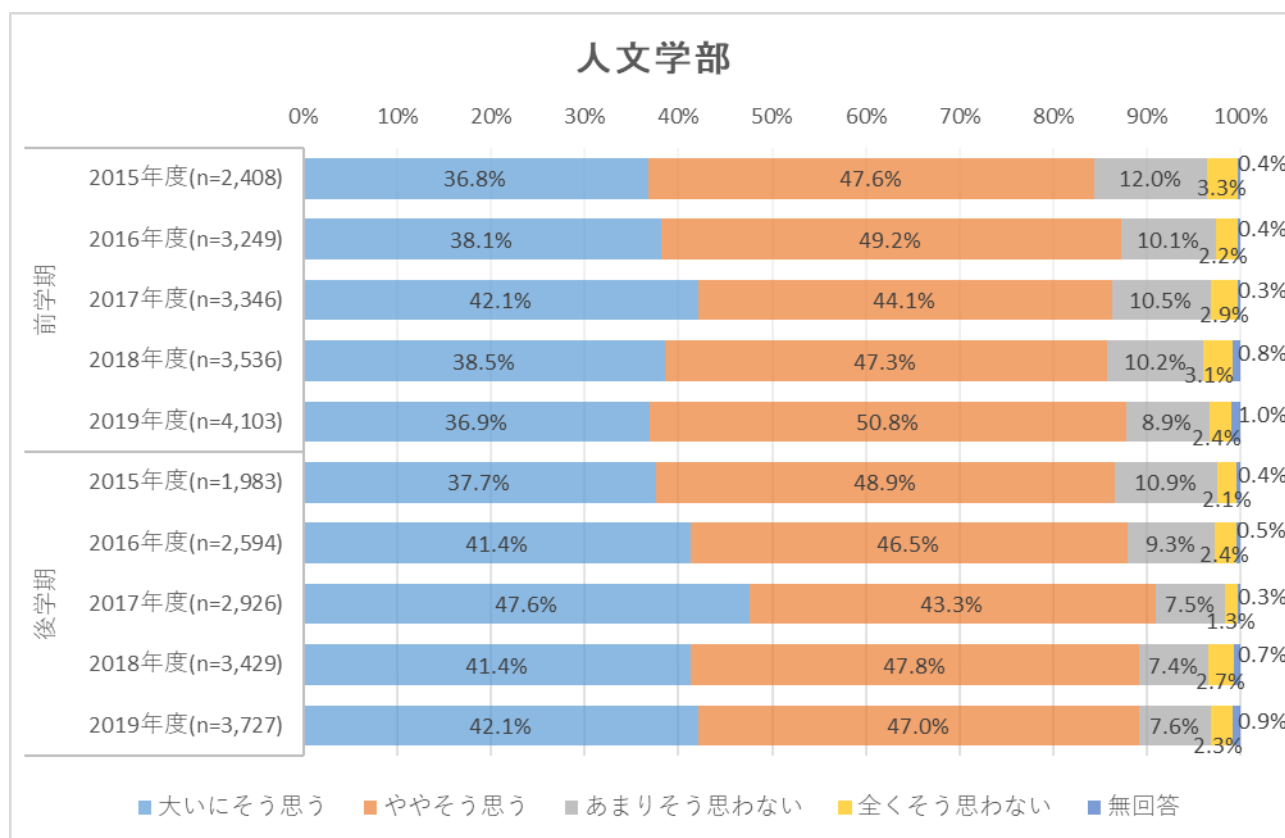


図38 Ⅰ－７ 疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫(人文学部)

(I) 授業の構成について

I-8 「あなたがこの授業1回(90分)のために予習・復習に費やした時間は平均()であった」

授業1回の予習・復習に費やした時間は、全学的に見て年々増加しているようです。「1時間未満」が減少し、「1時間以上2時間未満」と「2時間以上3時間未満」が増加しています。2単位の講義・演習であれば、毎回の授業の事前・事後学習時間は4時間を想定しています。そのため、「3時間以上～4時間未満」や「4時間以上」の割合を今後増やしていく必要があります。なお、授業アンケートの分析では、事前事後学習の具体的な指示や内容の難しさが事前事後学習時間を伸ばす条件であるようです。学生はシラバスを適宜参照することとなっていますが、それだけではなく毎回の授業で課題指示については留意する必要があります。

なお、本集計は授業アンケート対象科目全ての集計値となります。そのため、1単位の講義・演習、2単位の講義・演習、また4単位の講義なども集計に含んでいます。

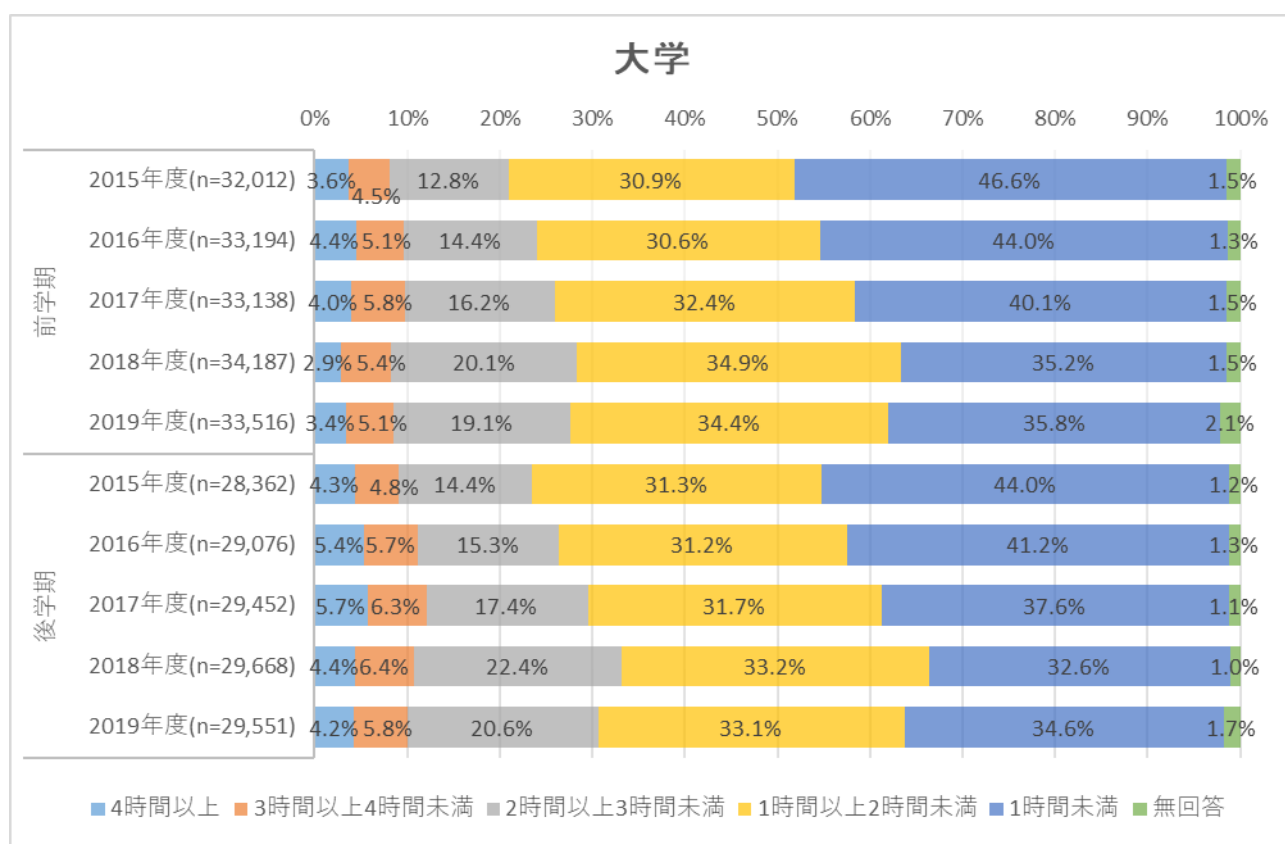


図39 I-8 授業1回に費やした予習・復習時間の平均(大学)

Ⅰ－8「あなたがこの授業1回(90分)のために予習・復習に費やした時間は平均()であった」

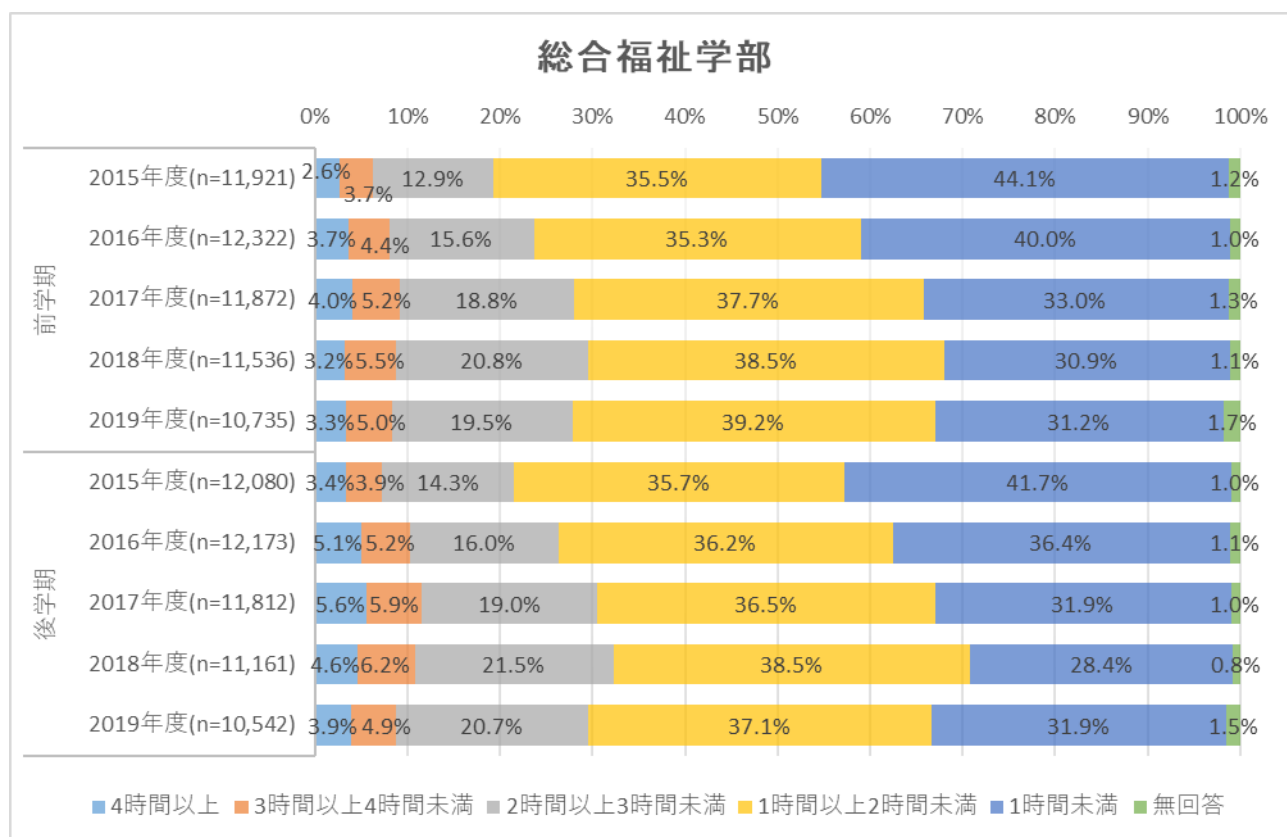


図40 Ⅰ－8 授業1回に費やした予習・復習時間の平均(総合福祉学部)

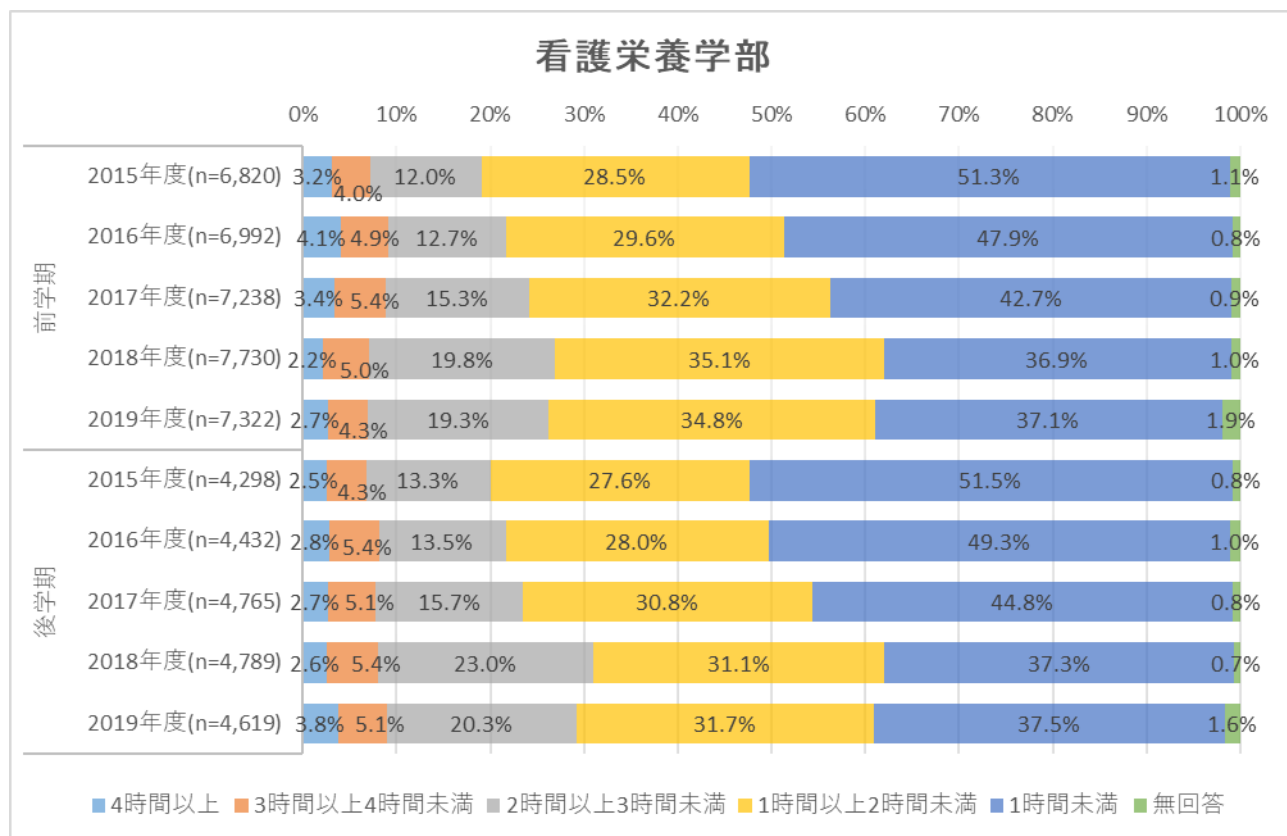


図41 Ⅰ－8 授業1回に費やした予習・復習時間の平均(看護栄養学部)

Ⅰ－８「あなたがこの授業1回(90分)のために予習・復習に費やした時間は平均()であった」

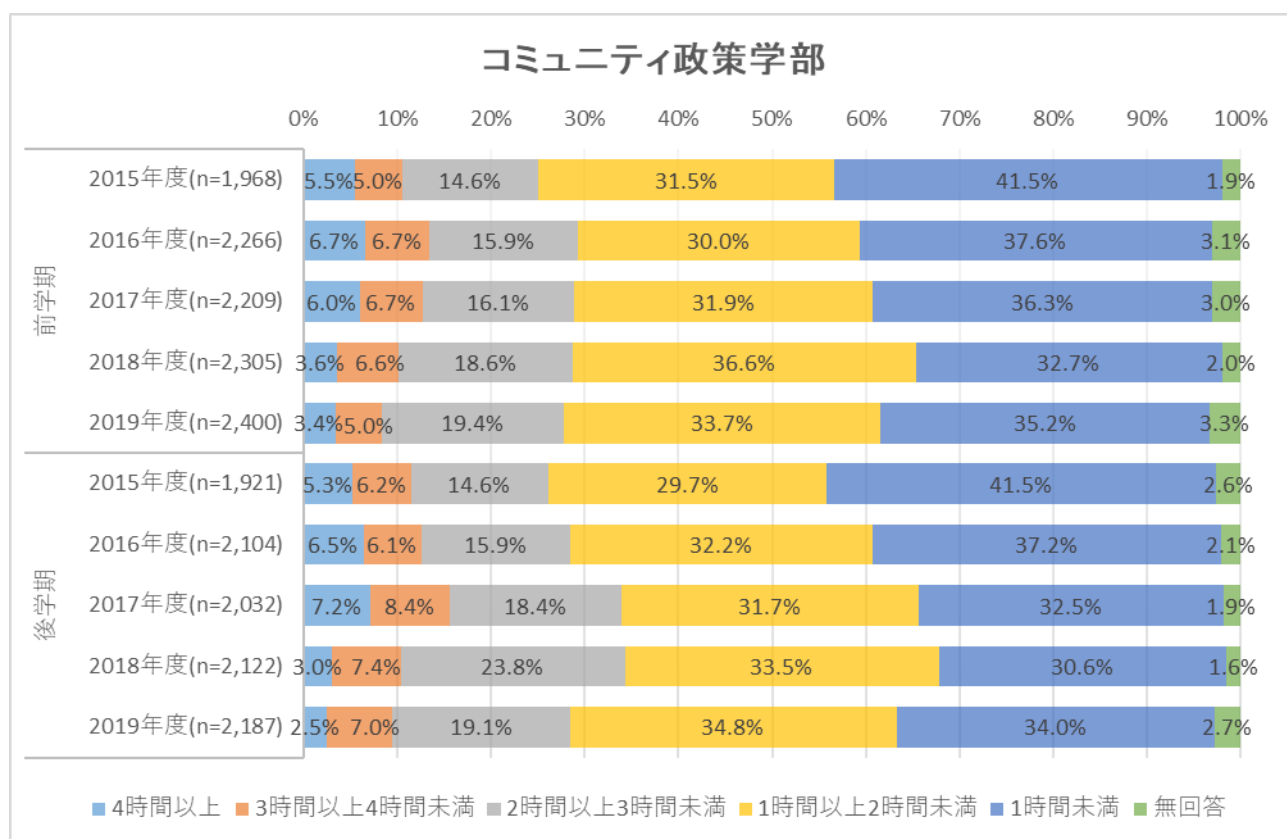


図42 Ⅰ－８ 授業1回に費やした予習・復習時間の平均(コミュニティ政策学部)

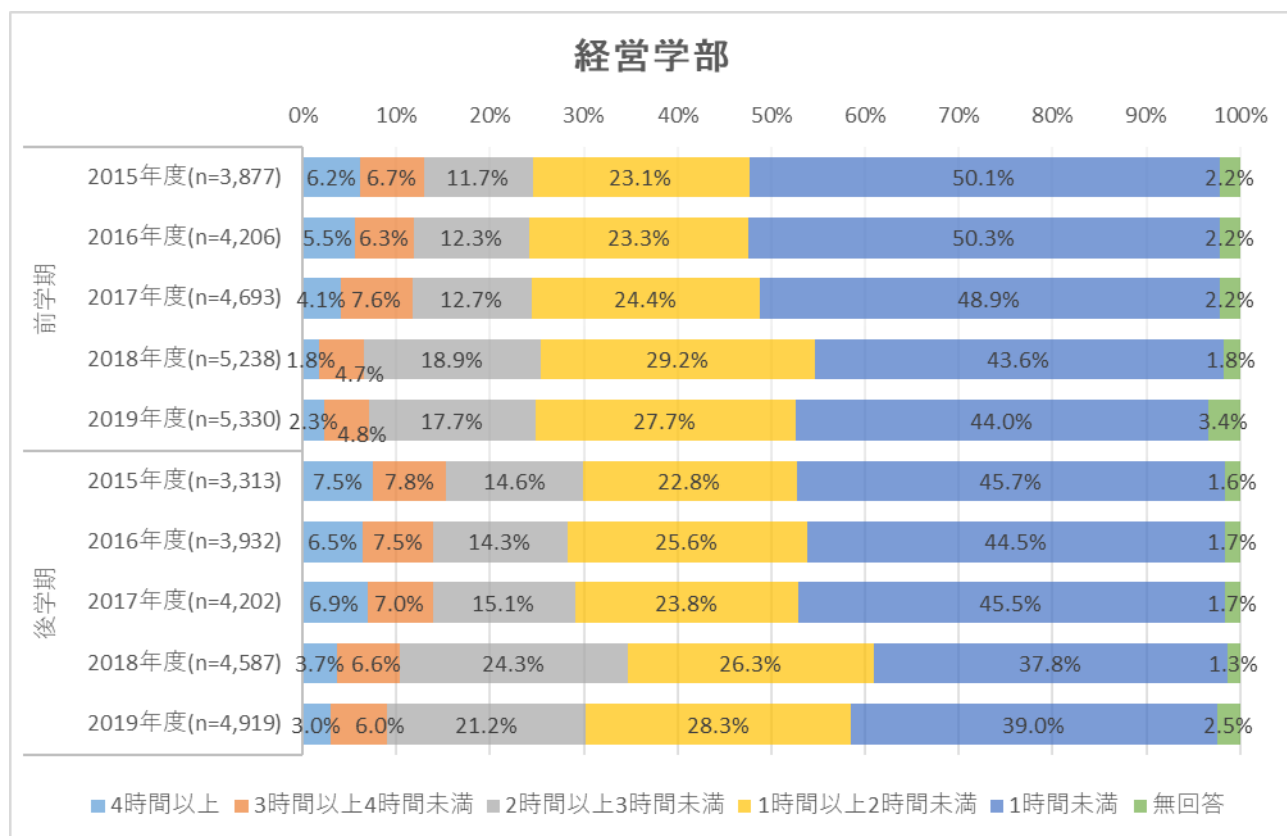


図43 Ⅰ－８ 授業1回に費やした予習・復習時間の平均(経営学部)

Ⅰ－8「あなたがこの授業1回(90分)のために予習・復習に費やした時間は平均()であった」

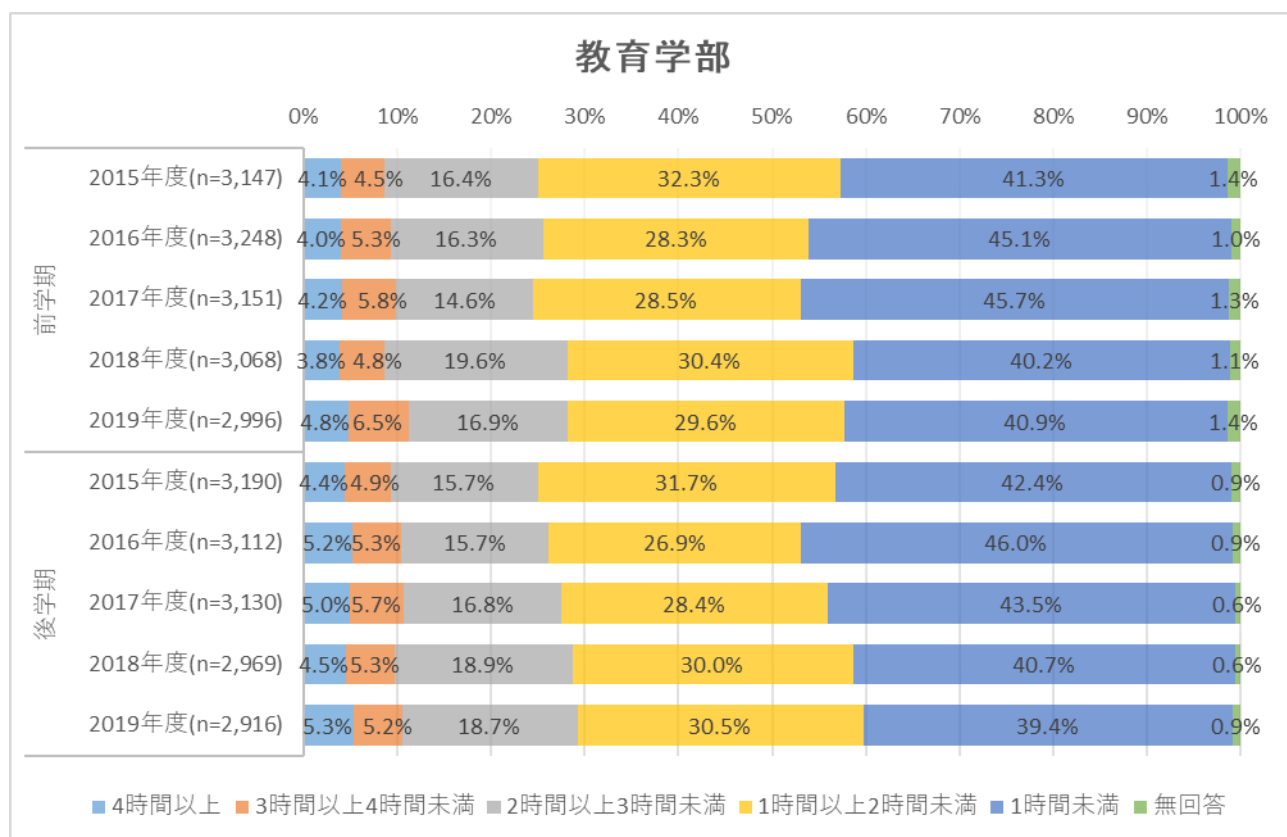


図44 Ⅰ－8 授業1回に費やした予習・復習時間の平均(教育学部)

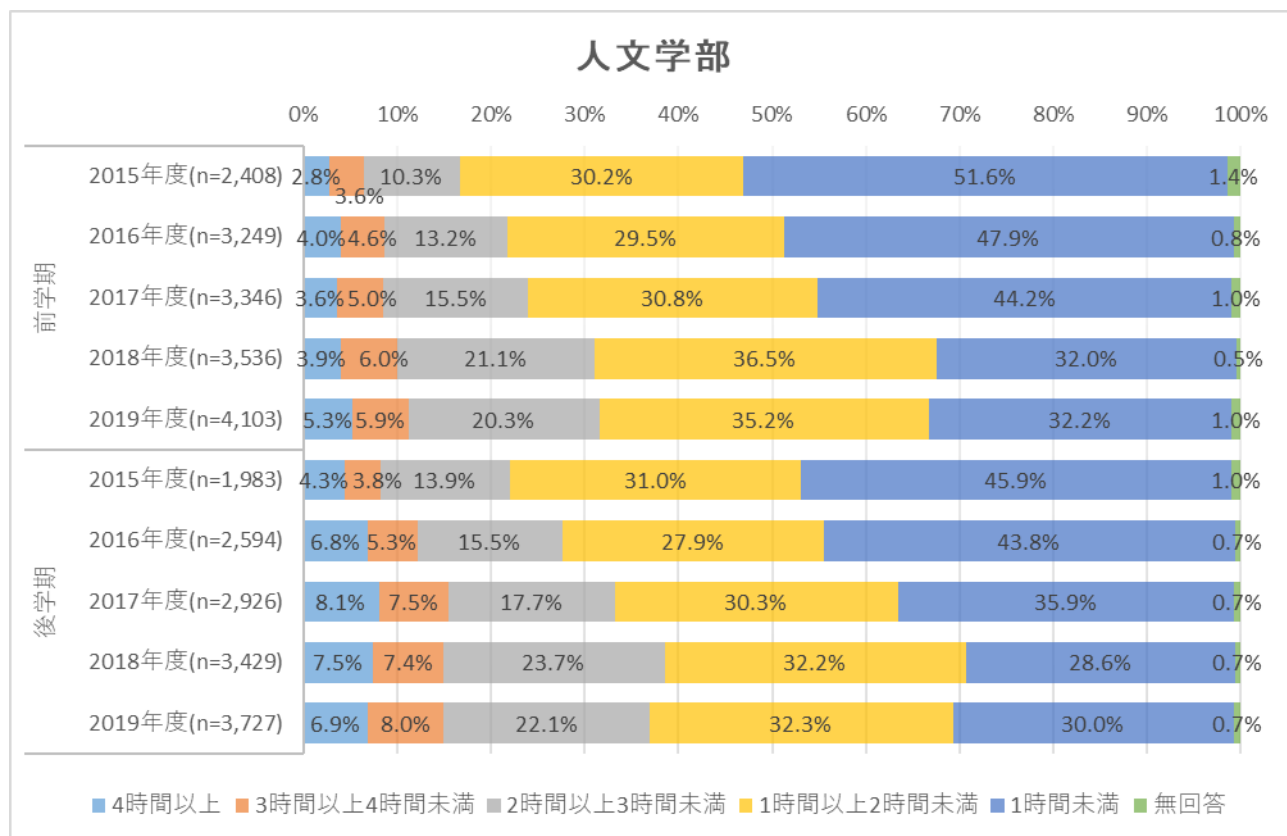


図45 Ⅰ－8 授業1回に費やした予習・復習時間の平均(人文学部)

(Ⅱ)授業方法について

Ⅱ－1「双方向型の授業(発表、討論、協同学習、調べ学習等)は、効果的に行われましたか」

一方的な学生への講義ではなく、学修者の能動的な学修し、知識だけではなく、汎用的な能力の育成を図るアクティブ・ラーニングの実施に本学は取り組んでいます。アクティブ・ラーニングには教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等が代表例としてよく挙げられます。

本学ではアクティブ・ラーニングの導入だけではなく、学生に対してその効果について問いています。大学及び各学部において「大いに思う」と「やや思う」を合わせた割合は 80%から 90%程度となっており、増加の傾向があります。「大いに思う」の割合は学部により異なりますが、近年では 30%～50%となっています。

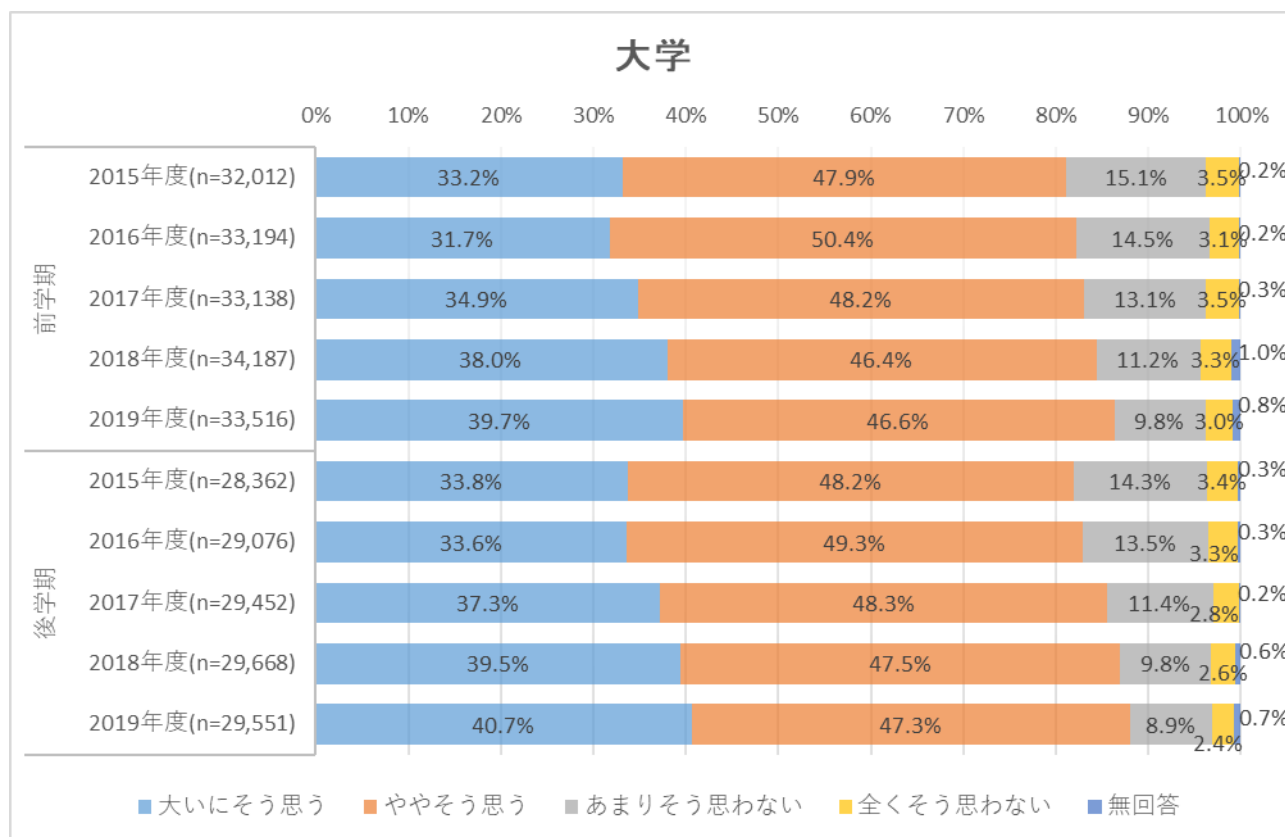


図46 Ⅱ－1 双方向型の授業は効果的に行われたか(大学)

Ⅱ－１「双方向型の授業（発表、討論、協同学習、調べ学習等）は、効果的に行われましたか」

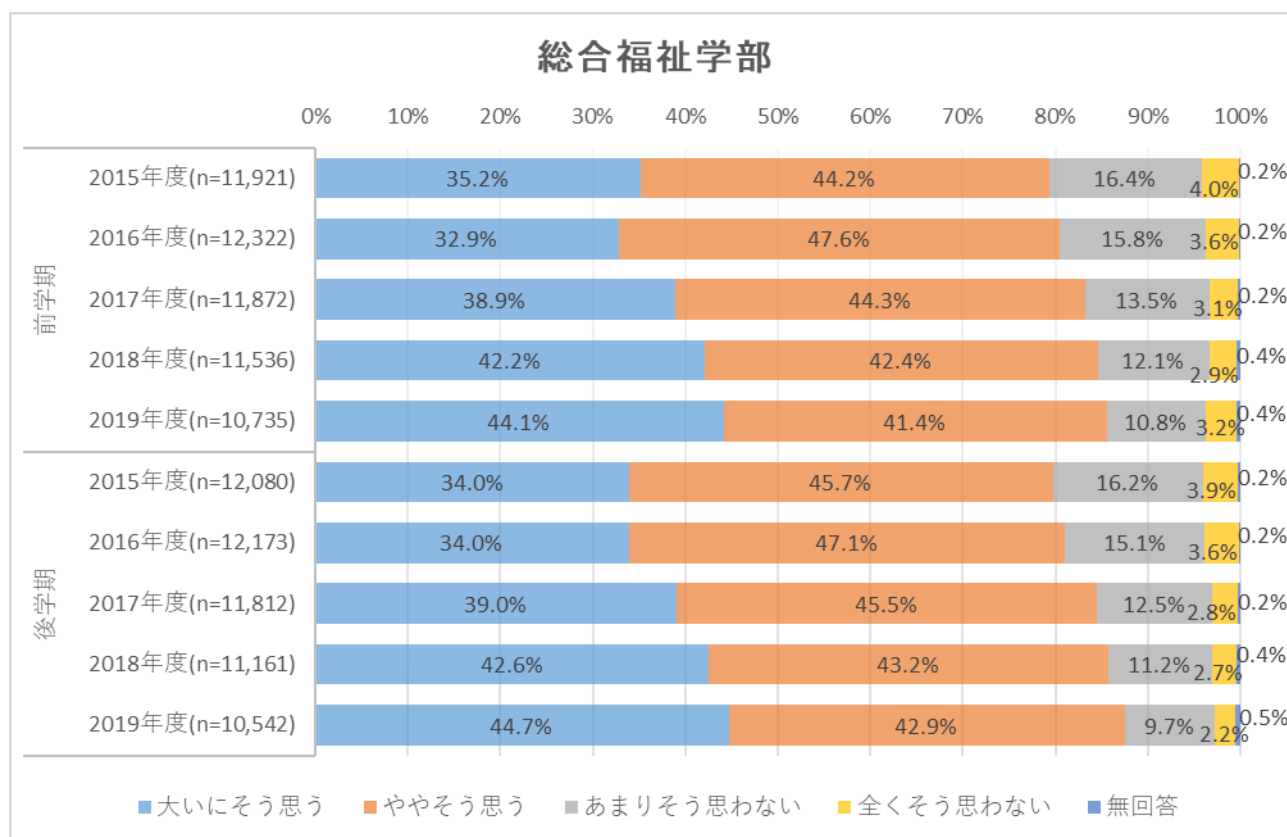


図47 Ⅱ－１ 双方向型の授業は効果的に行われたか（総合福祉学部）

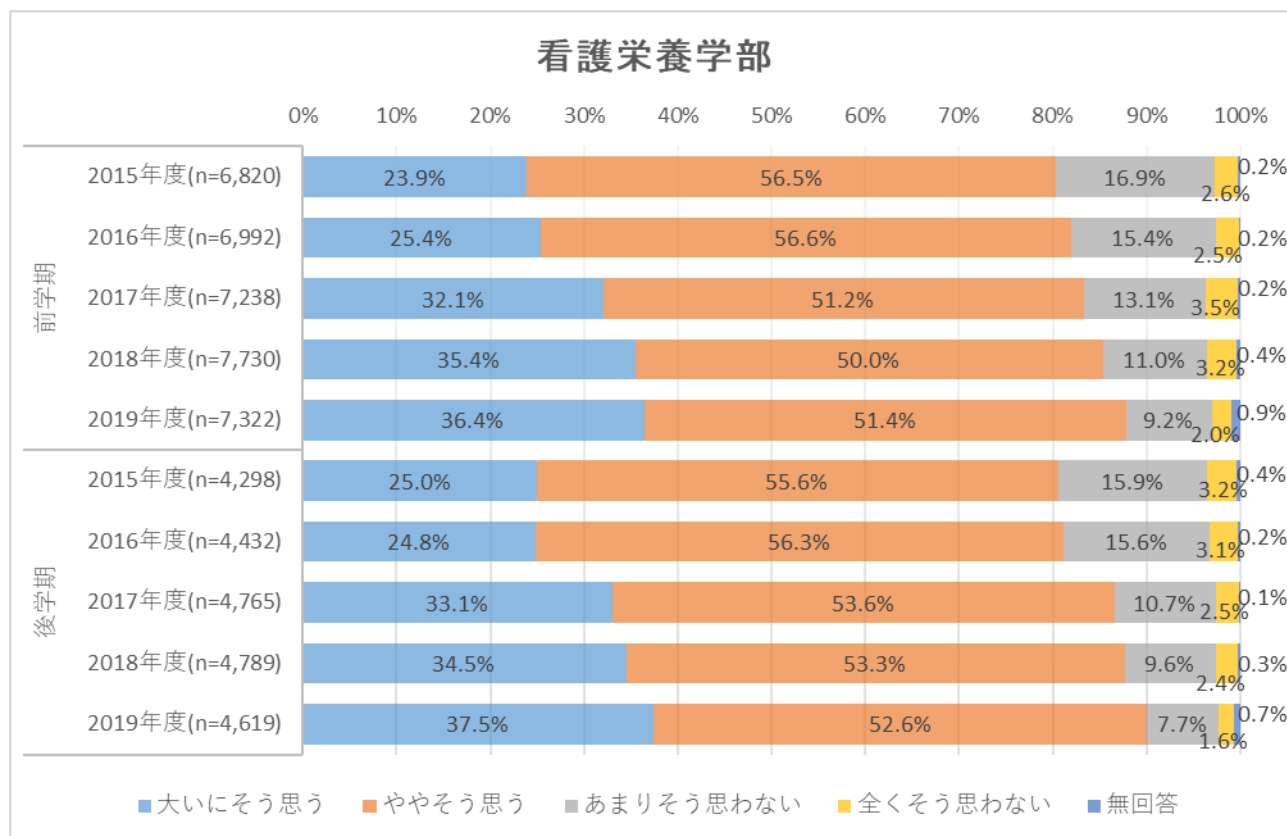


図48 Ⅱ－１ 双方向型の授業は効果的に行われたか（看護栄養学部）

Ⅱ－１「双方向型の授業（発表、討論、協同学習、調べ学習等）は、効果的に行われましたか」

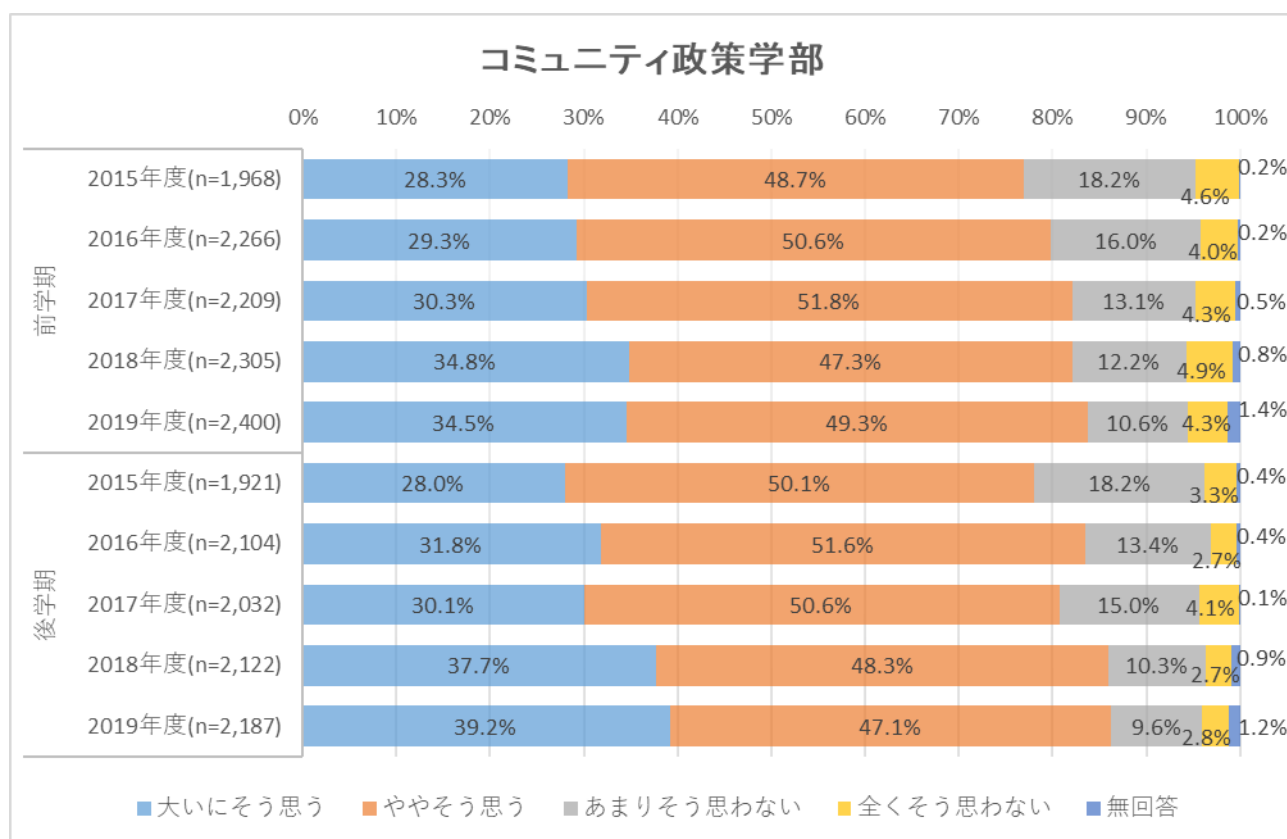


図49 Ⅱ－１ 双方向型の授業は効果的に行われたか(コミュニティ政策学部)

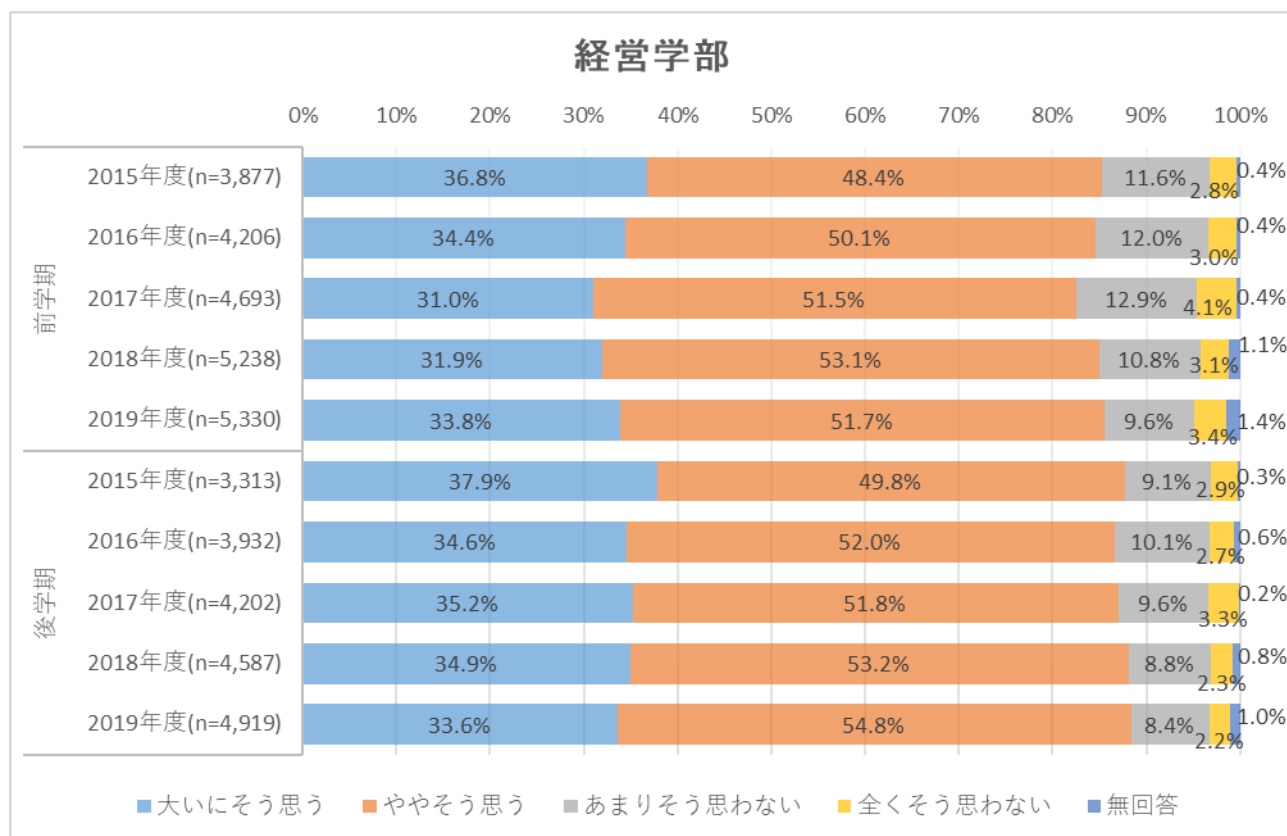


図50 Ⅱ－１ 双方向型の授業は効果的に行われたか(経営学部)

Ⅱ－１「双方向型の授業(発表、討論、協同学習、調べ学習等)は、効果的に行われましたか」

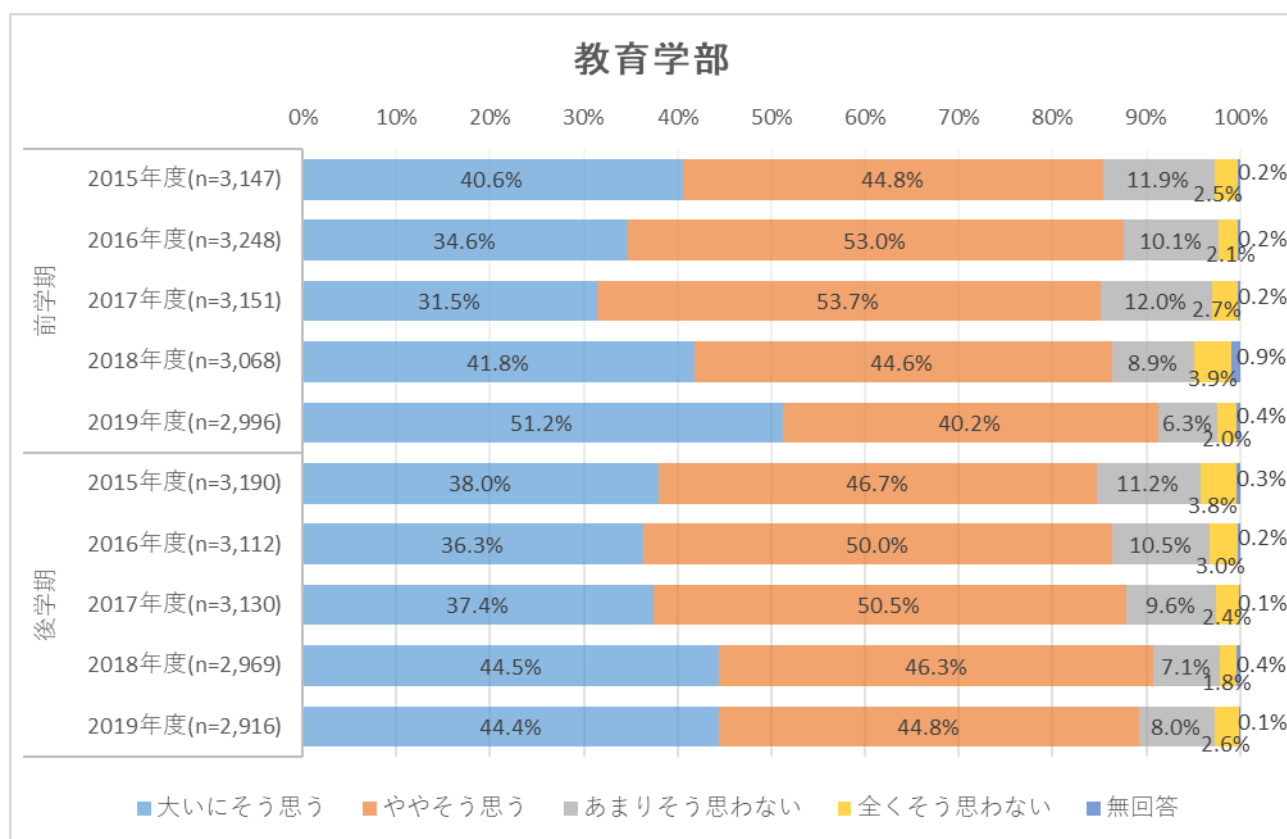


図51 Ⅱ－１ 双方向型の授業は効果的に行われたか(教育学部)

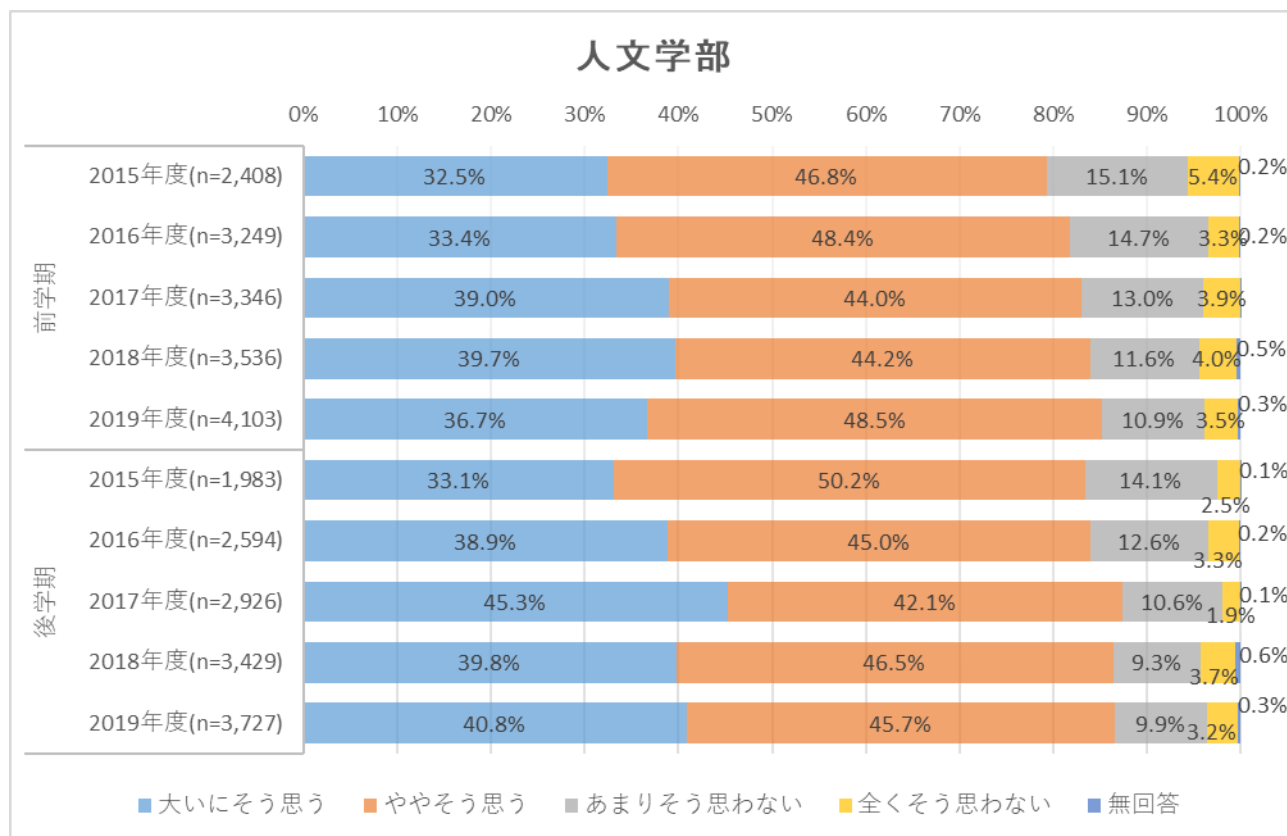


図52 Ⅱ－１ 双方向型の授業は効果的に行われたか(人文学部)

(Ⅱ)授業方法について

Ⅱ－3「この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか」

過去の授業アンケートの分析において、話し方のわかりやすさは、授業の満足度や知的刺激に影響を与えることが示唆されています。そのため、本設問は授業アンケートの中で重要な設問であると言えます。本設問では大学及び各学部において「大いにそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、80%から 90%程度となっており、やや増加傾向にあります。学部別にみると特に総合福祉学部や教育学部においては「大いにそう思う」の割合が高くなっています。大学では相互の授業見学などを行っていますが、今後は FD などでもこの設問に即したテーマを取り上げる事も必要です。

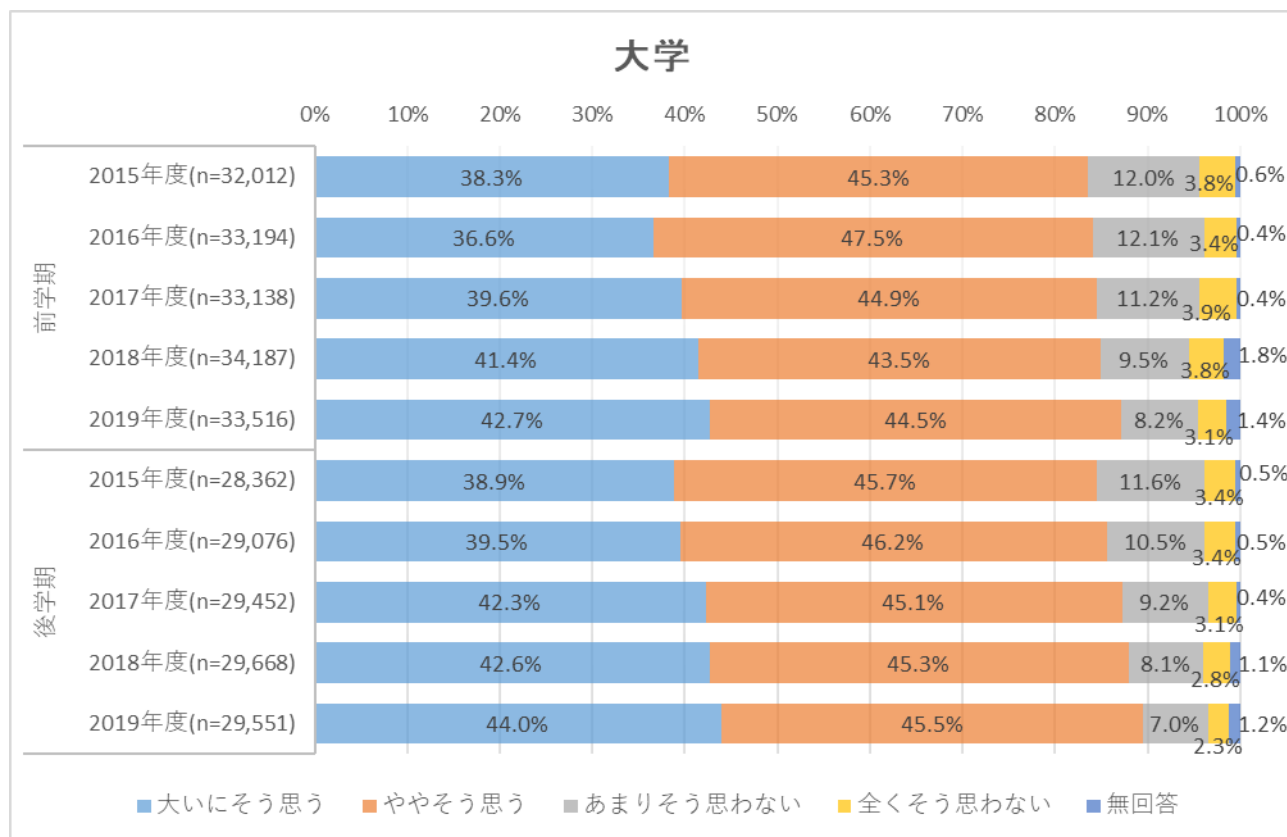


図53 Ⅱ－3 話し方や説明のわかりやすさ(大学)

Ⅱ－3「この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか」

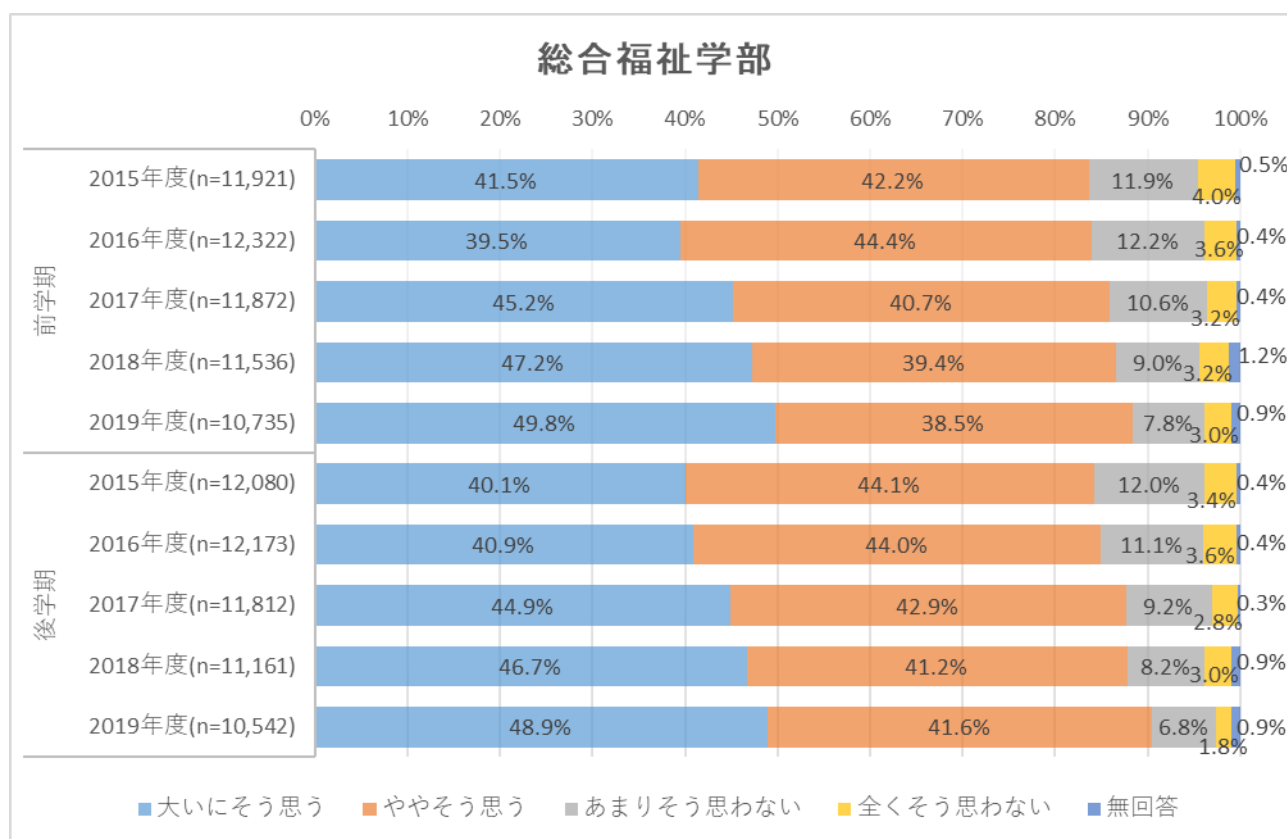


図54 Ⅱ－3 話し方や説明のわかりやすさ(総合福祉学部)

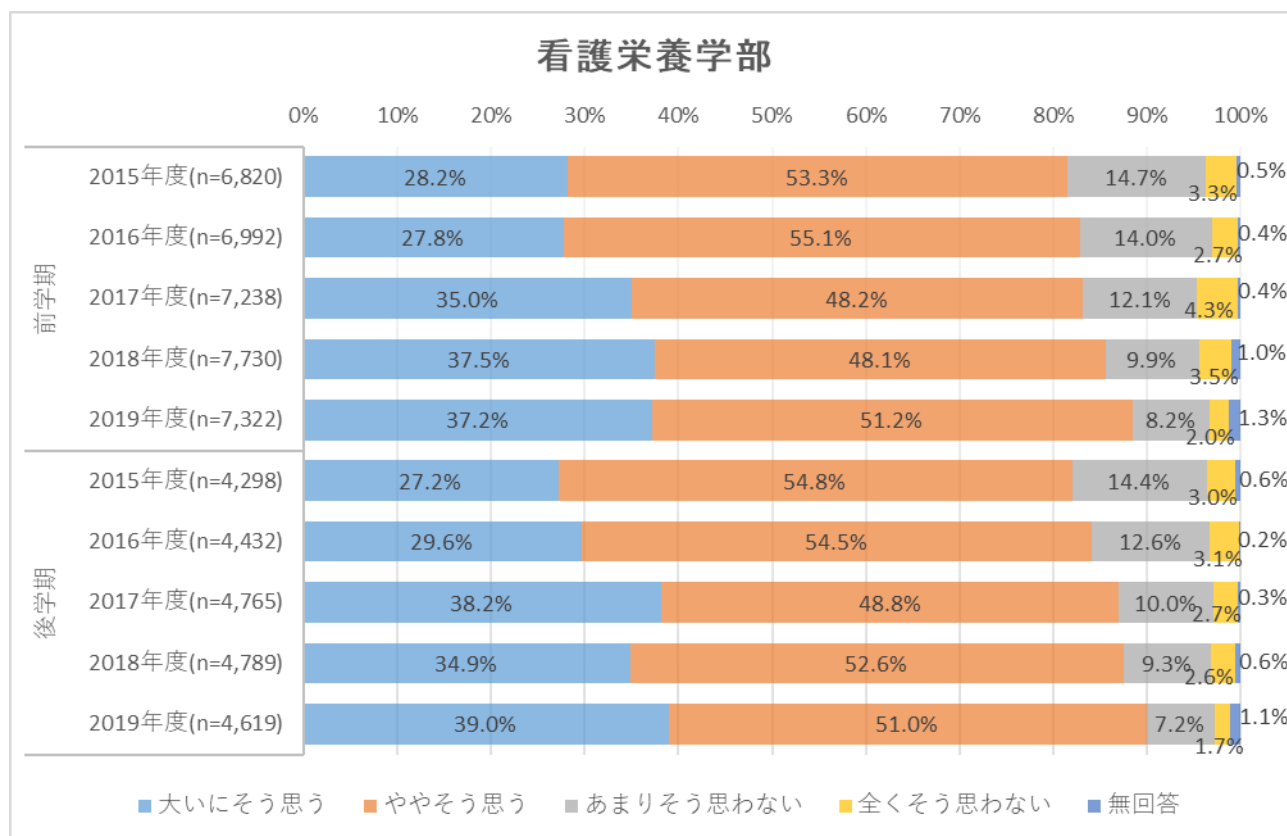


図55 Ⅱ－3 話し方や説明のわかりやすさ(看護栄養学部)

Ⅱ-3「この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか」

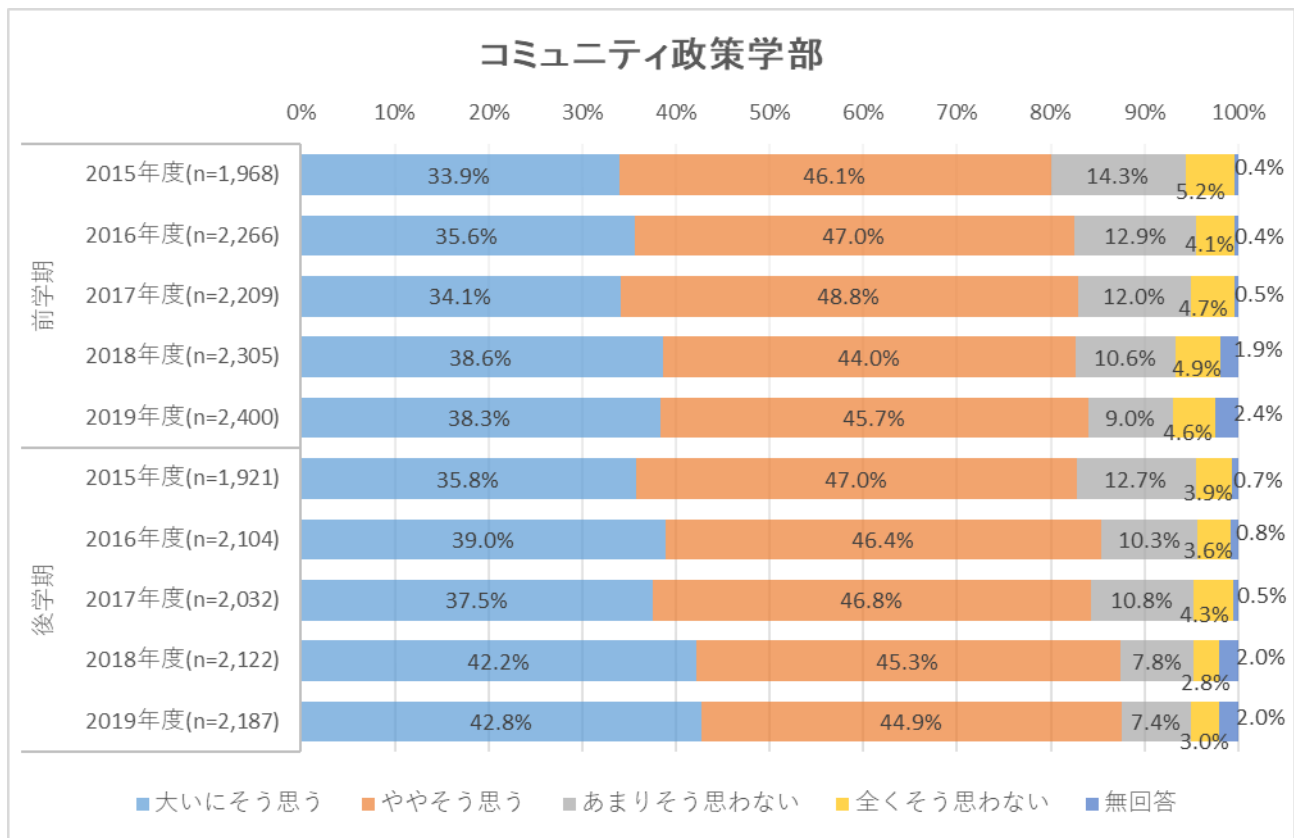


図56 Ⅱ-3 話し方や説明のわかりやすさ(コミュニティ政策学部)

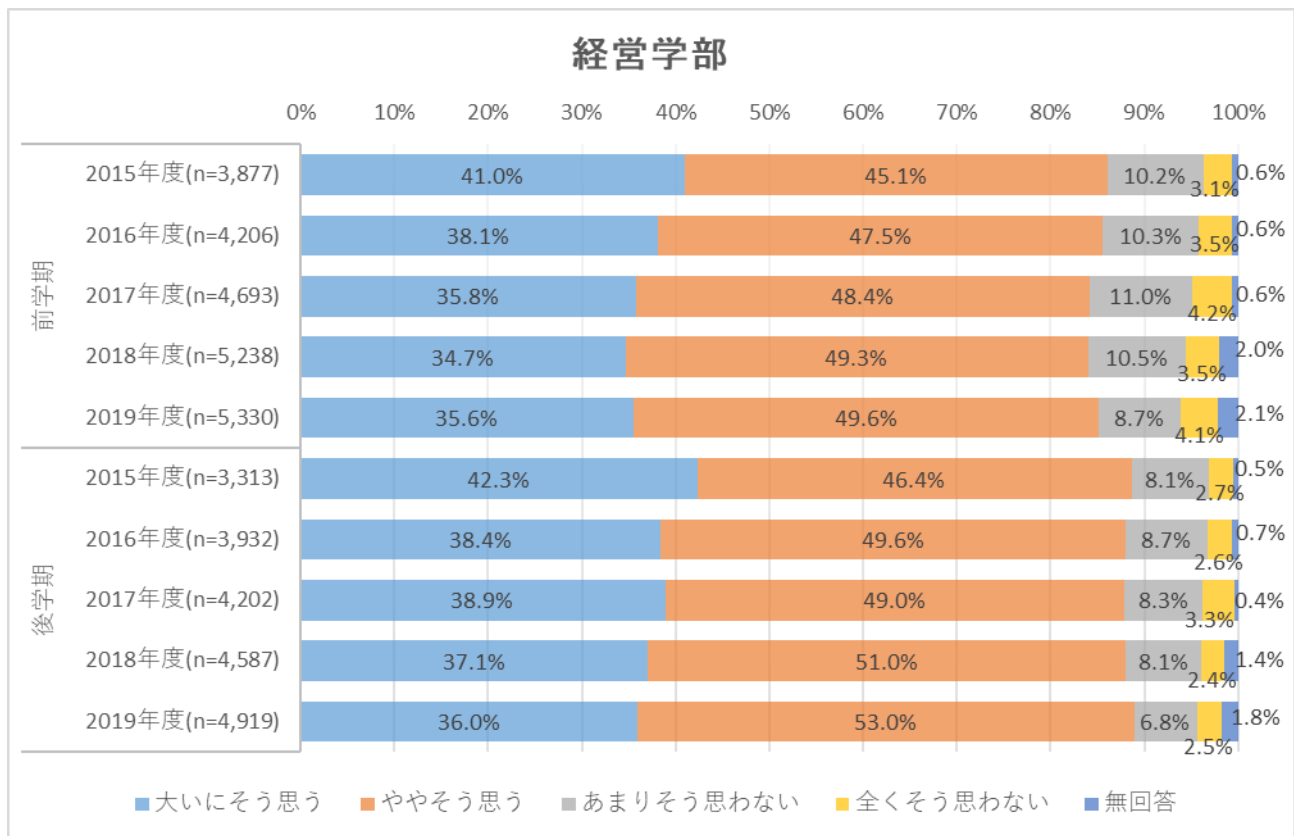


図57 Ⅱ-3 話し方や説明のわかりやすさ(経営学部)

Ⅱ－3「この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか」

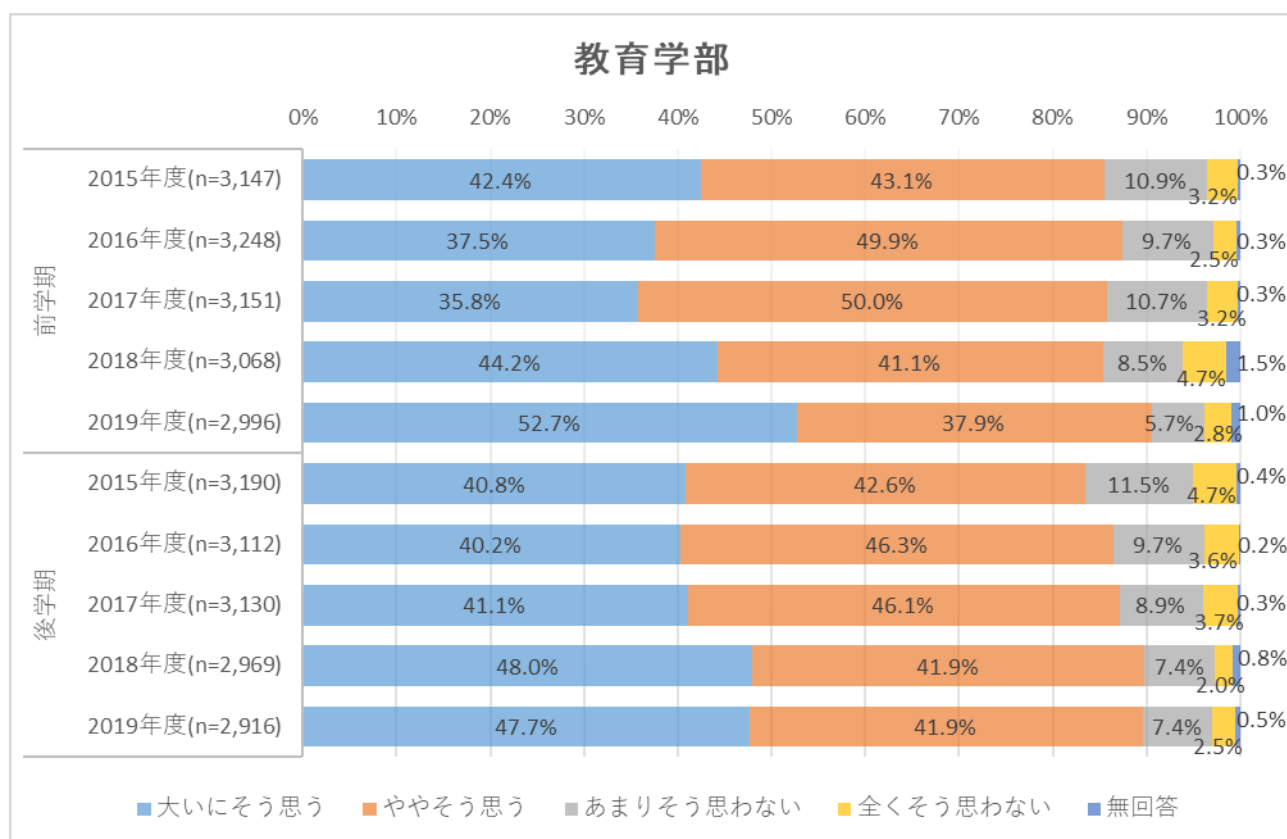


図58 Ⅱ－3 話し方や説明のわかりやすさ(教育学部)

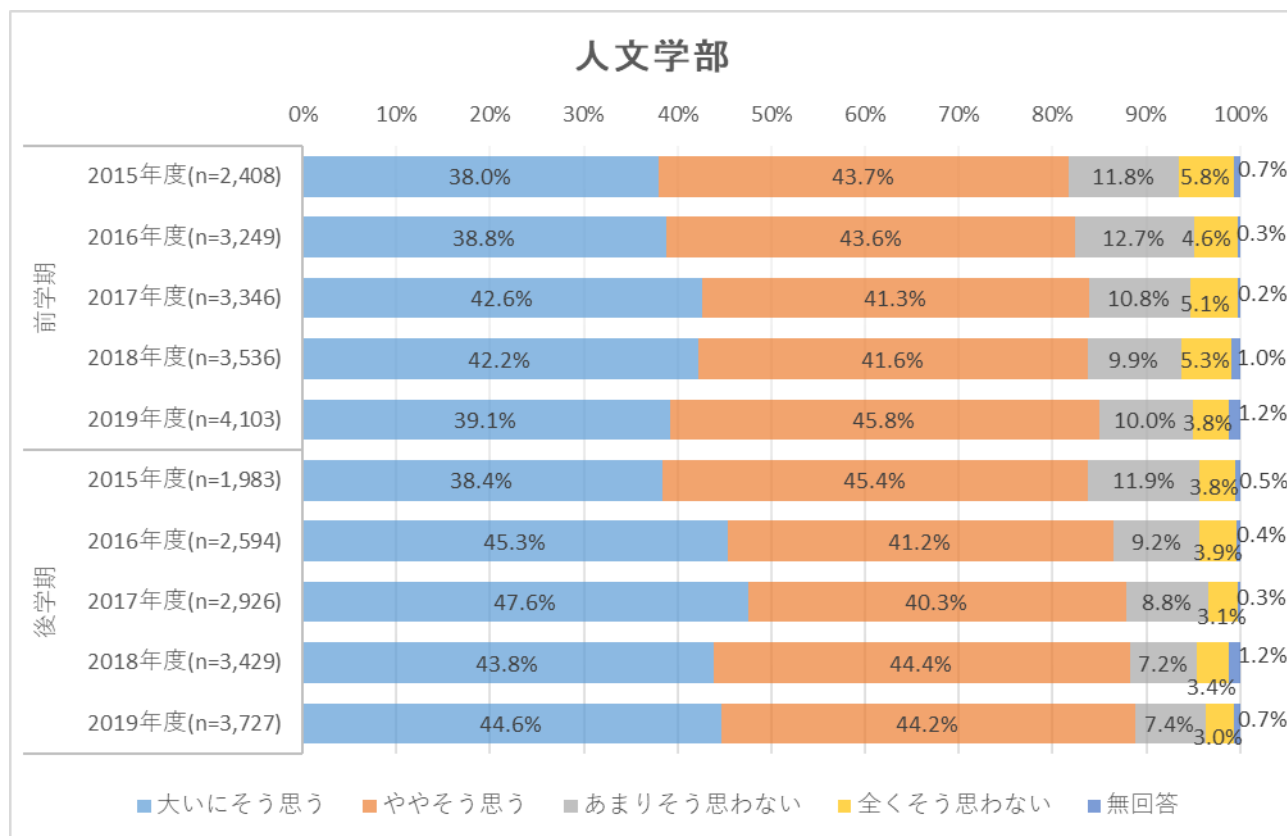


図59 Ⅱ－3 話し方や説明のわかりやすさ(人文学部)

(Ⅲ)授業に対する評価について

Ⅲ－3「この授業を受講して、満足していますか」

本設問は授業全体の満足度といえます。大学及び各学部において「大いにそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、80％から 90％程度です。特に 2019 年度の「大いにそう思う」の割合は高くなっています。

ま 2018 年度の無回答の割合が全学及び全ての学部で高くなっています。これは 2017 年度まで紙に記述する方式で行っていた授業アンケートをマークシートに移行しました。そして 2018 年度のマークシートはデザインや構成により、本設問が回答者に正しく回答する設問であると認識がされていなかったようです。なお、2019 年度はマークシートのデザインを見直し、無回答の割合は減っています。

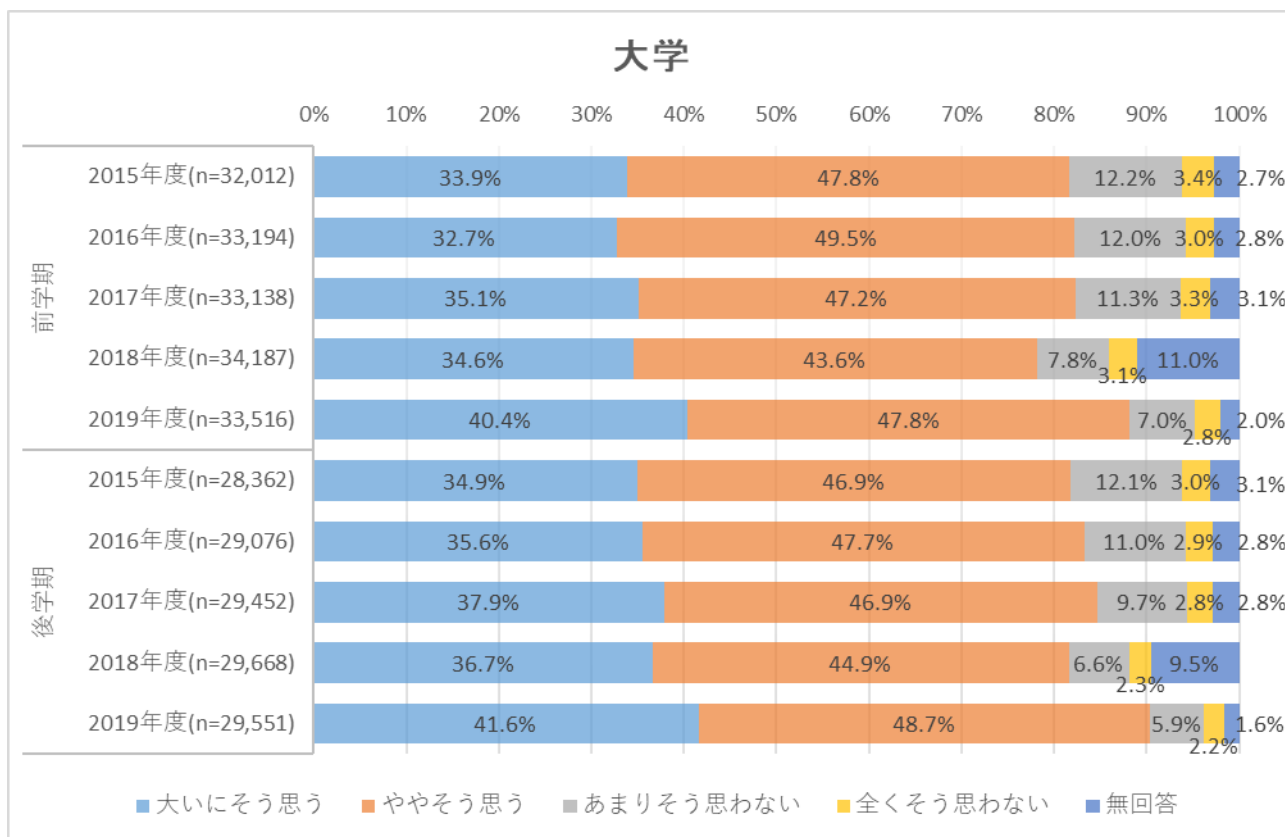


図60 Ⅲ－3 授業の満足度(大学)

Ⅲ－3「この授業を受講して、満足していますか」

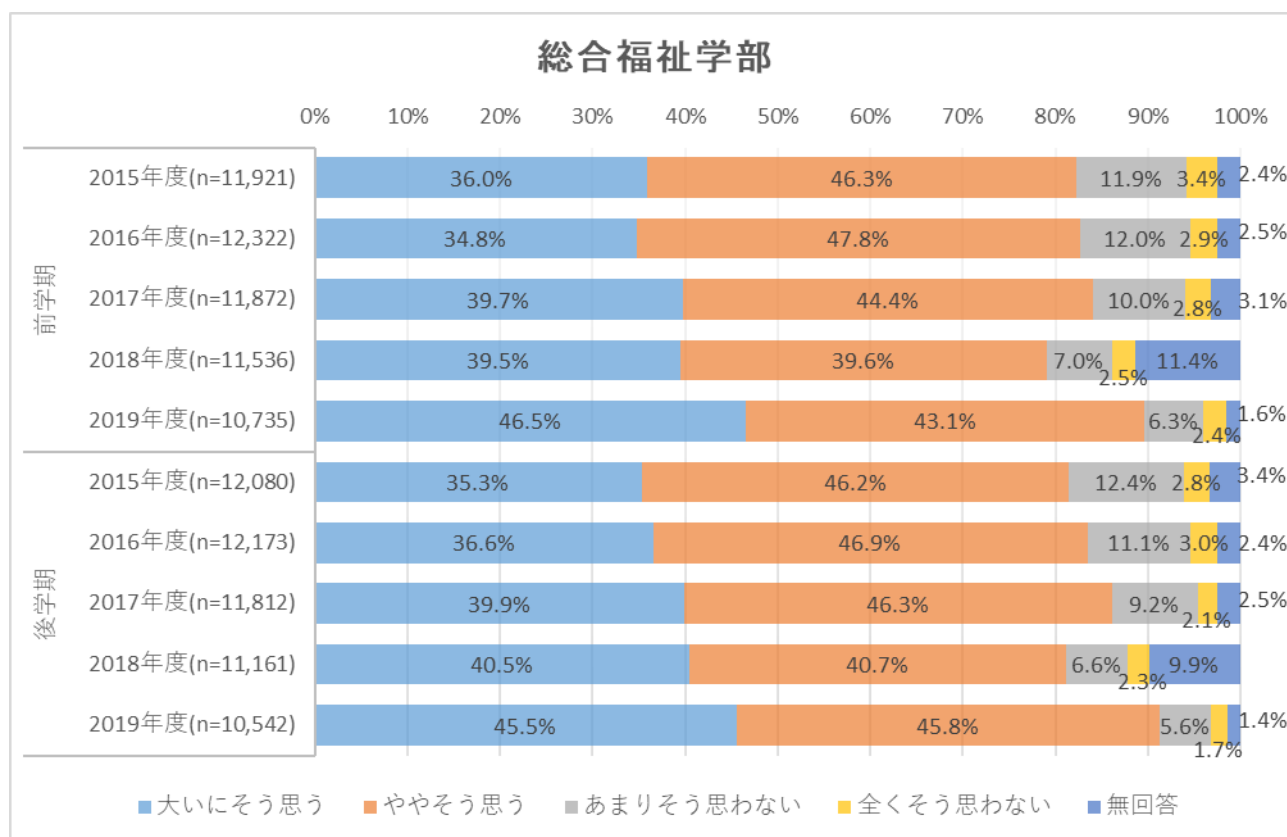


図61 Ⅲ－3 授業の満足度(総合福祉学部)

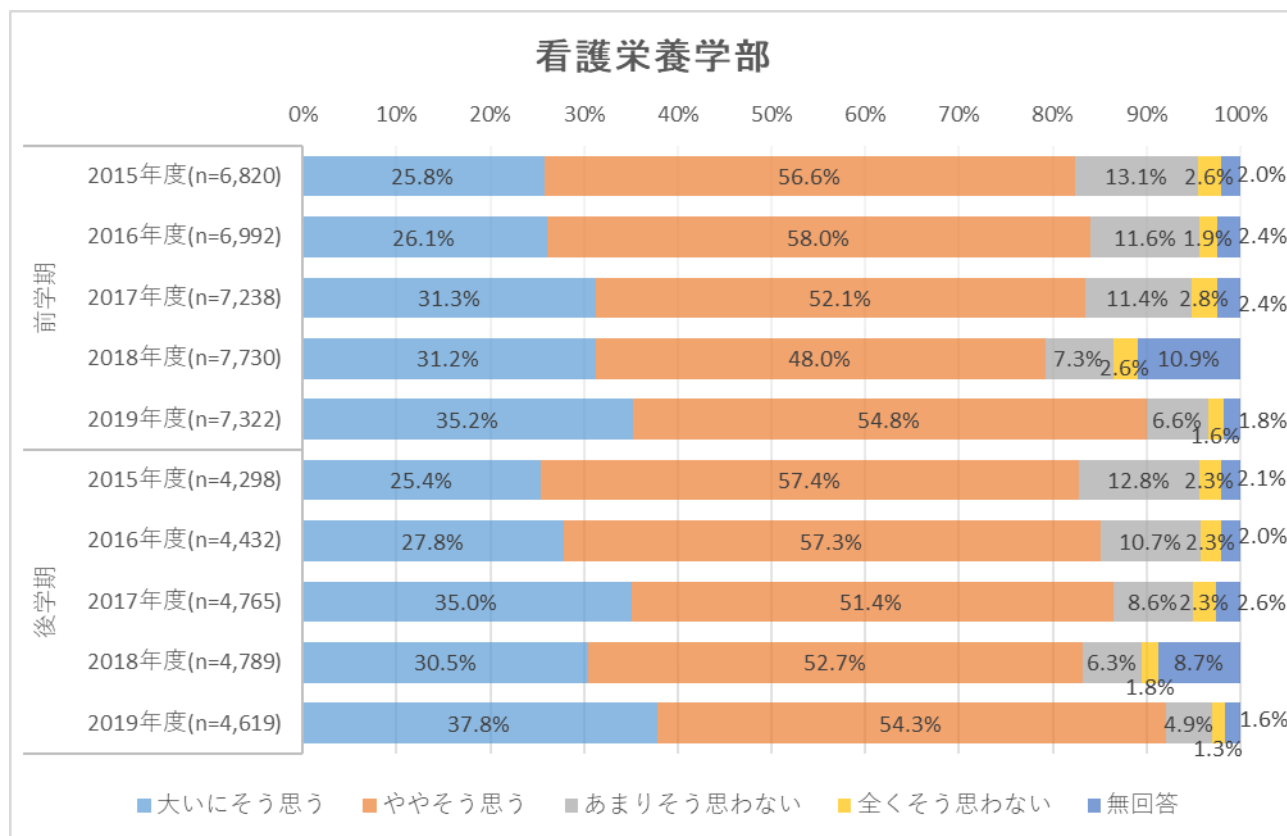


図62 Ⅲ－3 授業の満足度(看護栄養学部)

Ⅲ-3 「この授業を受講して、満足していますか」

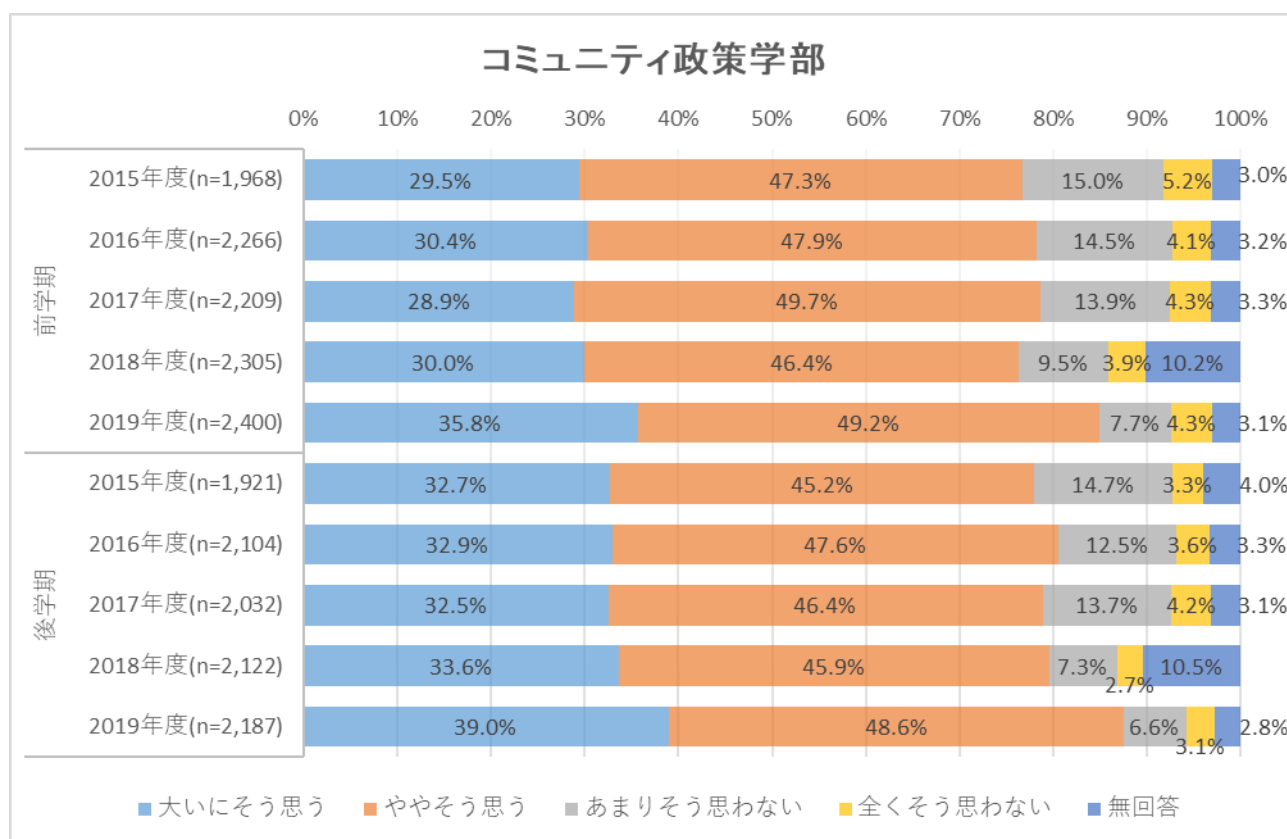


図63 Ⅲ-3 授業の満足度(コミュニティ政策学部)

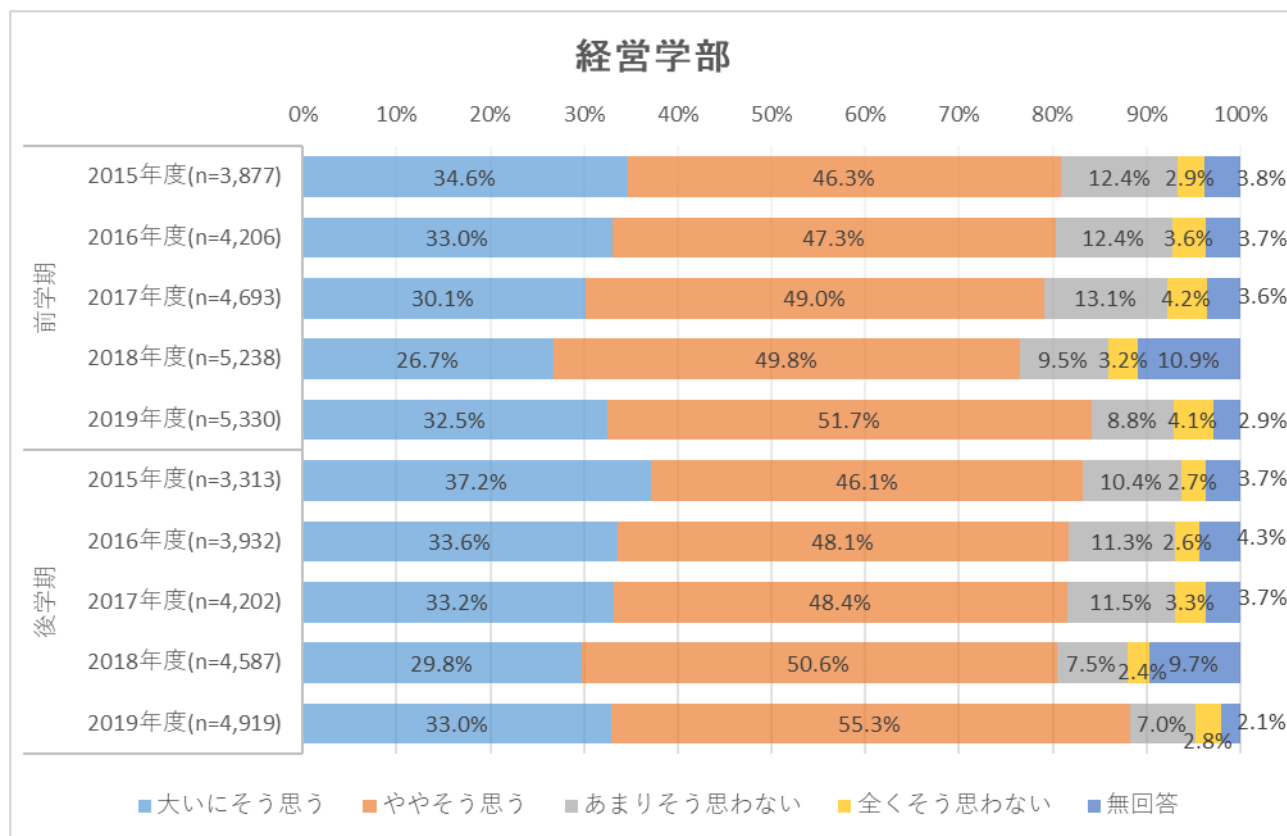


図64 Ⅲ-3 授業の満足度(看護栄養学部)

Ⅲ-3 「この授業を受講して、満足していますか」

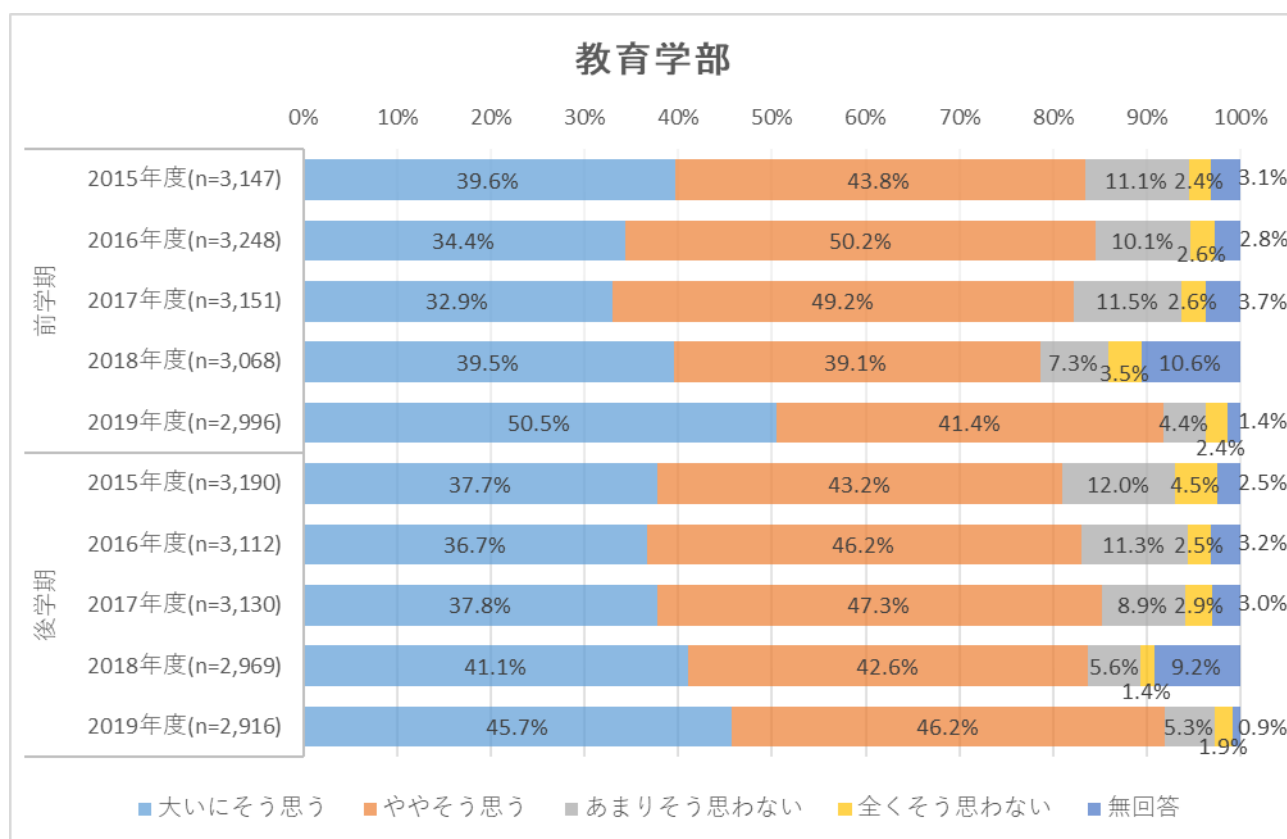


図65 Ⅲ-3 授業の満足度(教育学部)

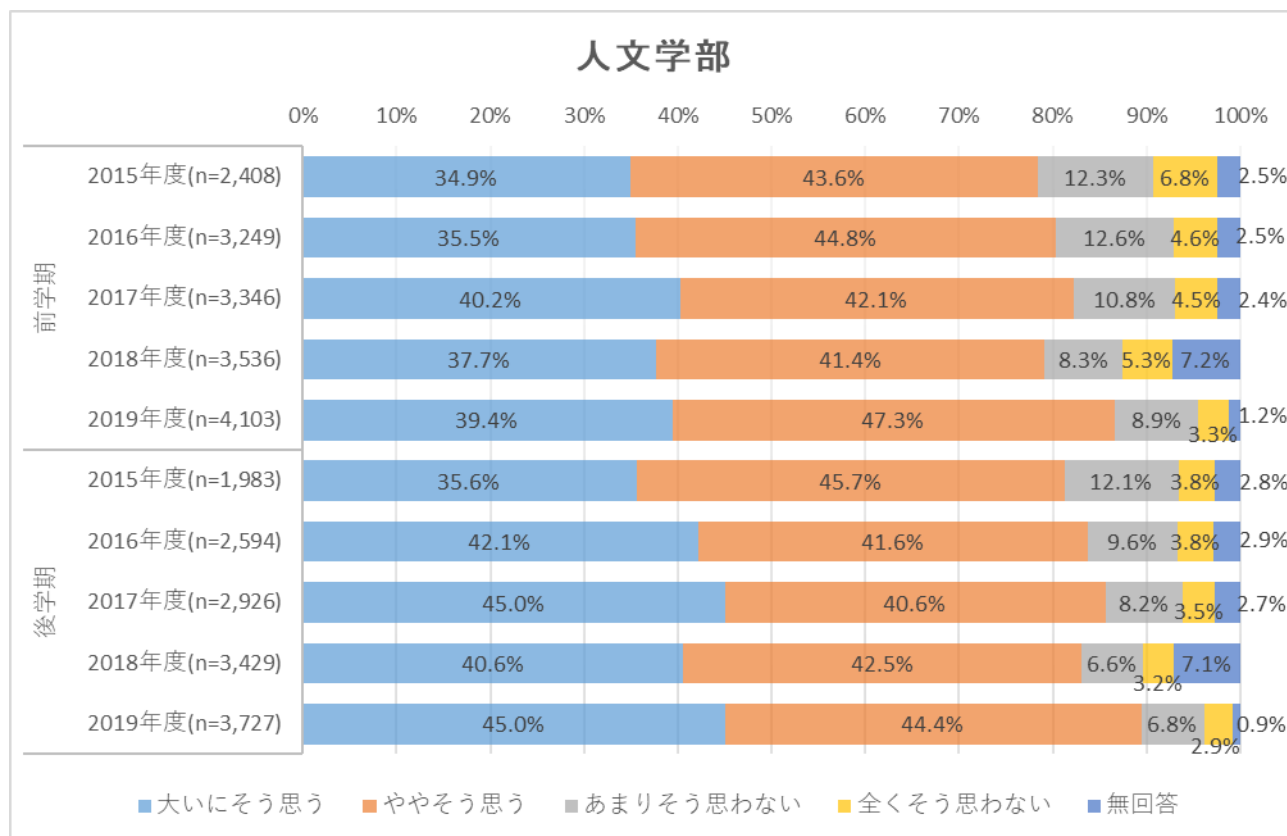


図66 Ⅲ-3 授業の満足度(人文学部)

2019年度 学生用 授業アンケート調査

このアンケート調査は、みなさんの学びがより深められるよう、授業内容・授業方法の改善・工夫に向けての基礎的データの収集を目的として、実施するものです。また、大学がみなさんの学習の到達目標を明確にし、学修成果が得られる授業・教育を進めるための基礎資料としても利用します。

調査の結果は報告書にまとめて公表をするほか、大学ホームページにも公開します。回答は無記名であり、個々の回答結果が他に漏れたり、成績に影響したりすることはありません。ありのままを記入してください。

淑徳大学 教育向上委員会

【記入上の注意】 記入は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。

良い例



悪い例



●はじめに、この科目の科目名および担当教員名を記入してください。 ※科目代表者の氏名を記入してください。

科目名	担当教員名
-----	-------

●次に、あなたの所属等について伺います。「学部・学科」「学年」「性別」の各欄について、該当する番号にマークしてください。

学部・学科	総合福祉学部	社会福祉学科 ①	経営学部	経営学科 ⑦	学年	1年次生 ①	性別	男 ①
		教育福祉学科 ②		観光経営学科 ⑧		2年次生 ②		女 ②
		実践心理学科 ③	教育学部	こども教育学科 ⑨		3年次生 ③		
	看護栄養学部	看護学科 ④	人文学部	歴史学科 ⑩		4年次生以上 ④		
	栄養学科 ⑤		表現学科 ⑪		科目等履修生 ⑤			
	コミュニティ政策学部	コミュニティ政策学科 ⑥	その他 ⑫		その他 ⑥			

●授業に関する事項について伺います。

下記のⅠ～Ⅴのすべての設問に回答してください。なお、「Ⅴ自由記述欄」を除いて、設問右(4段階)の該当する番号にマークしてください(一部、5段階)。

Ⅰ. 授業の構成について		大いに そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	
1	初回の授業において、授業目的、授業内容、到達目標、評価方法等の説明がありましたか	④	③	②	①	
2	あなたは、その説明に対して理解ができましたか	④	③	②	①	
3	あなたは、理解した内容を達成するため、意欲的に取り組みましたか	④	③	②	①	
4	授業はシラバスにそって行われましたか	④	③	②	①	
5	あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか	④	③	②	①	
6	授業のなかで「事前学習」および「事後学習」等、「授業時間以外の学習内容・方法(資料・課題等)」について、具体的に指示がありましたか	④	③	②	①	
7	「質疑応答の時間の設定」や「課題レポート・小テストの返却」等、疑問の解決や学習の理解を深めるための工夫はありましたか	④	③	②	①	
8	あなたが、この授業1回(90分)のために事前学習・事後学習に費やした時間は平均()であった	4時間以上 ⑤	3時間以上 4時間未満 ④	2時間以上 3時間未満 ③	1時間以上 2時間未満 ②	1時間未満 ①

Ⅱ. 授業方法について		大いに そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない
1	双方向型の授業(発表、討論、協同学習、調べ学習等)は、効果的に行われましたか	④	③	②	①
2	教材(教科書、板書、プリント、スライド、ビデオ等)は、授業の理解に役立ちましたか	④	③	②	①
3	この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか	④	③	②	①

Ⅲ. 授業に対する評価について		大いに そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	
1	この授業を通して知的好奇心が刺激されましたか	④	③	②	①	
2	あなたの授業内容の理解において、難易度は適切でしたか	難しい ⑤	やや難しい ④	適切 ③	やややさしい ②	やさしい ①
3	この授業を受講して、満足していますか	④	③	②	①	

Ⅳ. 授業環境について		大いに そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない
1	受講態度(私語、携帯電話の使用等への注意等)に適切な対応がなされ、学習するのにふさわしい環境が保たれていましたか	④	③	②	①
2	授業に関する機器・備品等は充実していましたか	④	③	②	①
3	この授業を受けるにあたり、履修人数は適切でしたか	④	③	②	①

Ⅴ. 自由記述欄 ※この欄は、授業の改革や改善に繋げるためのコメント欄となります。人格を否定するようなコメントや授業に関係のないことを書いてはいけません。

1	この授業を通して、どんなことが身についたと思いますか。自由に記入してください(例:「〇〇する力が身についた」「●●●ができるようになった」等)
2	この授業を通して、大学や教員が工夫・改善すべき点がある場合は、自由に記入してください

2019年度 教員用 授業アンケート調査

2019 Shukutoku University Class Evaluation Survey for Teachers

このアンケート調査は、授業計画(シラバス)に明示している授業の目的・到達目標に対して、受講生が「何ができるようになったのか」また、達成できなかった場合は「なぜ、そうだったのか」を担当教員が把握し、授業内容・授業方法の改善・工夫に繋げるための基礎的データの収集を目的として実施するものです。実習を除く全開講科目を調査対象とし、各授業における目的・目標・成果並びに授業方法等について、担当教員と受講生の双方から評価を得るものです。

調査の結果は報告書にまとめて公表をするほか、大学ホームページにも公開します。
ご協力、よろしくお願いいたします。

The purpose of this survey is to compile data and help individual teachers reflect on their teaching and employ the plan-do-check-act cycle to improve their effectiveness in the classroom. These surveys will be taken by all classes with the exception of training and practice classes. Teachers and students should evaluate purposes of class, goals, class form etc...

Results of the survey will be drawn up and published in a report and be made public on the university homepage.

淑徳大学 教育向上委員会
Shukutoku University Educational Progress Committee

※ここには何も記入しないでください

0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

記入上の注意

- 記入は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
- 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してください。
- 用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

Instructions

- Use an HB pencil or mechanical pencil to mark the sheet.
- When making corrections, use the plastic eraser.
- Keep the sheets clean and uncreased.

良い例
Good Example



悪い例
Bad Example



●はじめに、この科目の科目名および氏名を記入してください。 Please fill in the blanks below.

※このアンケートは、科目代表者が回答してください。 Class representative answer this survey.

キャンパス名 Campus name	科目名 Class to be evaluated
授業番号 Class number	氏名 Teacher's name

●授業に関する事項について伺います。

下記のⅠ～Ⅴのすべての設問に回答してください。なお、「Ⅴ自由記述欄」を除いて、設問右(4段階)の該当する番号にマークしてください(一部、5段階)。
Please choose your response to the following statements or questions I II III IV and V.

Ⅰ. 授業の構成について Class Procedure/Organization		大いに そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	
1	初回の授業において、授業目的、授業内容、到達目標、評価方法等の説明をしましたか I explained to students about class purposes, content, goals, and grading policies at the first lesson.	④ Thoroughly & very clearly	③ Well & clearly	② Poorly	① Never	
2	受講生が理解できるよう、この説明に工夫をしましたか I have a method to make sure students understand class purposes, content, goals, and grading policies at first lesson.	④ Thoroughly	③ Well	② Poorly	① Never	
3	受講生が理解した内容を達成するために、意欲的に取組ませることができましたか I encouraged students to study willingly to understand and acquire course content.	④ Very well	③ Well	② Poorly	① Never	
4	授業はシラバスにそって行われましたか The class description in the syllabus accurately reflected the content of the lessons.	④ Perfectly	③ Well	② Poorly	① Never	
5	受講生は、シラバスの到達目標を達成できましたか Students could attain the goals described in the class syllabus.	④ Strongly agree	③ Agree	② Disagree	① Strongly disagree	
6	授業のなかで「事前学習」および「事後学習」等、「授業時間以外の学習内容・方法(資料・課題等)」について、具体的に指示をしましたか I instructed students on the preparation and review of lessons concretely.	④ Perfectly	③ Well	② Poorly	① Never	
7	「質疑応答の時間の設定」や「課題レポート・小テストの返却」等、疑問の解決や学習の理解を深めるための取組みを行いましたか I encouraged students to work out problems, questions and issues and deepen their understanding by letting students have the question-and-answer sessions and handing back students' assignments, reports and quizzes.	④ Thoroughly	③ Well	② Poorly	① Never	
8	授業計画では、受講生がこの授業1回(90分)の事前学習・事後学習にかかる時間の目安を平均()と設定した How many hours did you allot for students' preparation and review of your lessons in your class syllabus?	⑤ 4時間以上 More than 4 hours	④ 3時間以上 2時間未満 More than 3 hours but less than 4 hours	③ 2時間以上 1時間未満 More than 2 hours but less than 3 hours	② 1時間以上 1時間未満 More than 1 hour but less than 2 hours	① 1時間未満 Less than 1 hour

うら面につづきます。
Please turn over

II. 授業方法について Class Content/ Teaching Method		大いに そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない
1	双方向型の授業(発表、討論、協同学習、調べ学習等)を、効果的に行いましたか Were your lessons conducted interactively by letting students give presentations, have discussion, do group work and research study?	④ Very well	③ Well	② Poorly	① Never
2-1	教材(教科書、板書、プリント、スライド、ビデオ等)は、授業の理解に役立つように工夫しましたか Did you use teaching materials/technology such as textbooks, handouts, slides and video and write on the blackboard effectively so that students could understand without any trouble?	④ Very well	③ Well	② Poorly	① Never
2-2	上記の設問(II-2-1)で工夫した教材について、該当する番号にマークしてください(複数回答可) What materials did you use to make your lessons effective and appropriate? Please choose appropriate answer(s). You can choose more than one. ① 教科書・参考書の選定 Textbook and reference book ② オリジナル教科書・教材 Original teaching materials ③ プリント・レジュメ Handout or summary ④ スライド・パワーポイント Slides or Power Point ⑤ 映像視聴覚教材(ビデオ・DVD等) Audio-visual educational materials such as video tapes and DVD ⑥ その他() Others				
3	授業において、わかりやすい話し方や説明の仕方を心がけましたか How was your manner of speaking and explanation? Did you think it was easily understood by students?	④ Strongly agree	③ Agree	② Disagree	① Strongly disagree

III. 授業に対する評価について Overall satisfaction with this class		大いに そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	
1	この授業は、受講生の知的好奇心を刺激する内容でしたか Did the content of this class stimulate students' interest intellectually?	④ Very well	③ Well	② Poorly	① Never	
2	受講生の授業内容の理解において、難易度は適切だったと思いますか What was the difficulty level of this class? Could students understand the content of your class?	⑤ 難しい Difficult	④ やや難しい A little too difficult	③ 適切 Just right	② やややさしい A little easier	① やさしい Easy
3	受講生の満足度を高める授業をできたと思いますか Would you say students were very satisfied with your lessons?	④ Strongly agree	③ Agree	② Disagree	① Strongly disagree	

IV. 授業環境の確保について Classroom Atmosphere		大いに そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない
1	受講態度(私語、携帯電話の使用等への注意等)に適切な対応をし、学習するのにふさわしい環境保持に努めましたか Did you cope well with problems such as students talking to each other and using cell phones during class and did you try to provide a good educational environment?	④ Very well/strongly agree	③ Well/agree	② Poorly/disagree	① Never/strongly disagree
2	授業に関する機器・備品等は充実していましたか How was the teaching equipment used in your lessons?	④ Very good	③ Good	② Poor	① Very poor
3	この授業を行うにあたり、履修人数を考慮した授業運営の工夫を行いましたか Did you develop methods to teach students with thorough consideration to the number of students in your class?	④ Very well	③ Well	② Poorly	① Never

V. 自由記述欄 Comments (Please feel free to express your opinion.)	
1	受講生は、この授業を通してどのような力が身についたと思いますか (例:「〇〇する力が身についた」「●●ができるようになった」等) What ability could students improve upon in your class or what specific objective for this class was achieved by students? Ex. Students could improve ○○○ ability. Students have gained ○○○ from this class.
2	受講生のこの授業に対する満足度や知的好奇心を高めるため、今後に向けた工夫あるいは改善点があれば記入してください (大学に対するものを含めることも可) What could be done to improve the quality of Shukutoku University education as well as this class? What changes to the course methods, text(s), content would inspire and motivate students' interest and make them more satisfied with Shukutoku University as well as this class? Anything else you would like to comment on about this class or the University.

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
 Thank you for taking the time and effort to respond to this questionnaire.